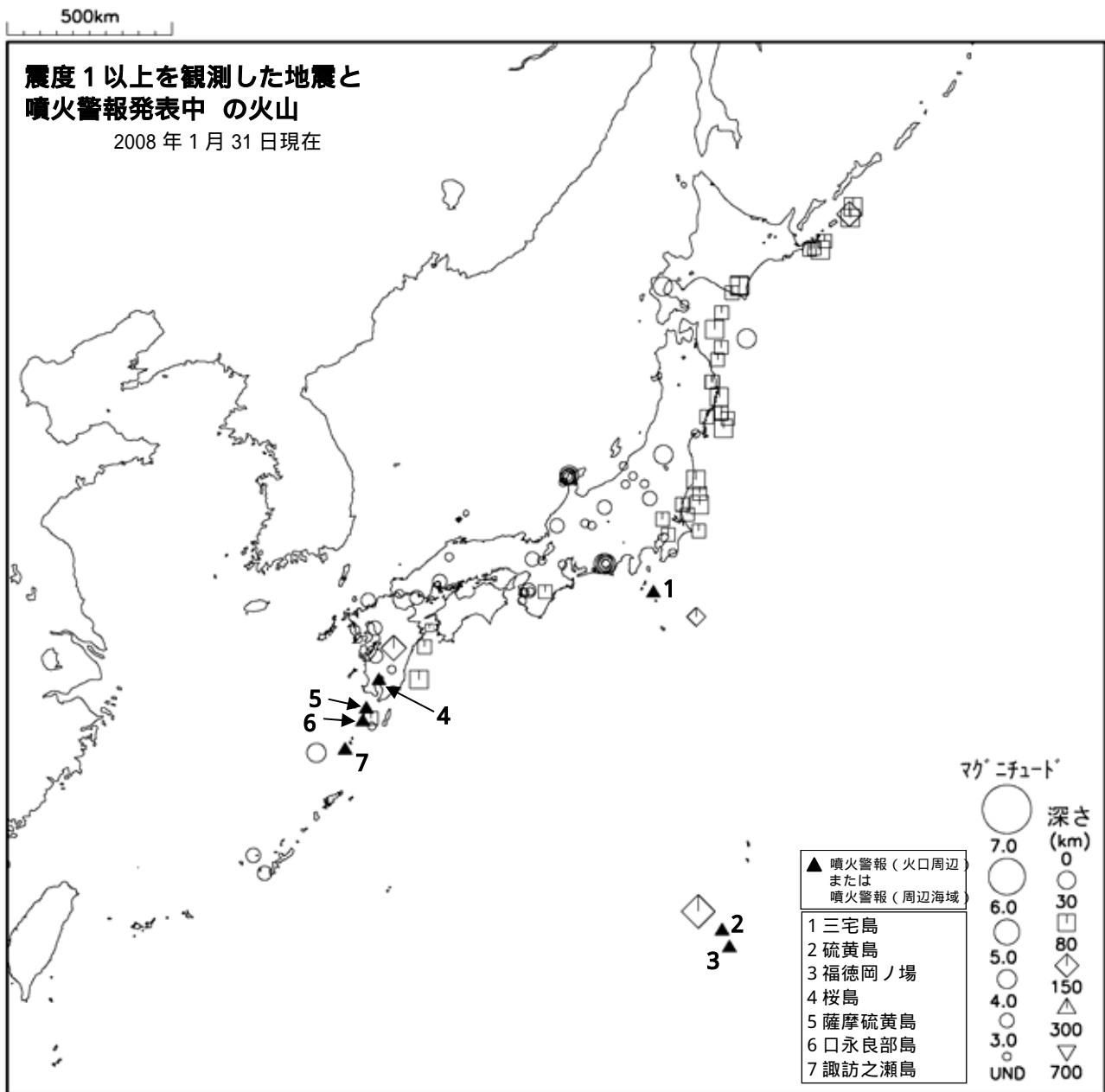


# 平成 20 年 1 月 地震・火山月報（防災編）

## Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

January 2008



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

## 利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成 9 年 11 月 10 日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体及び独立行政法人防災科学技術研究所<sup>注</sup>から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成 9 年 10 月 1 日より、大学や独立行政法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け<sup>注</sup>、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

なお、地震・火山観測データの整理結果については、本編の姉妹編の「地震・火山月報（カタログ編）」に掲載している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注<sup>1</sup> 秋田県、埼玉県、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、山口県、横浜市（神奈川県）（以上 1 府 8 県、1 政令指定都市は平成 9 年 11 月 10 日から発表）、群馬県、福井県、静岡県、三重県、島根県及び愛媛県（以上 6 県は平成 10 年 6 月 15 日から発表）、青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、宮崎県及び鹿児島県（以上 1 府 11 県は平成 10 年 10 月 15 日から発表）、東京都、長野県（以上 1 都 1 県は平成 11 年 7 月 21 日から発表）、栃木県、千葉県、岐阜県、名古屋市（愛知県）（以上 3 県、1 政令指定都市は平成 12 年 1 月 12 日から発表）、滋賀県（平成 12 年 3 月 28 日から発表）、富山県、香川県、大分県（以上 3 県は平成 12 年 7 月 18 日から発表）、佐賀県（平成 13 年 3 月 22 日から発表）、山梨県、川崎市（神奈川県）（以上 1 県、1 政令指定都市は平成 13 年 5 月 10 日から発表）、高知県（平成 13 年 7 月 19 日から発表）、福島県（平成 13 年 12 月 12 日から発表）、岩手県、宮城県、神奈川県、福岡県、仙台市（宮城県）（以上 4 県、1 政令指定都市は平成 14 年 3 月 20 日から発表）北海道、長崎県（以上 1 道 1 県、平成 14 年 7 月 29 日から発表）、沖縄県（平成 15 年 3 月 10 日から発表）の 47 都道府県、4 政令指定都市と独立行政法人防災科学技術研究所（平成 16 年 5 月 26 日から発表）。

注<sup>2</sup> 平成 20 年 1 月末現在：独立行政法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人産業技術総合研究所、国土地理院、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所、横浜市及び独立行政法人海洋研究開発機構による地震観測データを利用している。このほか、2007 年新潟県中越沖地震緊急観測グループのデータを利用している。

### 本書利用上の注意

#### ・震央分布図中の語句について

M：マグニチュード Depth：深さ（km）  
 UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。  
 N=XX：図中表示している地震の回数を表す（通常図の右肩上に示してある）

#### ・発震機構解の図中の語句について

NP1：節面 1 NP2：節面 2  
 STR：走向（°：北から時計周り） DIP：傾斜角（°：水平 0°、垂直 90°）  
 SLIP：すべり角（°：断層の走向から断層面に沿って反時計周り）  
 P：P 軸（圧力軸） T：T 軸（張力軸）  
 N：N 軸（中立軸）  
 AZM：方位角（°：北から時計周り） PLG：傾斜角（°：水平 0°、垂直 90°）  
 Mw：モーメントマグニチュード Mo：地震モーメント（単位：Nm[ニュートン・メートル]）

#### ・M - T 図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

#### ・震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用するものを用いる。情報発表時と異なる震央地名を用いた場合は、「異なる震央地名[情報発表時に使用する震央地名]」と併記した。なお、震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報(防災編)」1月号の付録「地震・火山月報(防災編)で用いる震央地名」を参照のこと。

#### ・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

#### ・地震の震源要素等について

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については「地震・火山月報(カタログ編)(CD-ROM)」「地震年報(CD-ROM)」を参照のこと。

#### ・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、「地震・火山月報(カタログ編)(CD-ROM)」「火山報告(CD-ROM)」を参照のこと。

#### ・本書で使用した地図等について

本書中の地図の作成にあたっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000(行政界・海岸線)』、『数値地図 25000(地図画像)』、『数値地図 50000(地図画像)』、『数値地図 10mメッシュ(火山標高)』、『数値地図 50mメッシュ(標高)』、『数値地図 250mメッシュ(標高)』を使用したものである(承認番号：平 17 総使、第 503 号)。また、震央分布図等に表記した活断層のデータは、「新編日本の活断層」(東京大学出版会, 1991)を使用した。

・図版作成には一部 GMT(Generic Mapping Tool[Wessel, P., and W.H.F.Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol.79 (47), pp.579, 1998])を使用した。

## 目 次

日本及びその周辺で発生した主な地震	1
東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動	14
日本の主な火山活動	21
世界の主な地震	29
世界の主な火山活動	30
付表	
1．震度 1 以上を観測した地震の表	31
2．過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	40
3．日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数	41
付録 地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名	42
正誤表	47

# 日本及びその周辺で発生した主な地震

表 1

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	M H S T (注 3)	最大震度・被害状況等（注 4）	掲載 ページ
1	1 2 01 20	十勝支庁南部	4.2	・ ・ ・ ・	3：北海道 浦河町潮見	5
2	1 13 02 11	渡島支庁北部	4.1	・ ・ S ・	4：北海道 長万部町平里*	6
3	1 22 16 20	石川県能登地方	4.0	・ ・ ・ ・	3：石川県 輪島市門前町走出	9
4	1 26 04 33	石川県能登地方	4.8	・ ・ S ・	5弱：石川県 輪島市門前町走出	9
5	1 27 10 33	静岡県西部	4.1	・ ・ ・ ・	3：静岡県 掛川市長谷*	10

注 1) 主な地震とは、M6.0 以上、震度 4 以上、内陸 M4.0 以上かつ震度 3、海域 M5.0 以上かつ震度 3、その他注目した地震を指す。

注 2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

注 3) M H S T の各項目について、M: M6.0 以上の地震、H: 被害を伴った地震、S: 震度 4 以上を観測した地震、T: 津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

注 4) 最大震度の観測点名にある \* 印は地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点の情報であることを表す。

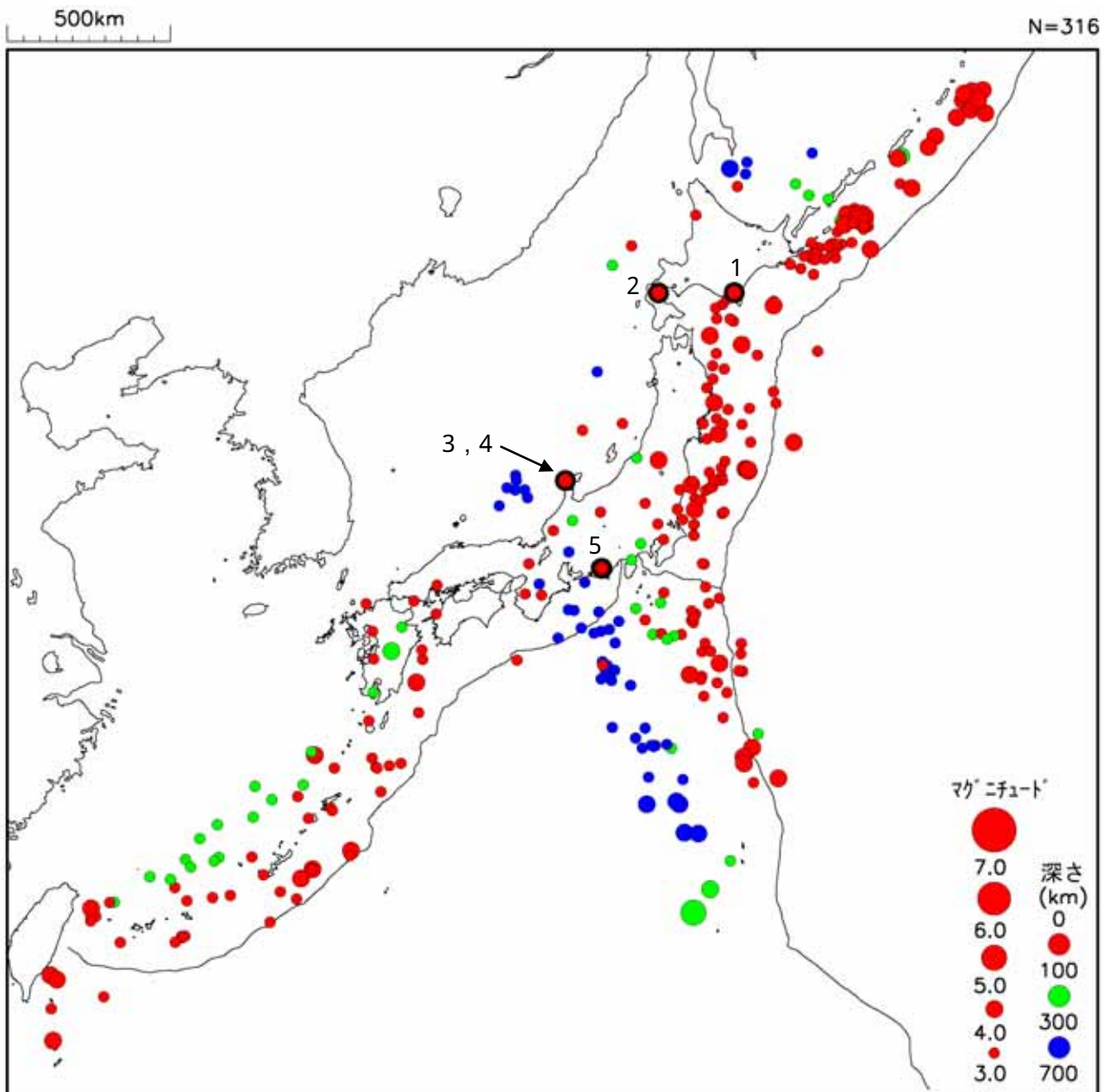
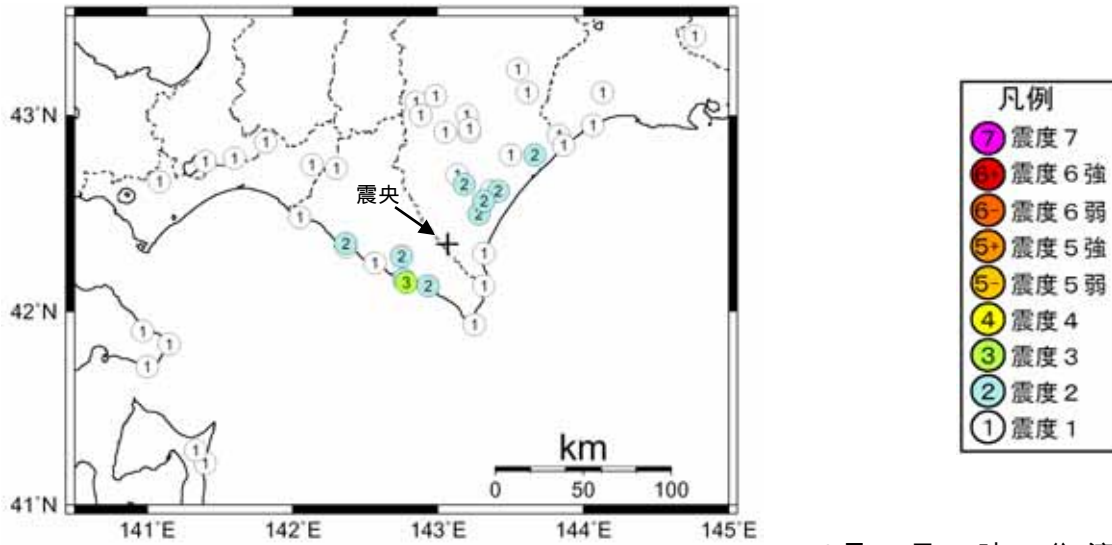


図 1 2008 年 1 月に日本及びその周辺で発生した M3.0 以上の地震の震央分布図  
( 図中の数字は表 1 の番号に対応 )

図 2 各観測点の震度分布図（数字は表 1，図 1 の番号に対応する。+印は震央を示す。）

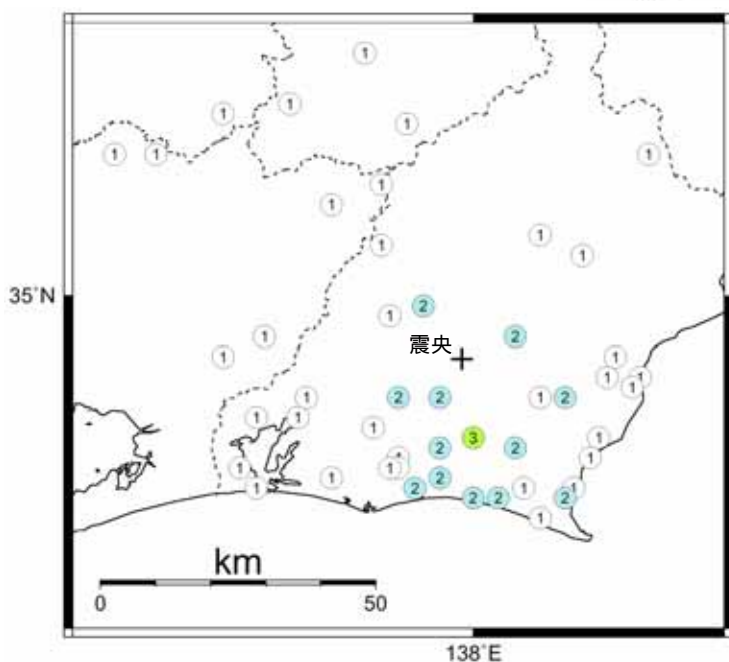
1 1月2日01時20分 十勝支庁南部  
(M4.2, 深さ51km, 最大震度3)



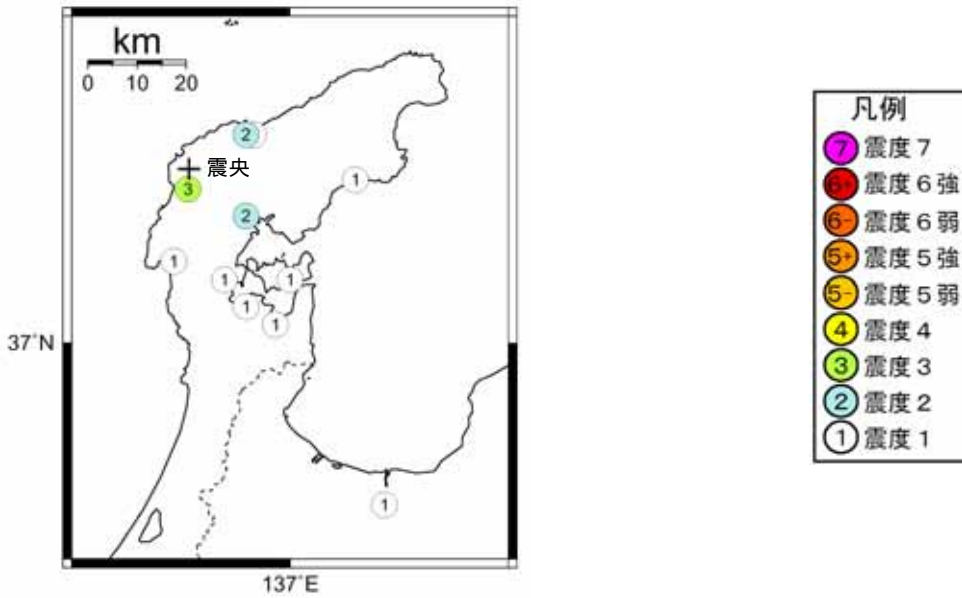
2 1月13日02時11分 渡島支庁北部  
(M4.1, 深さ11km, 最大震度4)



5 1月27日10時33分 静岡県西部  
(M4.1, 深さ17km, 最大震度3)

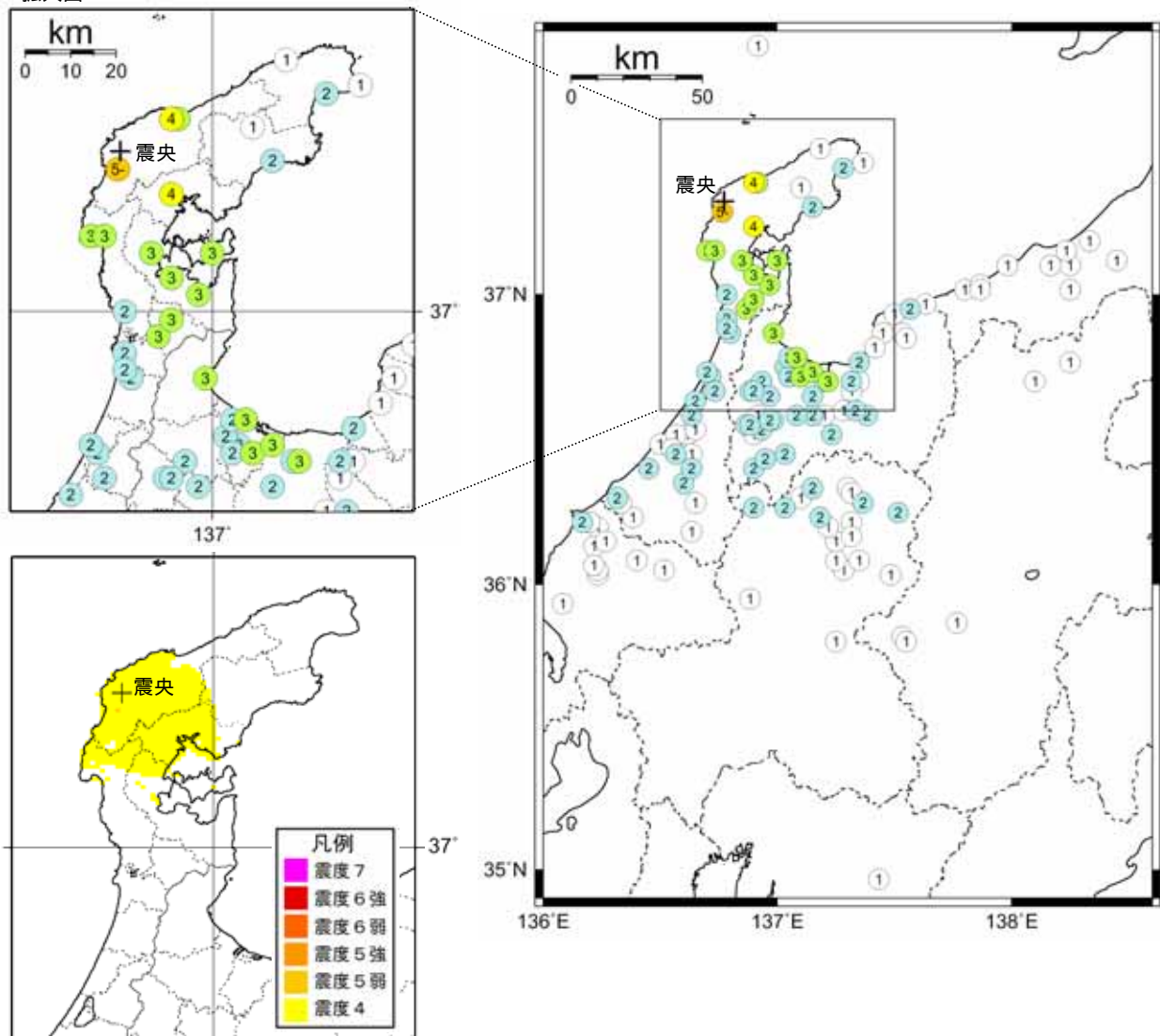


3 1月22日16時20分 石川県能登地方  
(M4.0, 深さ12km, 最大震度3)



4 1月26日04時33分 石川県能登地方  
(M4.8, 深さ11km, 最大震度5弱)

拡大図



推計震度分布図（震度4以上）

## 北海道地方の地震活動

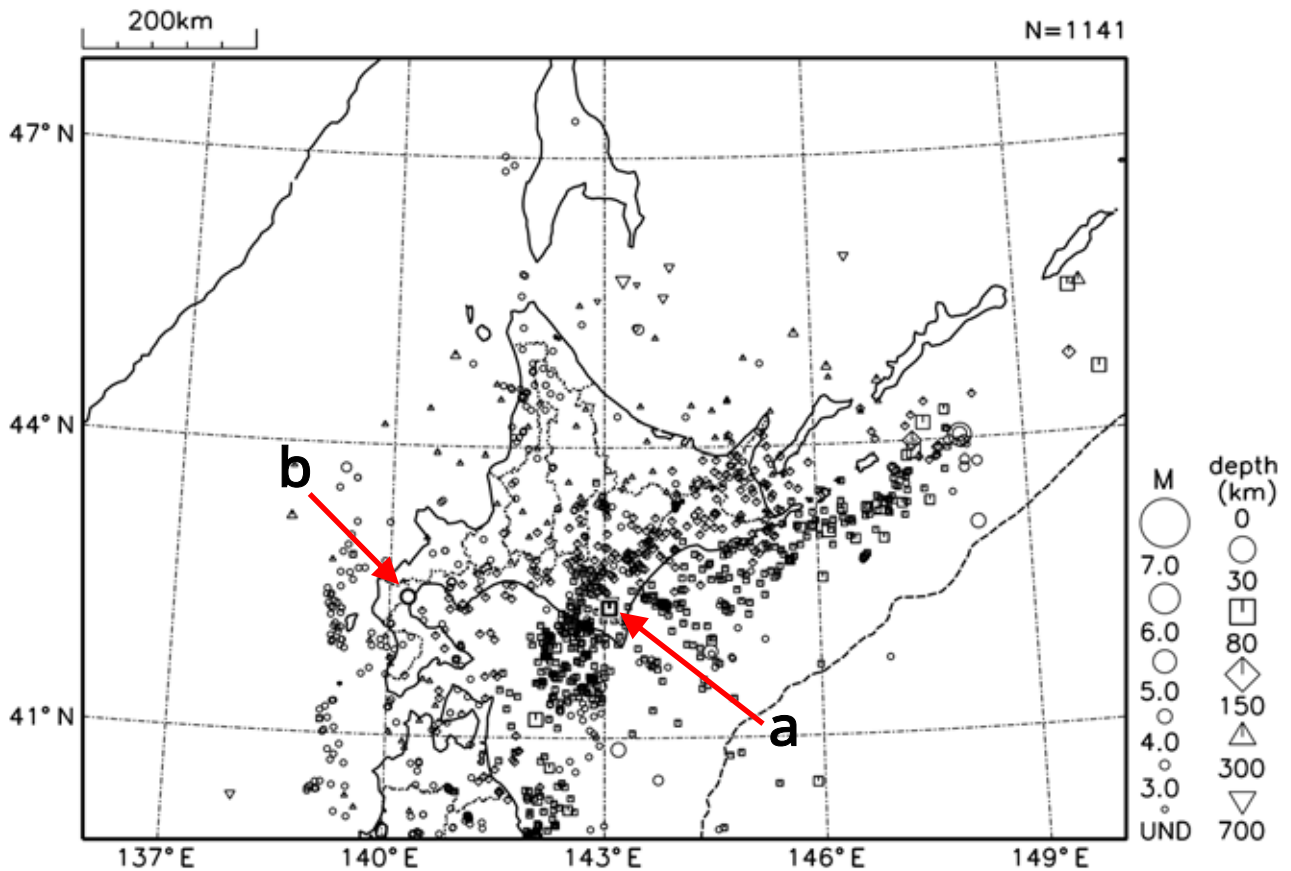


図3 北海道地方の震央分布図（2008年1月1日～1月31日）

### [概況]

1月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は14回（12月は10回）であった。1月中の主な活動は次のとおりである。

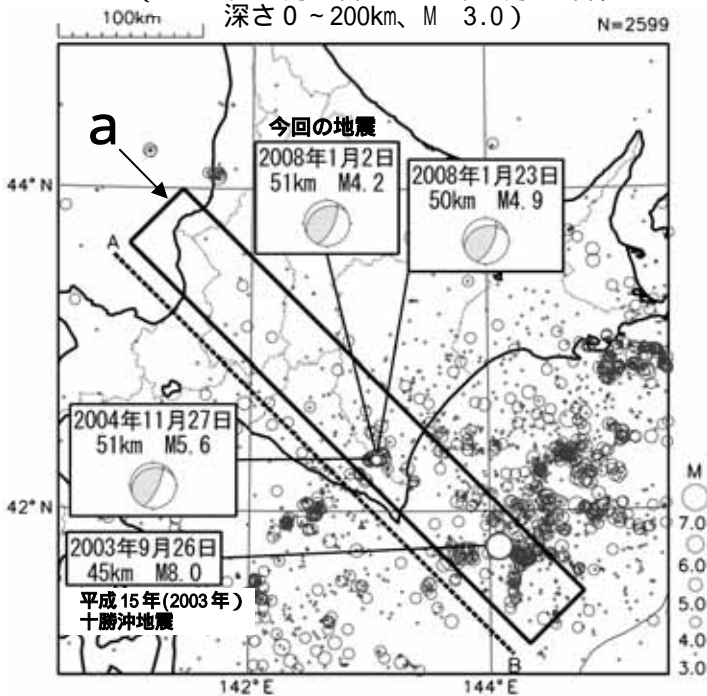
2日01時20分、十勝支庁南部の深さ51kmでM4.2の地震（図3中のa）があり、北海道の浦河町で震度3を観測したほか、北海道から青森県にかけて震度2～1を観測した（p5を参照）。

13日02時11分、渡島支庁北部の深さ11kmでM4.1の地震（図3中のb）があり、北海道の長万部町で震度4を観測したほか、北海道で震度2～1を観測した（p6を参照）。

# 1 月 2 日 十勝支庁南部の地震

震央分布図

(2001 年 10 月 1 日 ~ 2008 年 1 月 31 日、  
深さ 0 ~ 200km、M 3.0)

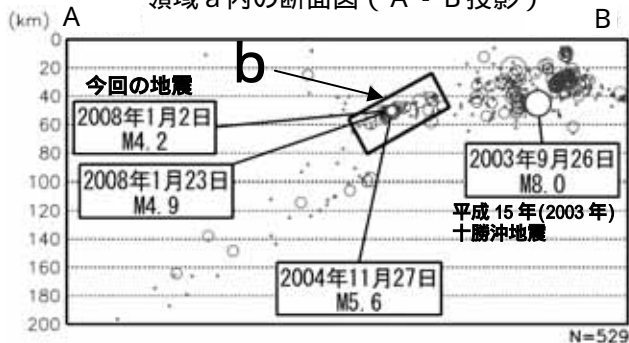


2008 年 1 月 2 日 01 時 20 分、十勝支庁南部の深さ 51km で M4.2 (最大震度 3) の地震が発生した。その後、ほぼ同じ場所で 1 月 23 日に M4.9 (最大震度 2) の地震が発生した。これらの地震の発震機構は北西 - 南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

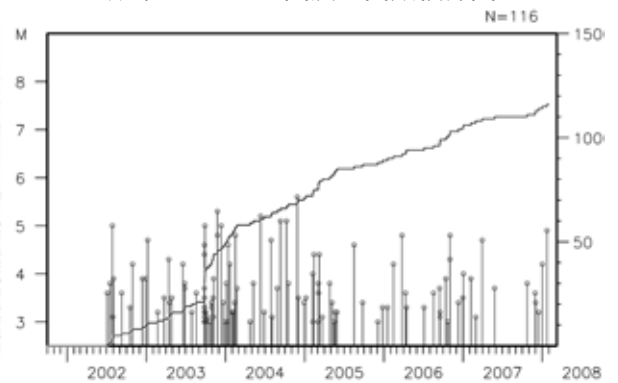
今回の地震の震源付近は、「平成 15 年 (2003 年) 十勝沖地震」の発生後に地震活動が活発化した地域であり、2004 年 11 月 27 日には M5.6 (最大震度 4) の地震が発生している。

1923 年 8 月以降、今回の地震の震央周辺では、M5.0 以上の地震が度々発生している。最大は 1970 年 1 月 21 日の M6.7 (最大震度 5) の地震で、負傷者 32 名や建物の被害などを生じている。

領域 a 内の断面図 (A - B 投影)

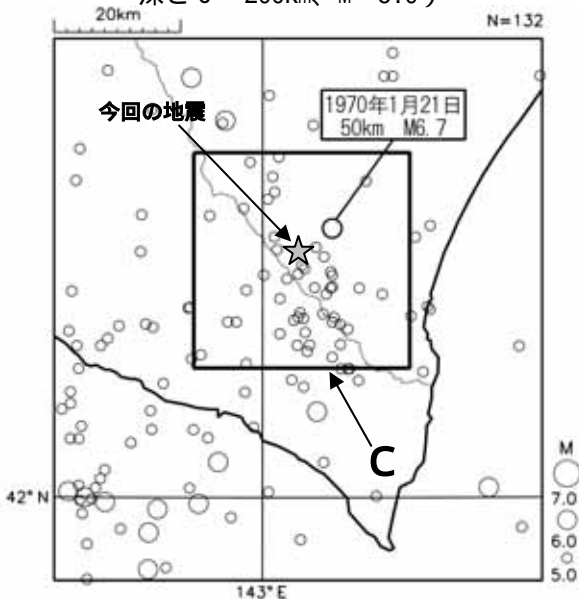


領域 b の M - T 図及び回数積算図

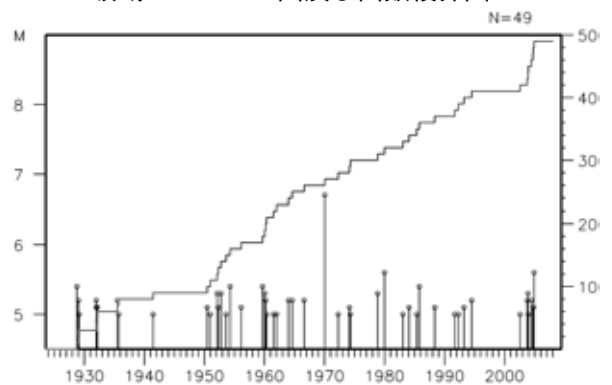


震央分布図

(1923 年 8 月 1 日 ~ 2008 年 1 月 31 日  
深さ 0 ~ 200km、M 5.0)

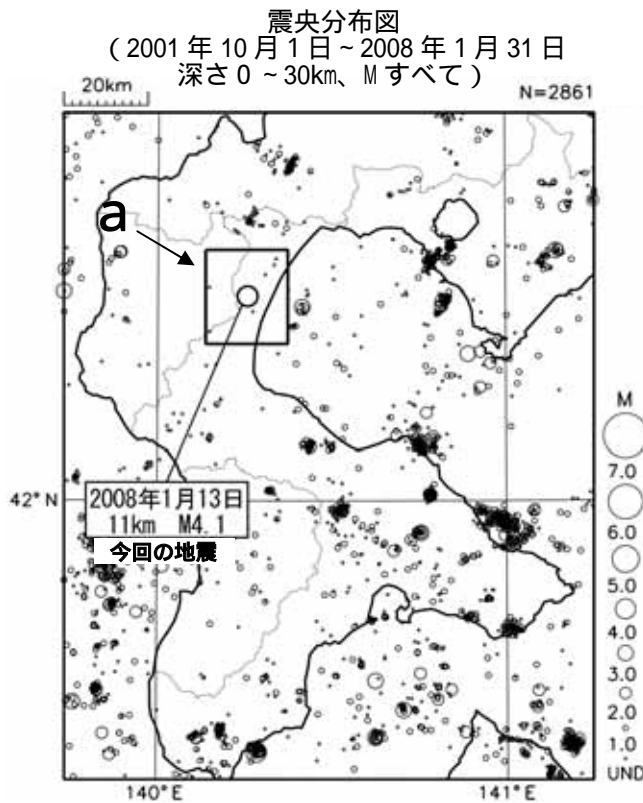


領域 c の M - T 図及び回数積算図



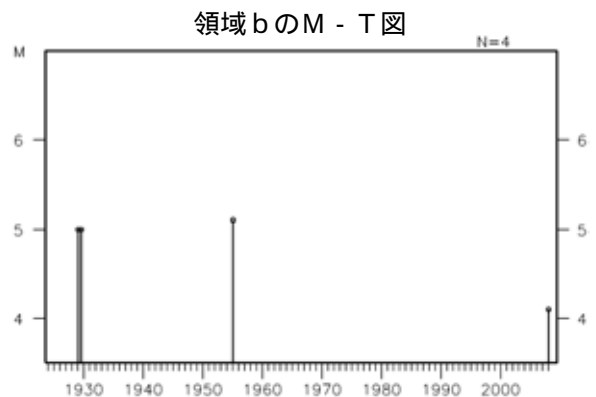
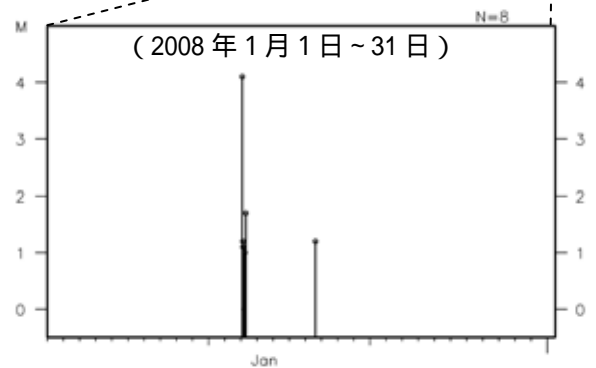
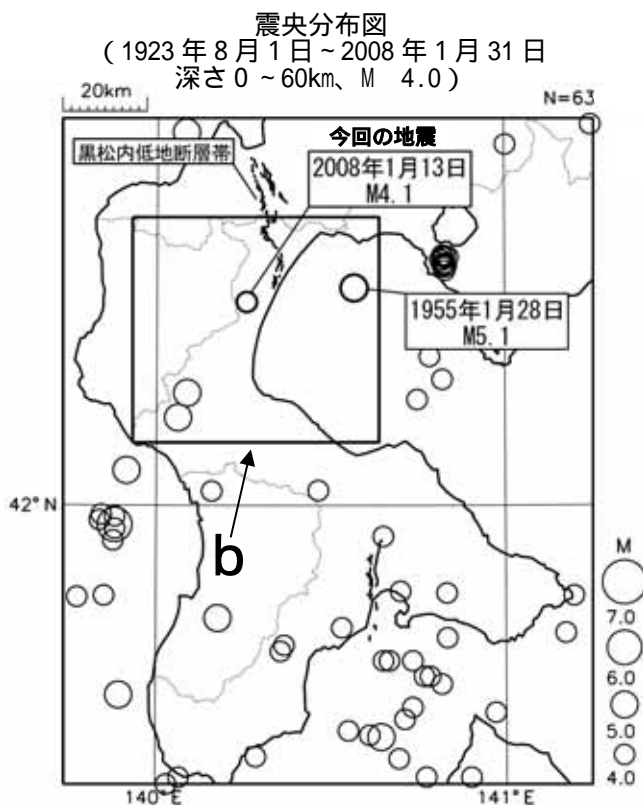
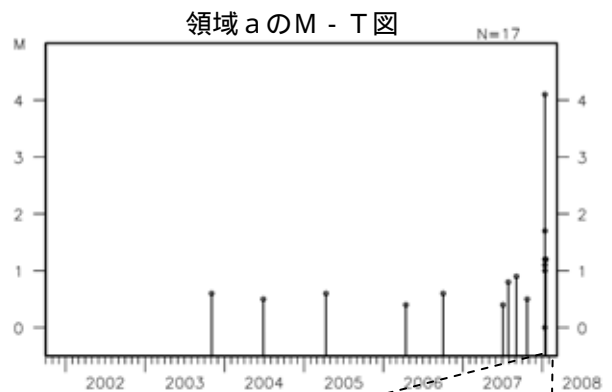


# 1 月 13 日 渡島支庁北部の地震



2008 年 1 月 13 日 02 時 11 分、渡島支庁北部の深さ 11km で M4.1 (最大震度 4) の地震が発生した。この地震の発生に伴う余震活動は低調であった。

今回の地震の震央周辺(領域 b)で M4.0 以上を観測したのは、1955 年 1 月 28 日に内浦湾で発生した M5.1 の地震(最大震度 3) 以来である。





## 関東・中部地方の地震活動

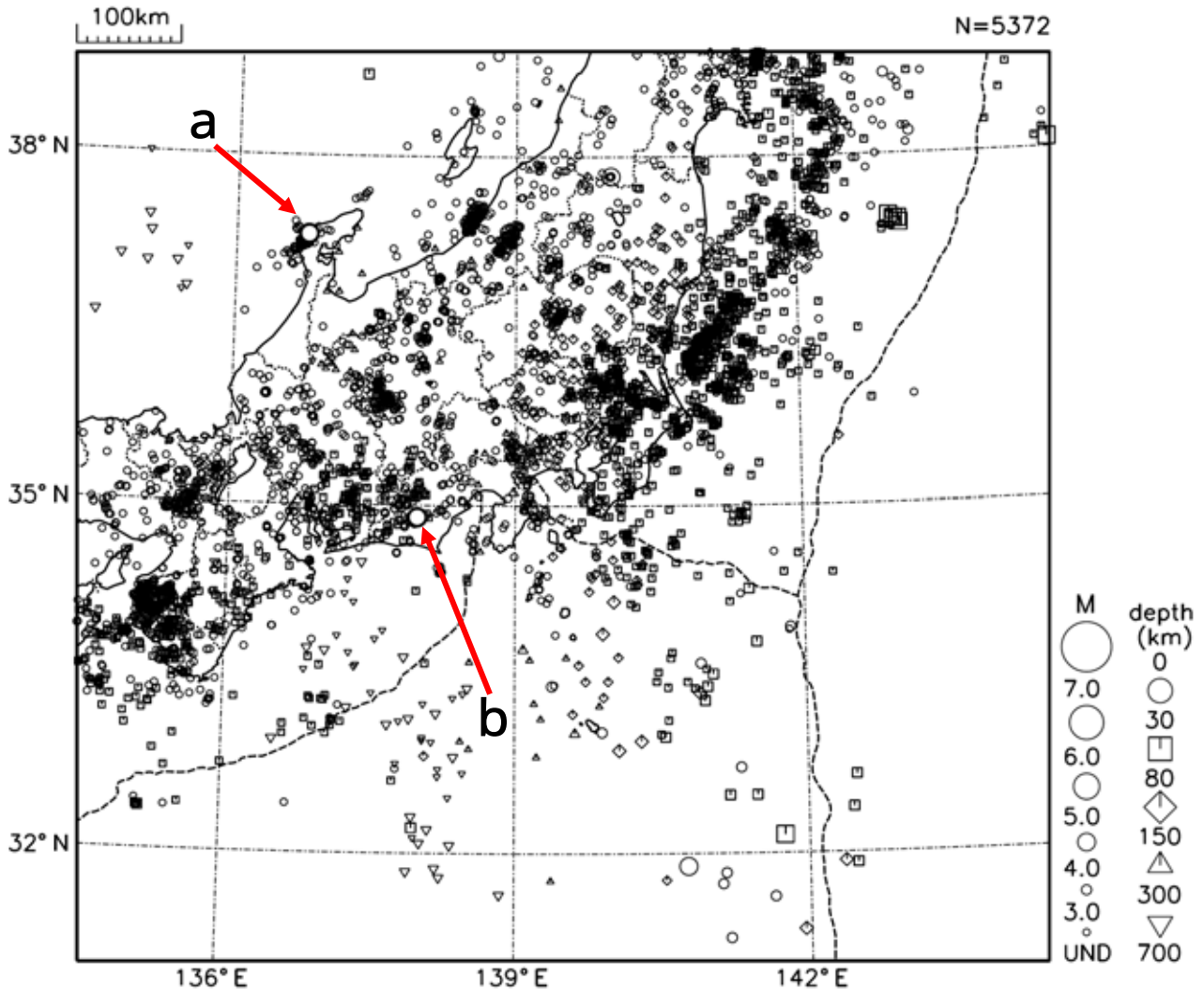


図5 関東・中部地方の震央分布図（2008年1月1日～1月31日）

### [ 概況 ]

1月に関東・中部地方で震度1以上を観測した地震は47回（12月は49回）であった。1月中の主な活動は次のとおりである。

22日16時20分、石川県能登地方の深さ12kmでM4.0の地震（図5中のa）があり、石川県輪島市で震度3を観測したほか、富山県、石川県で震度2～1を観測した（p9参照）。

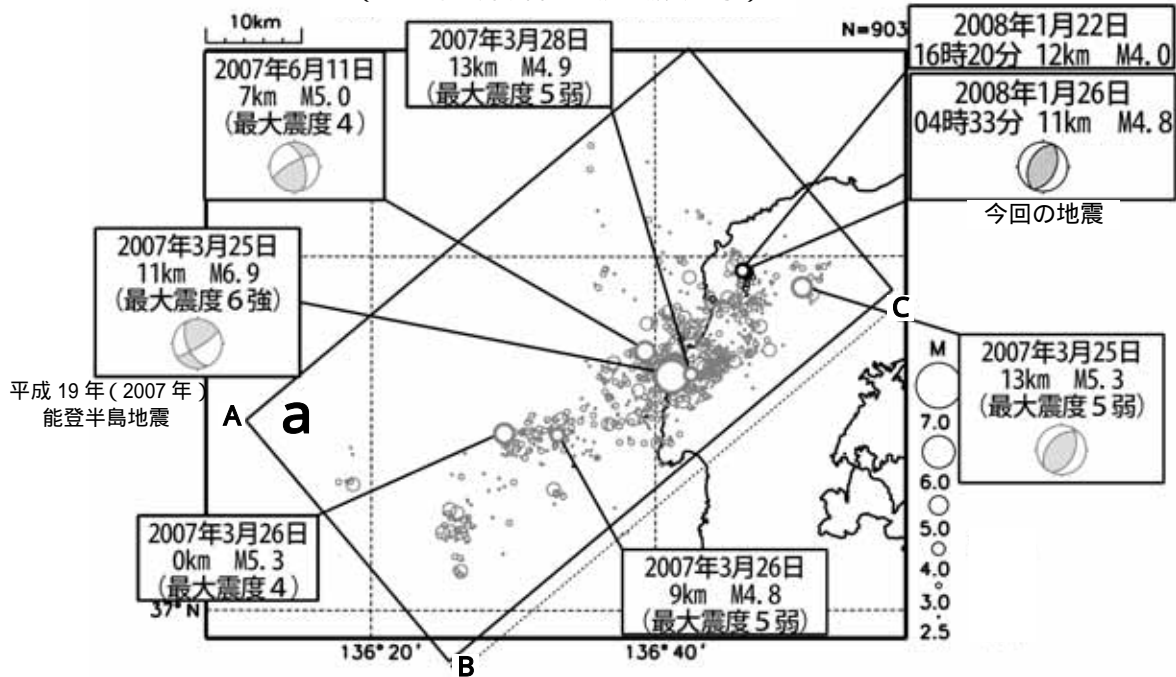
26日04時33分、石川県能登地方の深さ11kmでM4.8の地震（図5中のa）があり、石川県輪島市で震度5弱を観測したほか、石川県を中心に中部地方で震度4～1を観測した（p9参照）。

27日10時33分、静岡県西部の深さ17kmでM4.1、同日10時53分に深さ16kmでM4.2の地震があった（図5中のb）。10時33分の地震では、静岡県掛川市で震度3を観測したほか、静岡県、愛知県、長野県、岐阜県で震度2～1を観測した（p10参照）。

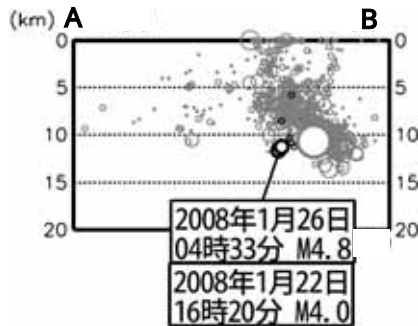
# 1 月 26 日 石川県能登地方の地震

2008 年 1 月 26 日 04 時 33 分に石川県能登地方の深さ 11km で M4.8 (最大震度 5 弱) の地震が発生した。発震機構は西北西 - 東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。この地震は、「平成 19 年 (2007 年) 能登半島地震」(M6.9) の余震で、最大震度 5 弱を観測したのは 2007 年 3 月 28 日に発生した M4.9 の地震以来である。なお、今回の地震の 4 日前の 1 月 22 日 16 時 20 分にはほぼ同じ場所で M4.0 (最大震度 3) の地震が発生していた。

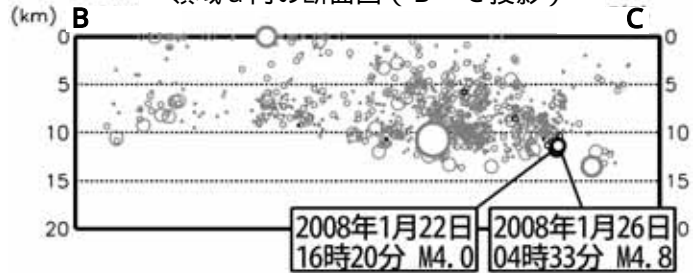
震央分布図 (2007 年 3 月 25 日 ~ 2008 年 2 月 6 日、深さ 0 ~ 20km、M 2.5)  
(2008 年 1 月以降の地震を濃く表示)



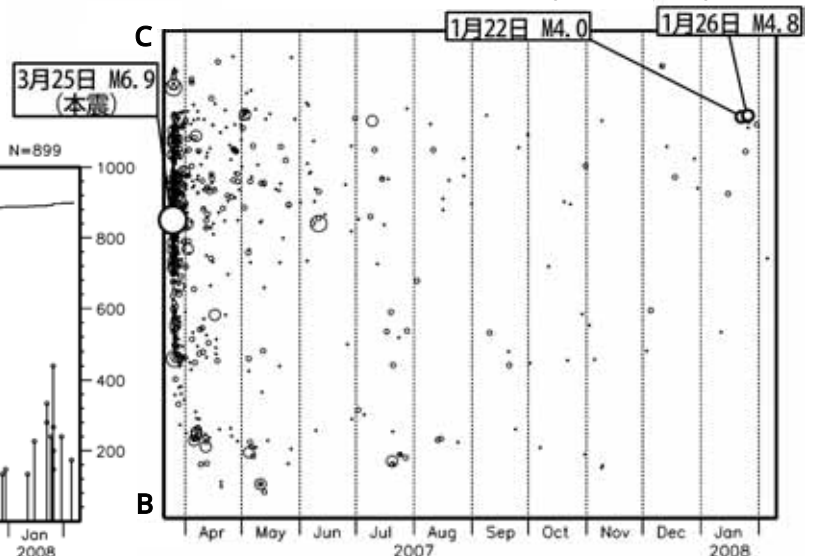
領域 a 内の断面図 (A - B 投影)



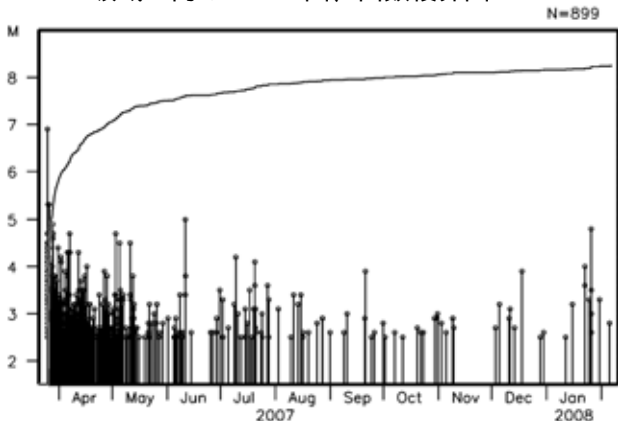
領域 a 内の断面図 (B - C 投影)



領域 a 内の時空間分布図 (B - C 投影)



領域 a 内の M - T 図、回数積算図

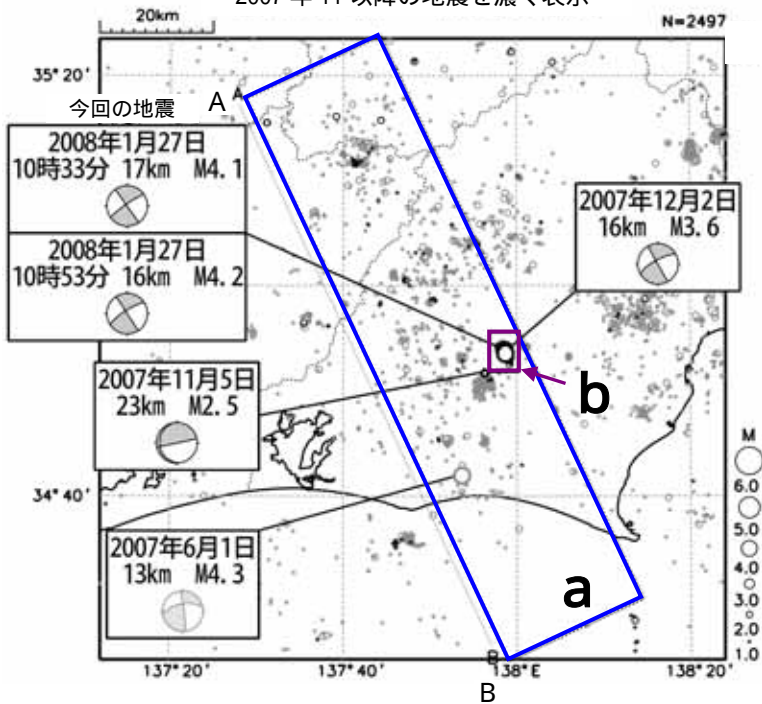


## 静岡県西部の地震活動

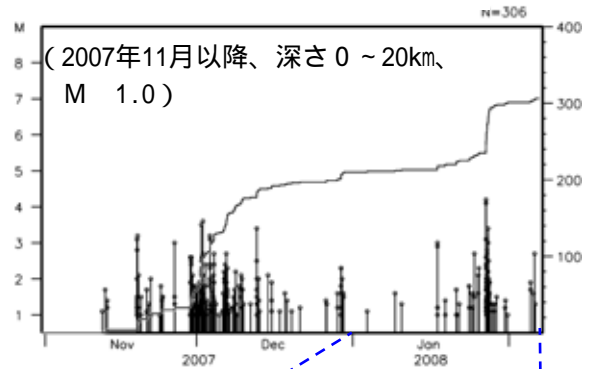
静岡県西部で、2008年1月27日10時33分にM4.1（深さ17km、最大震度3）、同日10時53分にM4.2（深さ16km、最大震度2）の地震が発生した。発震機構はいずれも、東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。この地震以後、2日間程度地震活動が活発となった。

今回の地震の震源付近の地殻内（領域b）では、2007年11月12日頃から地震活動が発生している。2008年1月に入り地震活動は一旦落ち着いてきていたが、2008年1月中旬から地震発生数がやや増加し、これまでの最大となる今回のM4.2の地震が発生した。

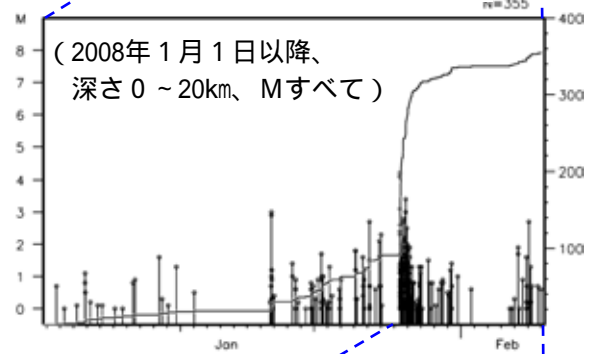
震央分布図（1997年10月1日～2008年2月6日、  
深さ0～25km、M 1.0）  
2007年11以降の地震を濃く表示



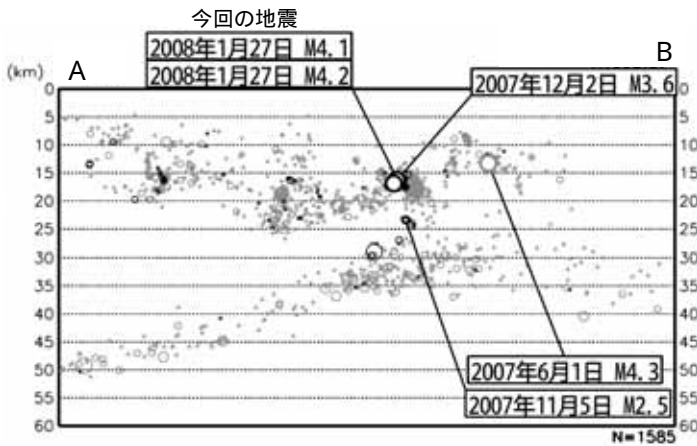
領域b内のM - T図、回数積算図



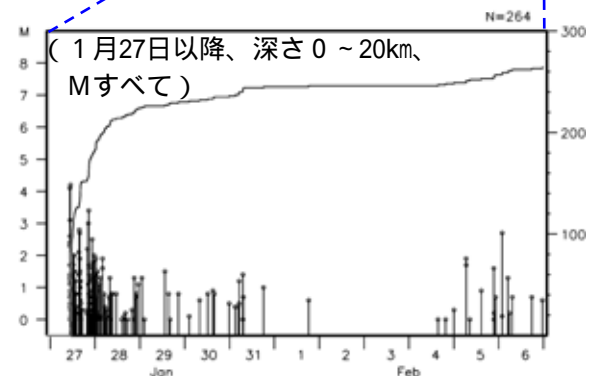
領域b内のM - T図、回数積算図



領域a内の断面図（深さ0～60km、A - B投影）



領域b内のM - T図、回数積算図



## 近畿・中国・四国地方の地震活動

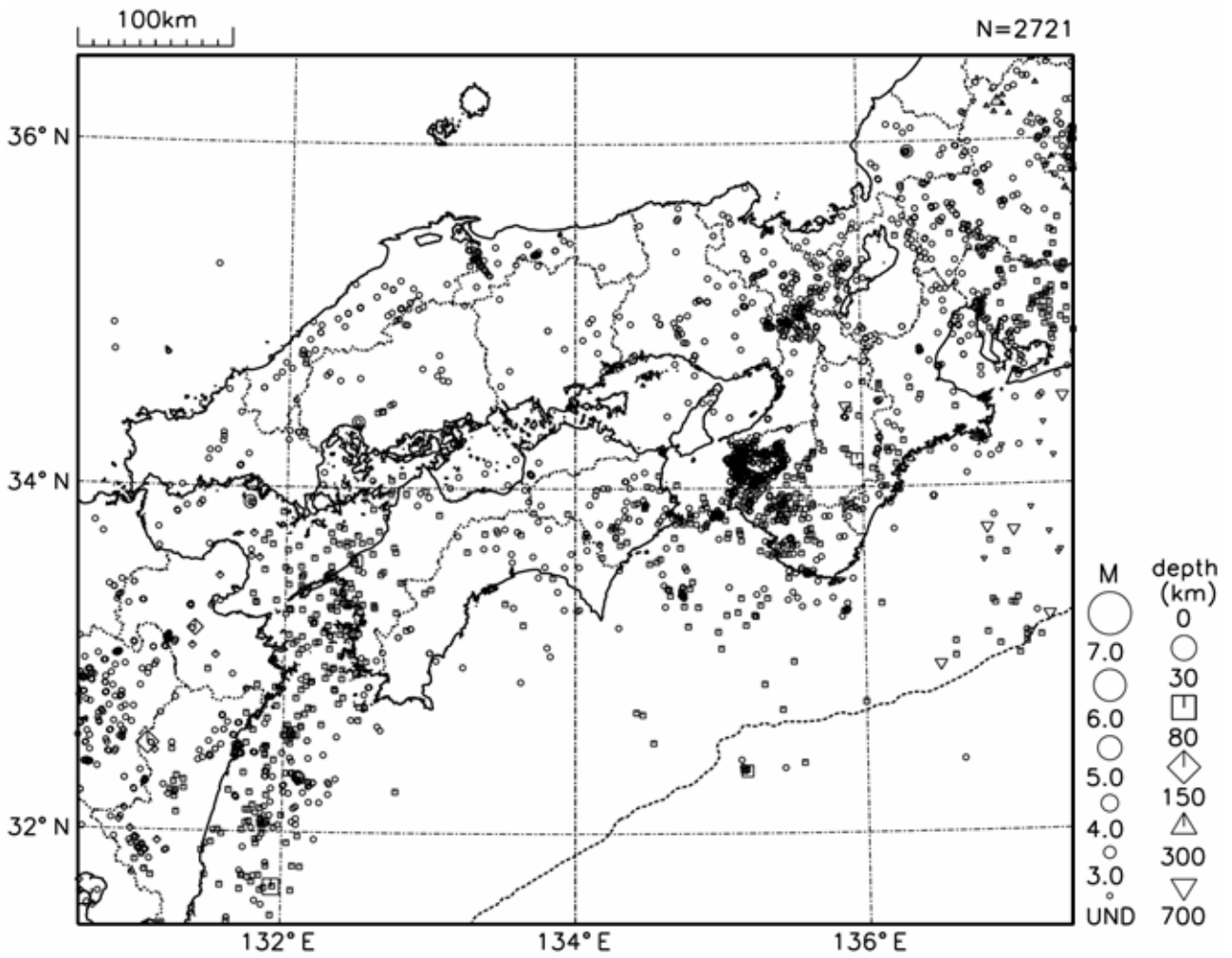


図 6 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2008 年 1 月 1 日～1 月 31 日）

### [ 概況 ]

1 月に近畿・中国・四国地方で震度 1 以上を観測した地震は 13 回（12 月は 18 回）であった。1 月中、特に目立った活動はなかった。

## 九州地方の地震活動

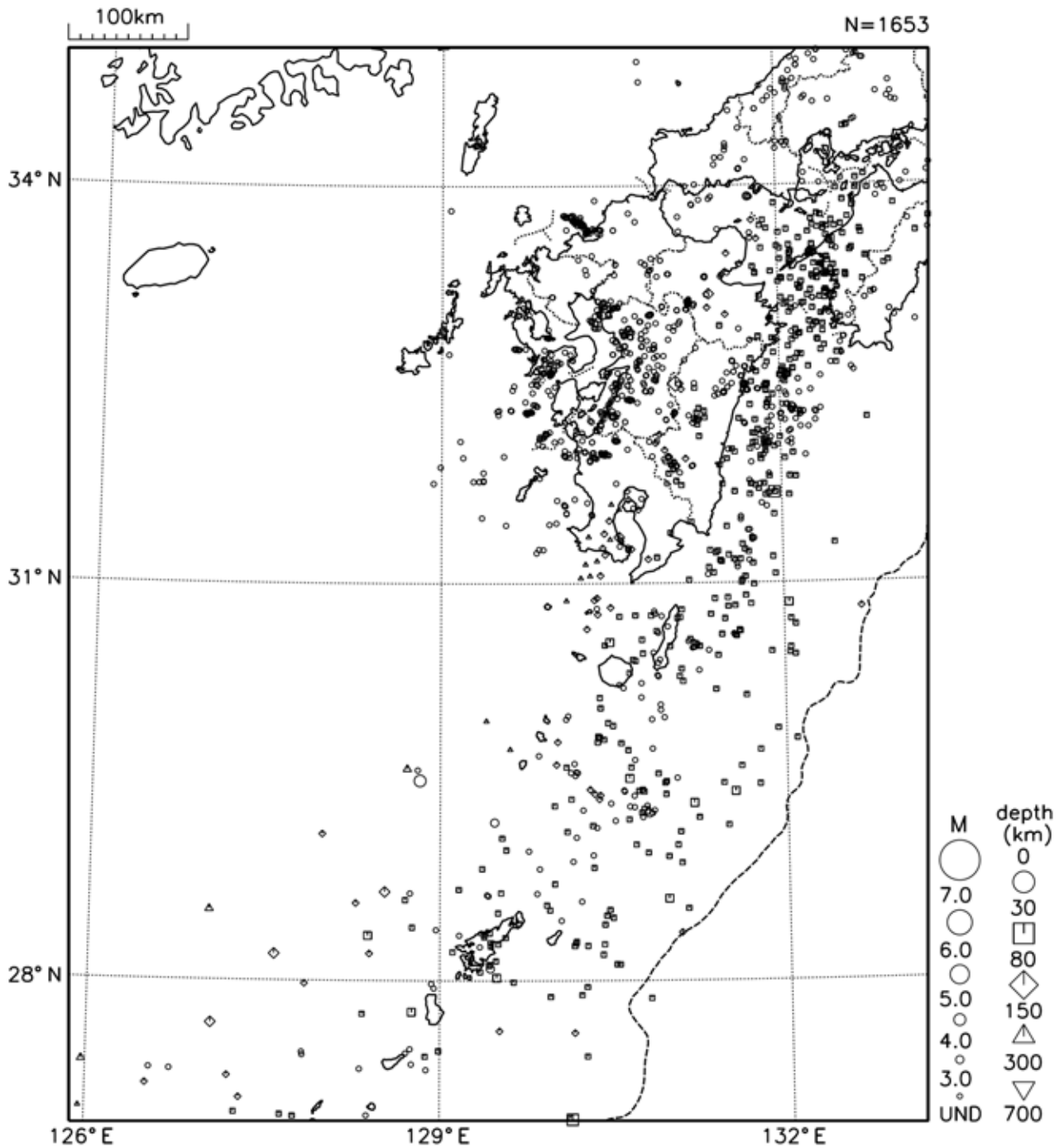


図7 九州地方の震央分布図（2008年1月1日～1月31日）

### [ 概況 ]

1月に九州地方で震度1以上を観測した地震は11回（12月は19回）であった。  
1月中、特に目立った活動はなかった。

## 沖縄地方の地震活動

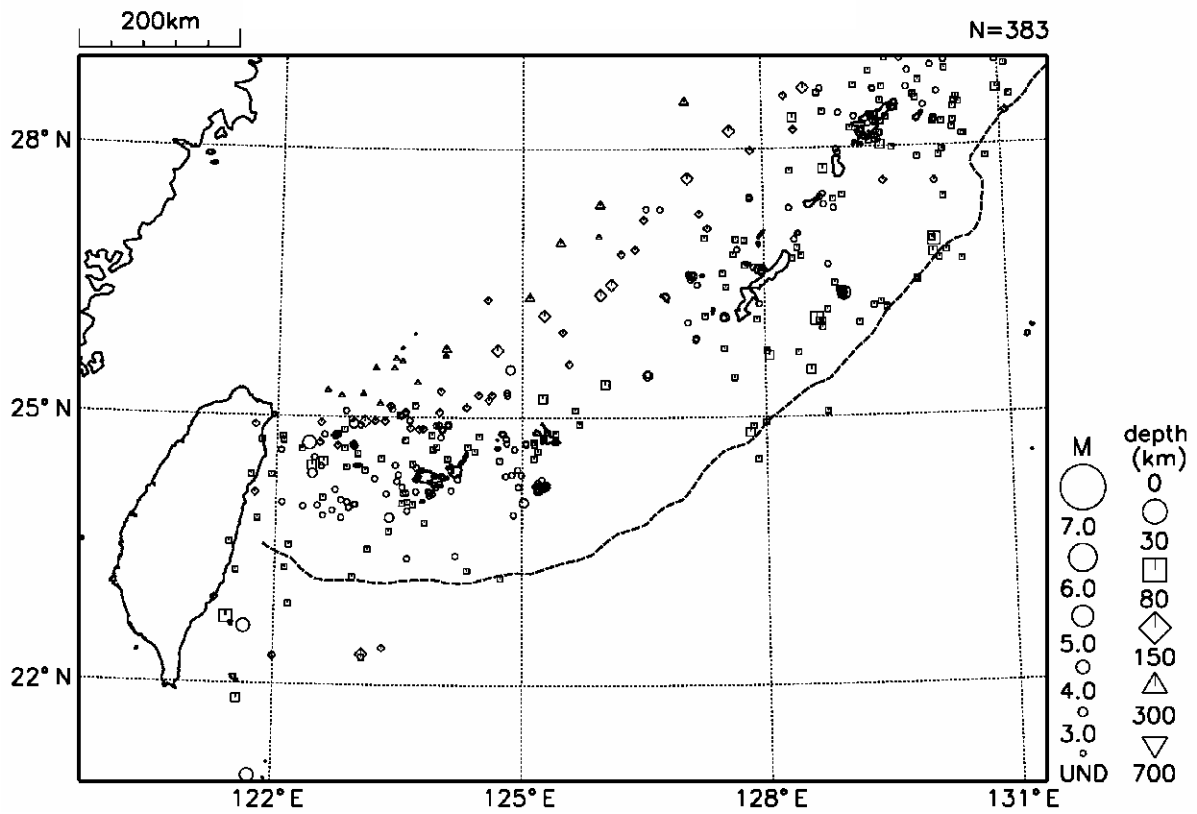


図 8 沖縄地方の震央分布図（2008 年 1 月 1 日～ 1 月 31 日）

### 〔概況〕

1 月に沖縄地方で震度 1 以上を観測した地震は 2 回（12 月は 3 回）であった。  
1 月中、特に目立った活動はなかった。



## 東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動

### [概況]

2007 年 11 月 12 日ごろから始まった静岡県西部の地殻内での地震活動は継続しており、2008 年 1 月 27 日に M4.2 の地震が発生した。

### [地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会検討結果]

1 月 28 日に気象庁において第 260 回地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会（定例会）を開催し、気象庁は「最近の東海地域とその周辺の地震・地殻活動」として次のコメントを発表した（図 2～図 6）。

現在のところ、東海地震に直ちに結びつくような変化は観測されていません。

全般的には顕著な地震活動はありません。静岡県中部では、プレート内で通常より活動レベルが低く、地殻内は活発な状態になっていますが、その他の地域では概ね平常レベルです。

東海地域及びその周辺の地殻変動には注目すべき特別な変化は観測されていません。

なお、昨日（1 月 27 日）静岡県西部で起きた一連の地震活動は地殻内で発生したものであり東海地震に結びつくとは考えられていません。

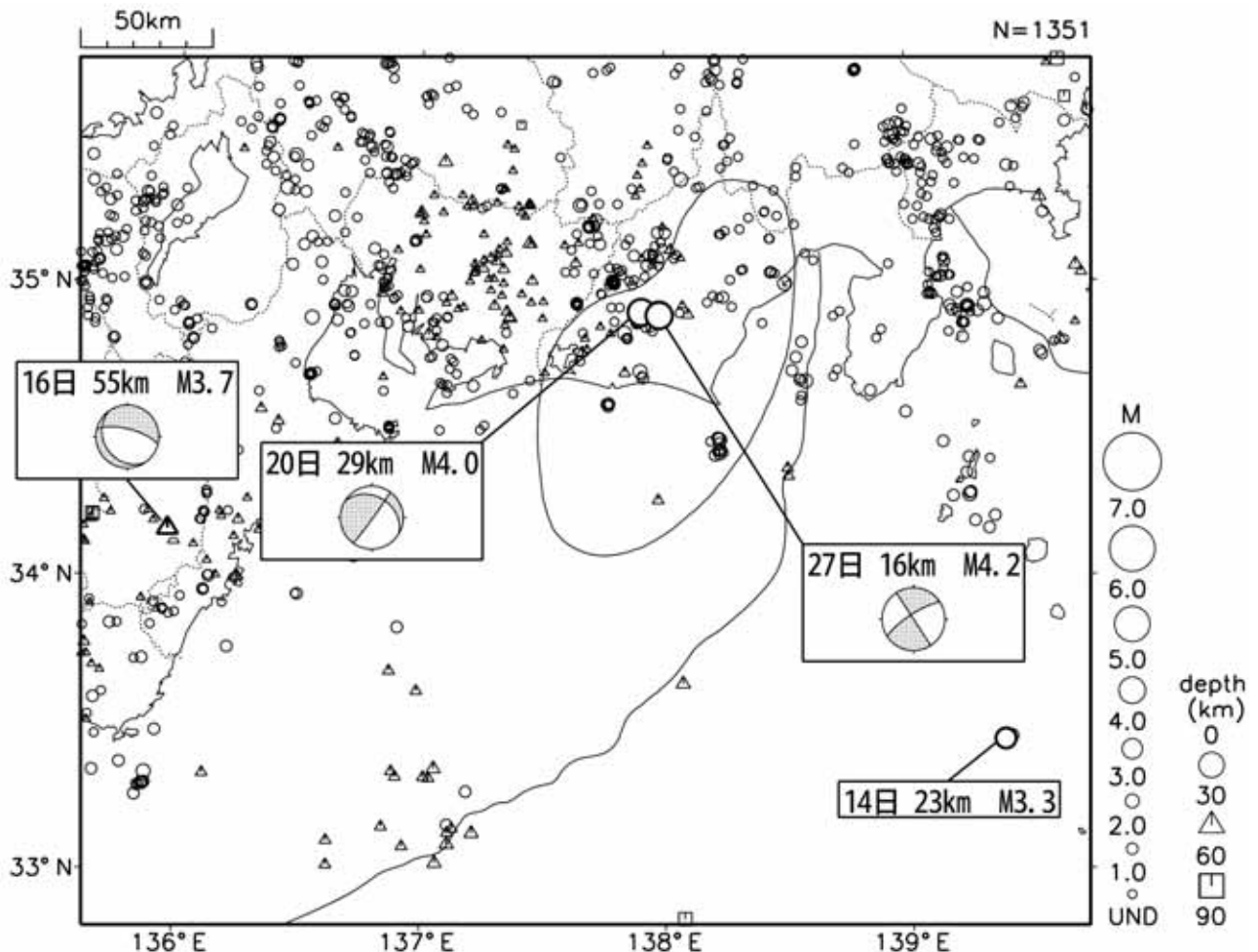


図 1 震央分布図 (2008 年 1 月 1 日～31 日: 深さ 90km 以浅、M すべて。M3.0 以上の地震に「日、深さ、M」を付けた (ただし静岡県西部地殻内の地震活動については最大のもののみ)。すぐ下の図は P 波初動による発震機構 (下半球投影)。図中のナス型の領域は東海地震の想定震源域。)

14 日 02 時 30 分、八丈島近海の深さ 23km で M3.3 の地震が発生した。

16 日 14 時 51 分、奈良県の深さ 55km で M3.7 の地震があり、最大震度 2 を観測した。発震

機構は北北東 - 南南西方向に張力軸を持つ正断層型で、フィリピン海プレート内で発生した地震である。

20 日 11 時 19 分、静岡県西部の深さ 29km で M4.0 の地震があり、最大震度 2 を観測した。発震機構は東西方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内で発生した地震である。2007 年 11 月 12 日頃から発生している地震活動は、2008 年 1 月に入って一旦落ち着いたが、1 月中旬以降は再び活発になった。11 月以降の地震活動での最大は 1 月 27 日 10 時 53 分に深さ 16km で発生した M4.2 の地震（最大震度 2）である（2008 年 2 月 5 日現在）。発震機

構はどの地震もほぼ東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、陸域の地殻内で発生している。1 月中にこの地震活動域で発生した M3.0 以上の地震は 7 個であり、そのうち 1 月 27 日 10 時 33 分に発生した M4.1 の地震（深さ 17km）では、最大震度 3 を観測した。（p10 を参照）

注：本文中の番号は、図 1 中の数字に対応する。

[東海地域の地震活動の頁で使われる用語]

・「想定震源域」(図 1) と「固着域」(図 2)

東海地震発生時には、「固着域」(プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域)あるいはその周辺の一部からゆっくりしたずれ(前兆すべり)が始まり、最終的には「想定震源域」全体が破壊すると考えられている。

・「クラスタ除去」(図 2 と図 3)

地震は時間空間的に群(クラスタ: cluster)をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的な群(クラスタ)で、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。震央距離が 3 km 以内、発生時間差が 7 日以内の地震をクラスタと見なし、最大地震で代表させている。

大規模な地震から国民の生命・財産を保護することを目的として、昭和 53 年(1978 年)12 月に施行された「大規模地震対策特別措置法」では、大規模な地震の発生のおそれがあり、その地震によって大きな被害が予想されるような地域をあらかじめ「地震防災対策強化地域(以下、「強化地域」という。))として指定し、地震予知のための観測施設の整備を強化し、あらかじめ地震防災に関する計画をたてる等、各種の措置を講じることとしている。強化地域は平成 14 年(2002 年)4 月に見直しが行われ、現在、静岡県全域と東京都、神奈川・山梨・長野・岐阜・愛知及び三重の各県にまたがる 173 市町村(平成 19 年 4 月現在)が強化地域に指定されている。強化地域では、マグニチュード 8 クラスと想定されている大地震(東海地震)が起こった場合、震度 6 弱以上(一部地域では震度 5 強程度)になり、沿岸では大津波の来襲が予想されている。気象庁では東海地震の直前の前兆現象を捕らえるため、地震、地殻変動等の観測データを常時監視している。

## 東海地域の地震活動指数 (クラスタを除いた地震回数による)

2008年1月23日 現在

	① 固着域		② 愛知県		③ 浜名湖			④ 駿河湾
	地殻内	フィリ ピン海 プレート	地殻内	フィリ ピン海 プレート	フィリピン海プレート内			全域
					西側	全域	東側	
<b>短期活動指数</b>	<b>8</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>2</b>
短期地震回数 (平均)	13 (6.31)	5 (5.91)	12 (13.23)	14 (14.08)	0 (2.46)	1 (5.99)	1 (3.53)	3 (6.06)
<b>中期活動指数</b>	<b>8</b>	<b>3</b>	<b>7</b>	<b>7</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>0</b>
中期地震回数 (平均)	34 (18.93)	13 (17.74)	52 (39.68)	53 (42.24)	1 (4.93)	3 (11.99)	2 (7.06)	4 (12.12)

\* Mしきい値： M $\geq$ 1.1：固着域、愛知県、浜名湖、M $\geq$ 1.4：駿河湾

\* クラスタ除去：震央距離が $\Delta r$ 以内、発生時間差が $\Delta t$ 以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。

$\Delta r=3\text{km}$ 、 $\Delta t=7$ 日：固着域、愛知県、浜名湖

$\Delta r=10\text{km}$ 、 $\Delta t=10$ 日：駿河湾

\* 対象期間： 短期：30日間（固着域、愛知県）、90日間（浜名湖、駿河湾）

中期：90日間（固着域、愛知県）、180日間（浜名湖、駿河湾）

\* 基準期間： 1997年－2001年（5年間）：固着域、愛知県、1998年－2000年（3年間）：浜名湖

1991年－2000年（10年間）：駿河湾

[各領域の説明] ① 固着域：固着していると考えられる領域。

② 愛知県：フィリピン海プレートが沈み込んでいく先の領域。

③ 浜名湖：固着域の縁。長期的スロースリップ（ゆっくりすべり）が発生する場所であり、同期して地震活動が変化すると考えられている領域。

④ 駿河湾：フィリピン海プレートが沈み込み始める領域。

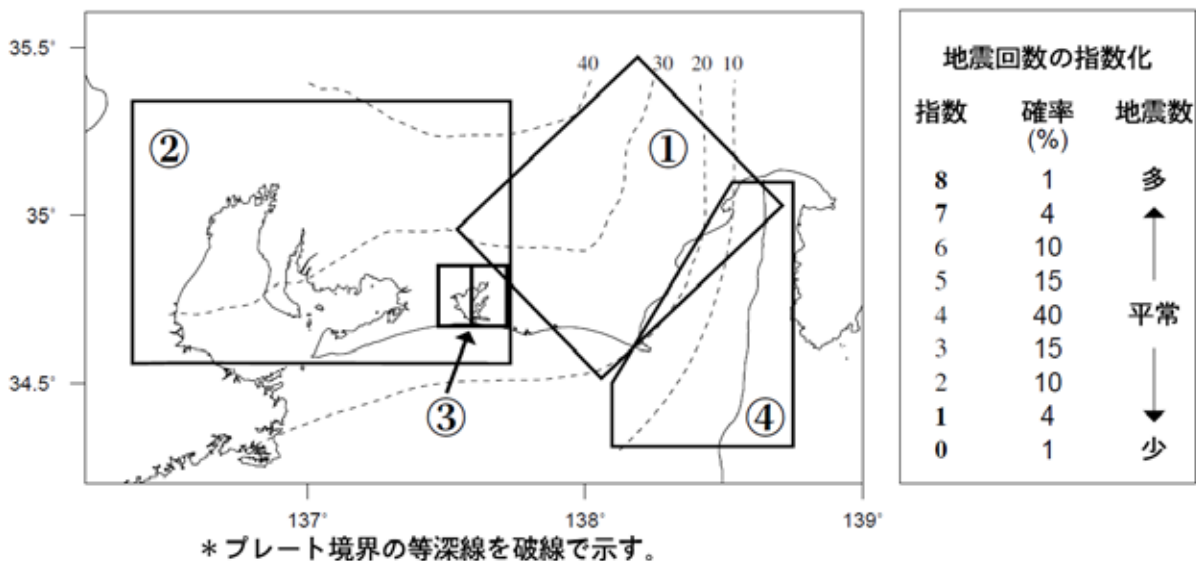


図 2 東海地域の地震活動指数

固着域の地殻内で活動指数が高く、浜名湖と駿河湾で低かった他は、ほぼ平常の活動であった。

### 浜名湖（フィリピン海プレート内）

1995/ 1/ 1~2008/ 1/ 23 M ≥ 1.1 \* クラスタ除去したデータ

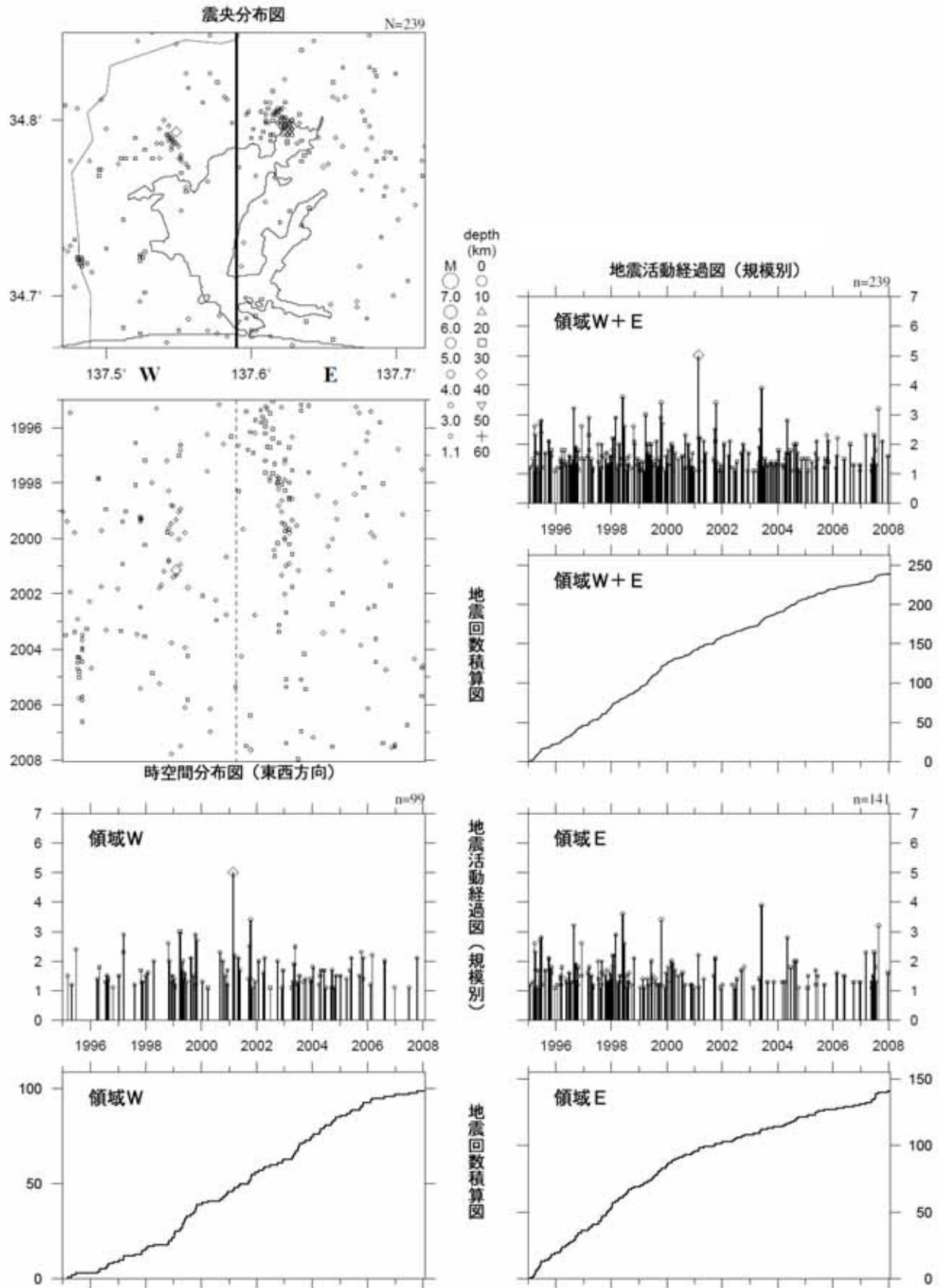


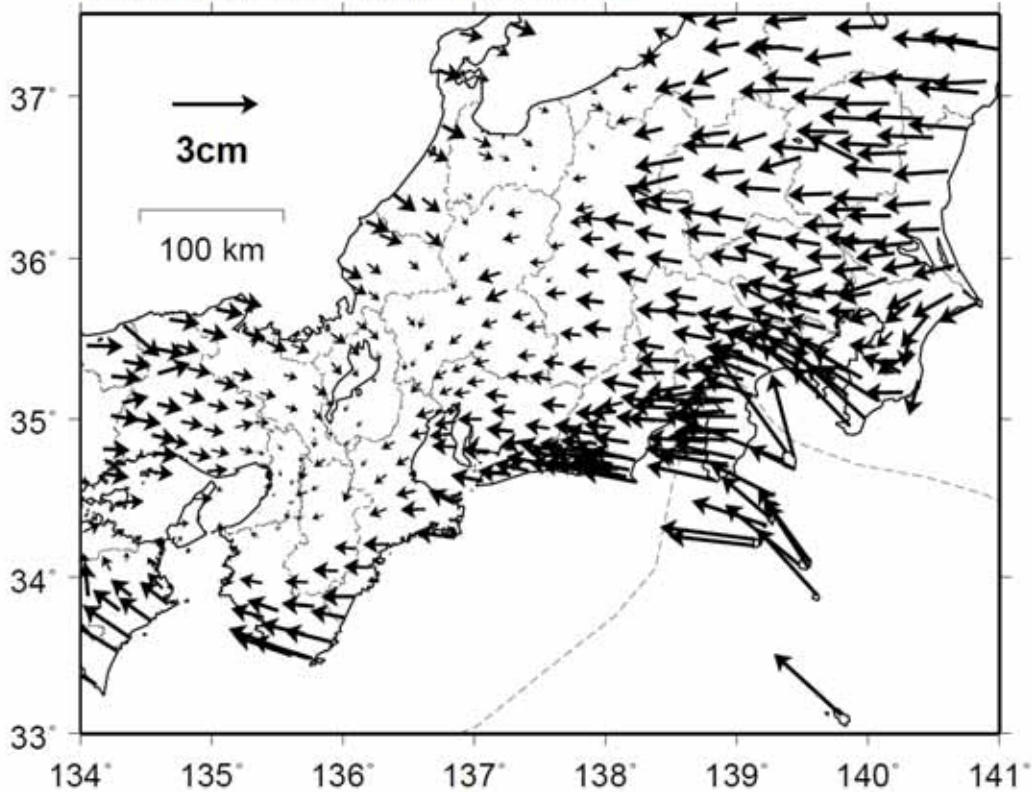
図3 浜名湖付近のフィリピン海プレート内の地震活動

領域Eでは2000年終わりごろからの活動の低下が継続していたが、2007年7月～9月ごろにかけて活動が回復した。その後は再び低下している。領域Wは2006年以降、活動が低下した状況である。

## 東海地方の最近の地殻変動（水平変動）【大湊固定】 （2006年12月～2007年12月）

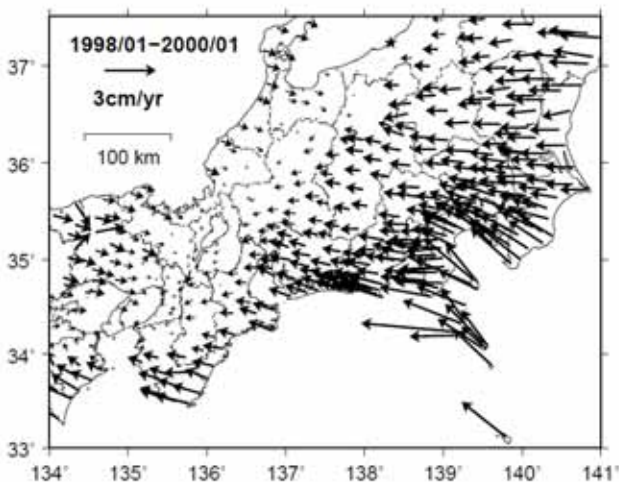
基準期間：2006/12/20 - 2006/12/29 [F2：最終解]

比較期間：2007/12/20 - 2007/12/29 [F2：最終解]

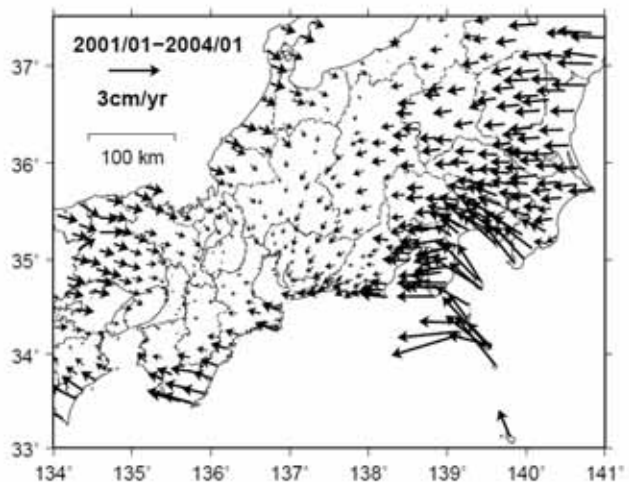


- ・2007年3月25日に発生した能登半島地震による地殻変動の影響は取り除いている。
- ・2007年7月16日に発生した新潟県中越沖地震による地殻変動の影響は取り除いている（暫定）。

スロースリップ開始以前の地殻変動速度  
（1998年1月～2000年1月）



スロースリップ進行期の地殻変動速度  
（2001年1月～2004年1月）

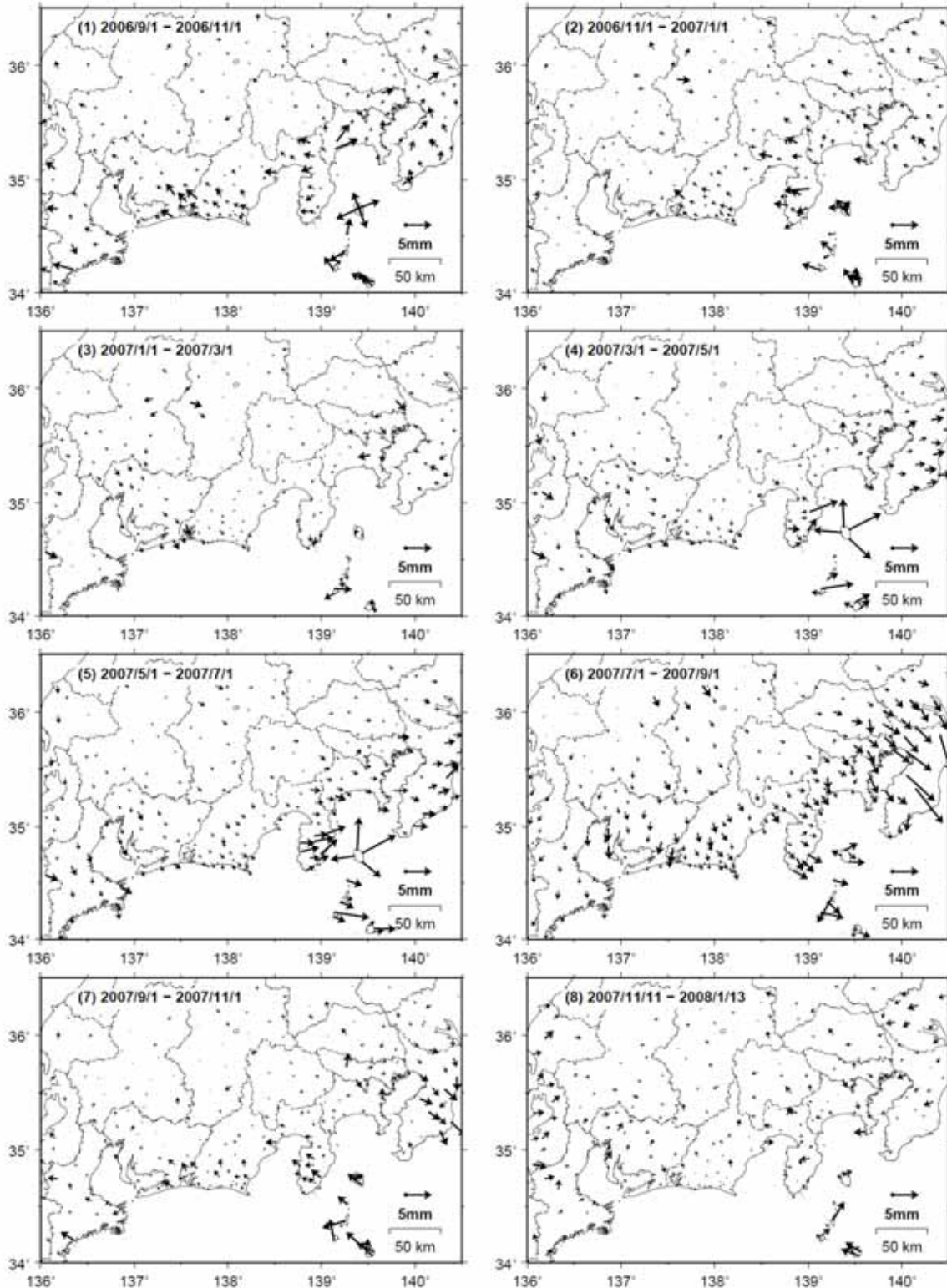


国土地理院資料

図4 国土地理院のGPS観測結果による東海地域の非定常的地殻変動

上図は、最近のGPS観測点が1年前と比べて水平方向にどの程度動いたかを示したものである。（最近：2007年12月20日～2007年12月29日、新潟県のGPS観測点大湊を固定。）東海地方に西～北西方向に変動する領域が見られるが、これは下左図の、スロースリップ（ゆっくり滑り）開始以前の定常的な状態と似ている。

2ヶ月ごとの東海非定常地殻変動（水平変動）【大潟固定】



- ・平滑化した非定常地殻変動について、2ヶ月ごとの変動量を表示している。
- ・(4)は、2007年3月25日に発生した能登半島地震による地殻変動の影響を取り除いている。
- ・(6)は、2007年7月16日に発生した新潟県中越沖地震による地殻変動の影響を取り除いている（暫定）。

【年周推定（1998.0-2000.0）】国土地理院資料

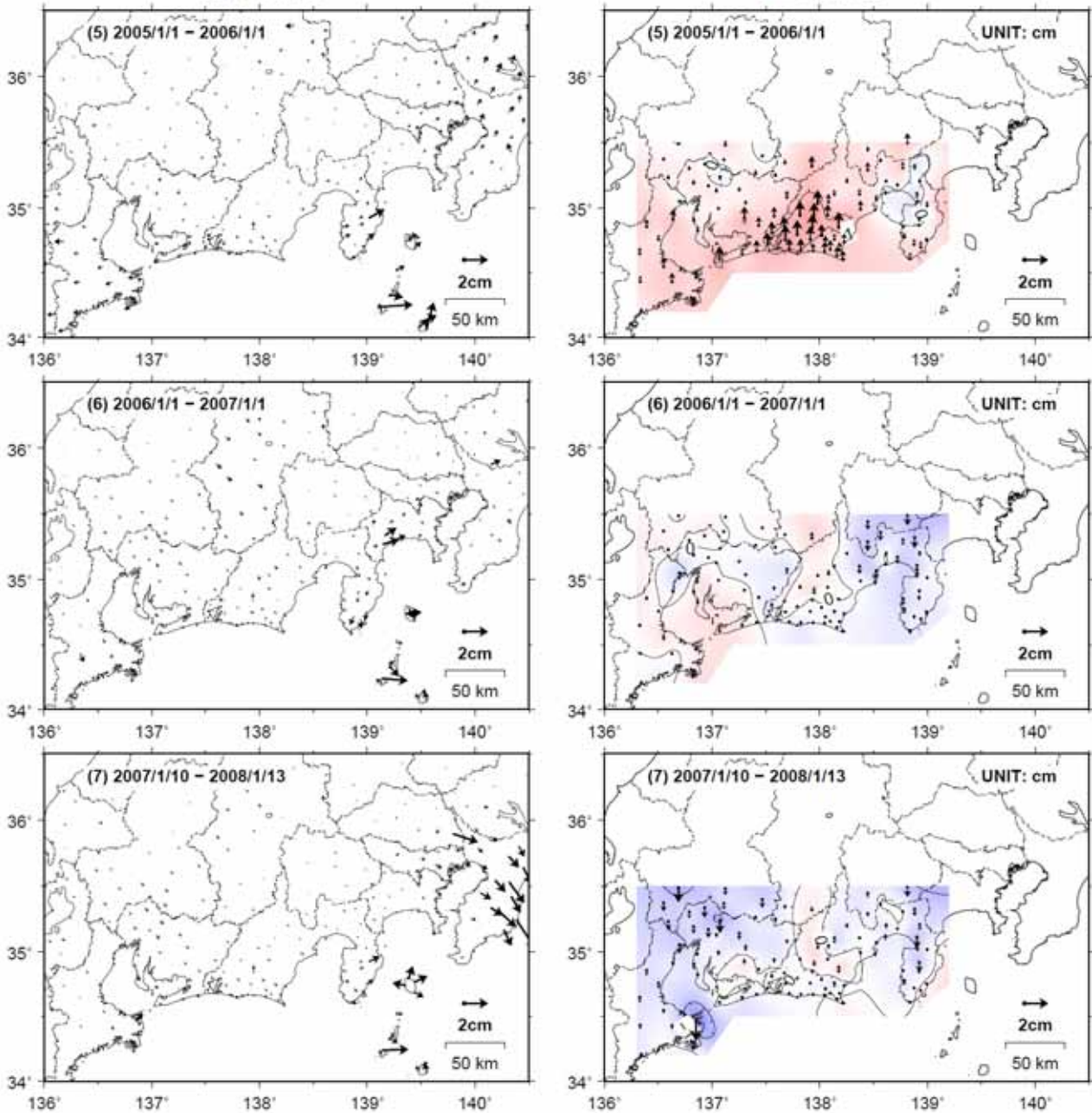
図5 国土地理院のGPS観測結果による2ヶ月間で見た東海非定常地殻変動  
（2006年9月～2008年1月13日の水平変動）大潟固定

最近の図(8)で東海地域に見られる小さな北向きのベクトルは年周変化によるものであり、ゆっくり滑りによる顕著な地殻変動は発生していないと思われる。

1 年間で見た東海非定常地殻変動 【大潟固定】

【水平変動】

【上下変動】



- ・平滑化した非定常地殻変動について、1 年間の変動量を表示している。
- ・2003 年以降の上下成分は年周/半年周成分を除去していない。
- ・(7) は、2007 年 3 月 25 日に発生した能登半島地震による地殻変動の影響を取り除いている。
- ・(7) は、2007 年 7 月 16 日に発生した新潟県中越沖地震による地殻変動の影響を取り除いている（暫定）。

【年周推定（1998.0-2000.0）】国土地理院資料

図 6 国土地理院の GPS 観測結果による 1 年間で見た東海非定常地殻変動

（2005 年、2006 年、最近 1 年間の水平変動と上下変動）大潟固定

ゆっくり滑りが停止した後の 2006 年以降（(6)と(7)）は、水平変動が小さく、浜名湖周辺の顕著な隆起も見られない。

なお、各図の番号は(1)2001 年からの通し番号である（(1)2001 年～(4)2004 年については、平成 19 年 10 月地震・火山月報（防災編）p25 を参照）。

## 日本の主な火山活動

2月7日現在の噴火警報及び噴火予報の発表状況は以下のとおりである。



図1 噴火警報発表中の火山（平成20年2月7日現在）

### 火口周辺警報

噴火警戒レベル3、入山規制 : 桜島  
噴火警戒レベル2、火口周辺規制 : 薩摩硫黄島、諏訪之瀬島  
火口周辺危険 : 三宅島、硫黄島

### 噴火警報（周辺海域）

周辺海域警戒 : 福徳岡ノ場

### 噴火予報

噴火警戒レベル1、平常 : 樽前山、北海道駒ヶ岳、岩手山、吾妻山、草津白根山、浅間山、富士山、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山(御鉢、新燃岳)、口永良部島

平常 : 上記以外の火山

注) 噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山に導入している（現在、噴火警戒レベルを導入している火山は16火山である）。



## 各火山の 1 月の活動解説

### 【北海道地方】

#### めあかんだけ 雌阿寒岳 【噴火予報（平常）】

9 日夜から 10 日にかけて体に感じない小さな火山性地震が多発した。11 日に入り地震回数は減少したが、地震多発前の状態には戻っておらず、依然やや多い状態が続いている。

今回の活動は、2006 年 3 月のごく小規模な噴火に先行した活動に比べると、地震の振幅は小さく、火山性微動も観測されていない。また、噴煙の状況や地殻変動にも変化はない。

雌阿寒岳では、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。ただし、山頂火口内では引き続き噴気や火山ガスの噴出が見られることから、火口内等では火山灰噴出等に警戒が必要である。

#### とかちだけ 十勝岳 【噴火予報（平常）】

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

#### たるまきさん 樽前山 【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

23 日に行った上空からの観測（第一管区海上保安本部の協力による）では、山頂ドーム及びその周辺の火口の状況に変化はなかった。地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

ただし、A 火口及び B 噴気孔群は、高温の状態が続いていると推定され、溶岩ドーム及びその近傍では、火山ガスや火山灰噴出に対する警戒が必要である。

#### くつたら 倶多楽 【噴火予報（平常）】

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

なお、登別市によると引き続き大正地獄でごく小規模な泥混じりの熱湯噴出が時々見られた。

#### うすざん 有珠山 【噴火予報（平常）】

23 日に行った上空からの観測（第一管区海上保安本部の協力による）では、西山西麓火口群及び山頂火口原の噴気の状況に変化はなかった。

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

#### ほっかいどうこまがたけ 北海道駒ヶ岳

##### 【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

23 日に行った上空からの観測（第一管区海上保安本部の協力による）では、昭和 4 年火口等の噴煙の状況に変化はなかった。GPS 連続観測ではわずかな山体膨張が継続しているが、地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

#### えさん 恵山 【噴火予報（平常）】

23 日に行った上空からの観測（第一管区海上保安本部の協力による）では、溶岩ドーム西側の噴気の状況に変化はなかった。

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

### 【東北地方】

#### いわきさん 岩木山 【噴火予報（平常）】

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

#### いわてさん 岩手山 【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

山頂東側のやや深い所を震源とする地震の一時的なやや増加が時々見られたが、地殻変動（東北大学の傾斜計による）や噴煙活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

#### あきたこまがたけ 秋田駒ヶ岳 【噴火予報（平常）】

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

#### くりこまやま 栗駒山 【噴火予報（平常）】

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

#### あづまやま 吾妻山 【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

#### あだたらやま 安達太良山 【噴火予報（平常）】

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

**磐梯山** ばんだいらいざん **【噴火予報（平常）】**

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

**【関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島】**

**那須岳** なすだけ **【噴火予報（平常）】**

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

**草津白根山** くまつしらねざん **【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、山頂火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

**浅間山** あさまやま **【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

噴煙活動はやや活発な状態が続いており、噴煙高度は火口縁上概ね 100m で推移した。

地震活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

**新潟焼山** にいがたやけやま **【噴火予報（平常）】**

地震活動は低調な状態で、新潟県土木部砂防課の焼山温泉監視カメラでは噴煙活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

**焼岳** やけどけ **【噴火予報（平常）】**

地震活動は低調な状態で、噴火の兆候はみられない。

**御嶽山** おんたけざん **【噴火予報（平常）】**

地震活動及び噴気活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

**白山** はくざん **【噴火予報（平常）】**

地震活動は低調な状態で、国土交通省金沢河川国道事務所の土砂災害監視用カメラでは山頂部に噴気は認められず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

**富士山** ふじざん **【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

地震活動は低調な状態で、噴火の兆候はみられない。

**伊豆東部火山群** いずとうぶかざんぐん **【噴火予報（平常）】**

地震活動は低調な状態で、噴煙などの表面現象は認められず、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

**伊豆大島** いずおおしま **【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

GPS、光波距離計<sup>1)</sup>及び体積歪計<sup>2)</sup>による連続観測では、地下深部へのマグマ注入によると考えられる島全体の膨張傾向が継続している。

10 日に行った現地調査では、三原山山頂火口内及びその周辺に引き続き弱い噴気が認められた。三原山山頂火口内の中央火孔の温度や地表面温度分布<sup>3)</sup>に変化はなかった。

地震活動は低調な状態で、三原山山頂火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

- 1) レーザーなどを用いて山体に設置した反射鏡までの距離を測定する機器。山体の膨張や収縮による距離の変化を観測している。
- 2) センサーで周囲の岩盤から受ける力による体積の変化をとらえ、岩石の伸びや縮みを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測される。
- 3) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を検知して温度分布を測定する測器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。

**三宅島** みやけしま **【火口周辺警報（火口周辺危険）】**

7 日 06 時 54 分頃、山頂火口でごく小規模な噴火が発生し、山頂火口から灰色の噴煙が火口縁上 300m まで上がり、南東に流れるのを観測した。

7 日午前中に行った現地調査では、島の東から南東の範囲（山頂火口から約 3 km）で微量の降灰を確認した。三宅島で噴火が発生したのは 2006 年 8 月 23 日以来である。

山頂火口直下を震源とする火山性地震は増減を繰り返しながらやや多い状態が続いている。7 日 06 時 54 分には、空振を伴う振幅のやや大きなやや低周波地震が観測された。

8 日及び 30 日に行った現地調査では、二酸化硫黄放出量<sup>4)</sup>は一日あたり 1,400 ~ 2,500 トンで、依然として多量の火山ガス放出が続いている。また三宅島の火山ガス濃度観測によると、山麓でたびたび高濃度の二酸化硫黄が観測されている。

噴煙高度は火口縁上概ね 100 ~ 300m で推移した。

地磁気連続観測<sup>5)</sup>では、山体内部の温度低下を示す変化が鈍化しながらも続いている。

GPS 連続観測では、山体浅部の収縮が徐々に小さくなりながら継続している。

三宅島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口周辺では噴

火等に対する警戒が必要である。また、風下にあたる地区では火山ガスに対する警戒が必要である。雨による泥流にも注意が必要である。

4) 紫外線差分吸収分光計 (DOAS) による。DOASは、紫外線のある波長帯の二酸化硫黄の吸収を利用して、

二酸化硫黄濃度を測定する機器。  
5) プロトン磁力計による観測。火山は磁石のように磁気を帯びている。火山体内部で温度上昇があると、山頂火口の北側で全磁力値が増加し、南側で減少がみられる。

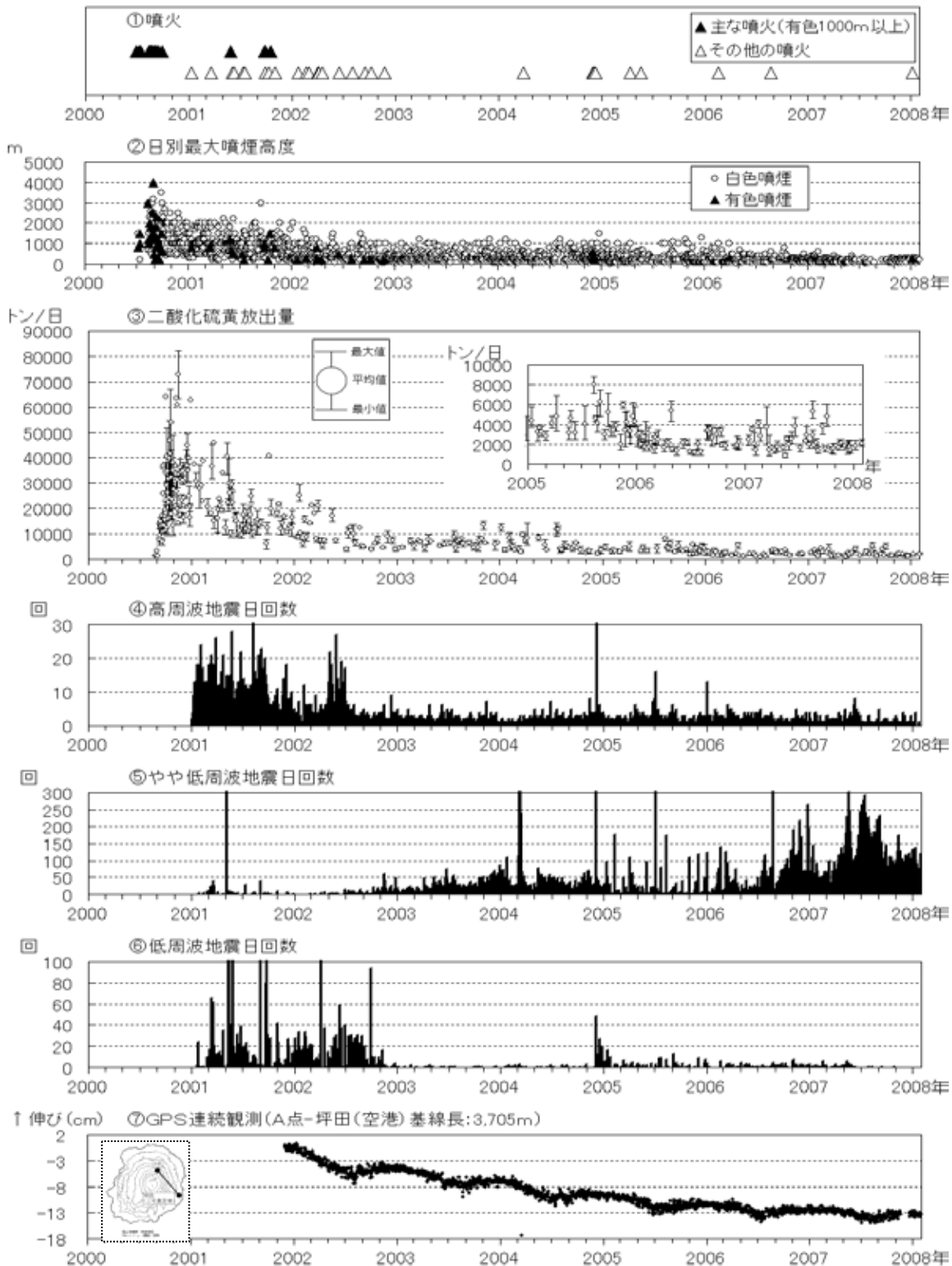


図2 三宅島 最近の火山活動の推移 (2000年1月~2008年1月)  
は、海上保安庁、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、東京消防庁及び警視庁の協力を得て作成。  
、及び は、地震の種類別に計数を開始した2001年1月1日からのデータを掲載

**八丈島** はちじょうしま **〔噴火予報（平常）〕**

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

**硫黄島** いおうとう **〔火口周辺警報（火口周辺危険）〕**

国土地理院及び防災科学技術研究所の観測によると、地震活動は落ち着いた状態で経過しているが、島全体が大きく隆起する地殻変動は鈍化したものの継続している。

硫黄島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒が必要である。

**【九州地方及び南西諸島】**

**九重山** くじゅうざん **〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕**

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

**阿蘇山** あそざん **〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕**

孤立型微動は2007年8月頃より多い状態で経過しており、29日以降はさらに増加し一日あたり300回を超える状態となっているが、中岳第一火口の湯だまりの湯量や表面温度<sup>3)</sup>に変化はなく、土砂噴出も観測されていない。

中岳第一火口南側火口壁の一部の噴気孔では引き続き赤熱現象が確認された。

10日及び25日に行った現地調査では、二酸化硫黄放出量<sup>4)</sup>は一日あたり200～500トンで、やや少ない状態が続いている。

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動や地磁気<sup>5)</sup>に特段の変化はない。

阿蘇山では火口周辺に影響を及ぼす（噴火の兆候はみられない。ただし、火口内では噴気や火山ガスの噴出が見られることから、火口内等では火山灰噴出等に警戒が必要である。また、火口付近では火山ガスに対する注意が必要である。

**雲仙岳** うんぜんだけ **〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕**

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

**霧島山（新燃岳）** きりしまやま しんもえだけ

**〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕**

GPS 連続観測では、新燃岳のわずかな山体膨張が継続しているが、地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

**霧島山（御鉢）** きりしまやま おはち

**〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕**

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

**桜島** さくらしま

**〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）〕**

2月3日（期間外）に噴火警戒レベル2（火口周辺規制）から引き上げ

2月3日（期間外）に昭和火口で爆発的噴火が2回発生した。このことから2月3日に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）を発表し、噴火警戒レベルを2から3に引き上げた。

昭和火口では、3日00時39分に火口付近に噴石を飛散する程度のごく小規模な噴火が発生し、同日10時18分と15時54分には爆発的噴火が発生した。その後、昭和火口ではごく小規模な噴火を繰り返していたが、6日10時33分と11時25分に再び爆発的噴火が発生した。

3日10時18分の噴火では噴石が4合目（火口から約1km）まで飛散し、同日15時54分の噴火では火砕流が火口から東に約1.0kmまで流下した。6日11時25分の噴火では火砕流が火口から東に約1.3kmまで流下し、噴石が5合目（火口から約500m）まで飛散した。

南岳山頂火口では、1月7日に爆発的噴火が発生したほか、ごく小規模な噴火が時々発生した。

火山性地震は少ない状態で経過し、火山性微動も1月中旬以降少ない状態で経過している。

8日及び24日に行った現地調査では、二酸化硫黄放出量<sup>4)</sup>は一日あたり800～1,400トンとやや多い状態が続いている。

国土地理院によるGPS連続観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部へのマグマ注入によると考えられる長期的な膨張が継続している。

桜島では、過去の事例からみると小規模な噴火であっても、火砕流が発生する可能性がある。また、火口から2km程度の範囲に噴石が飛散する可能性もある。

昭和火口及び南岳山頂火口から2km程度の範囲では噴火に伴う噴石及び火砕流に警戒が必要である。また、風下では降灰及び火山れき（風

に流されるような小さな噴石)に注意が必要である。降雨時には泥流や土石流にも注意が必要である。

**薩摩硫黄島**

**【火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)】**

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや活発で、噴煙高度は火口縁上概ね 200m で推移した。

火山性地震はやや多い状態が続いている。

薩摩硫黄島では硫黄岳山頂火口から半径約 1 km の範囲に噴石を飛散させる程度の小規模な噴火が発生すると予想されるので、これらの地域では噴火に対する警戒が必要である。

**口永良部島**

**【噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)】**

25 日に噴火警戒レベル2(火口周辺規制)から引き下げ

地震活動は 2007 年 9 月頃より一時的な増加もなく、落ち着いた状態で経過し、火山性微動も少

ない状態が続いている。

口永良部島では新岳火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなり、25 日に噴火予報(噴火警戒レベル1、平常):警報解除を発表し、噴火警戒レベル2(火口周辺規制)をレベル1(平常)に引き下げた。

新岳火口内では引き続き噴気や火山ガスの噴出が見られ、火口内等では警戒が必要である。

**諏訪之瀬島**

**【火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)】**

今期間、噴火は観測されなかったが、長期にわたり噴火を繰り返している。

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

諏訪之瀬島では今後も御岳火口から半径約 1 km の範囲に噴石を飛散させる程度の小規模な噴火が発生すると予想されるので、これらの地域では噴火に対する警戒が必要である。

**資料 1 2008 年 1 月の噴火警報及び噴火予報、火山の状況に関する情報の発表状況(定期発表以外)**

火山名	噴火警報、噴火予報及び情報の種類	発表日時	噴火警報及び噴火予報の発表状況	概要
雌阿寒岳	火山活動解説資料	10 日	噴火予報(平常)	9 日から 10 日にかけて地震が多発し、その後減少したもののやや多い状態が継続
三宅島	火山活動解説資料	7 日	火口周辺警報(火口周辺危険)	7 日に発生したごく小規模噴火について
口永良部島	噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)	25 日 14 時 00 分	噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)	地震及び微動が少ない状態が続いたことから、噴火予報(噴火警戒レベル1、平常):警報解除を発表し、噴火警戒レベルを1に引き下げた
	火山活動解説資料	25 日	噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)	25 日 14 時 00 分発表の噴火予報の解説

## 資料 2 全国の火山の噴火警報及び噴火予報の発表状況のまとめ（平成 20 年 2 月 7 日現在）

## ( 1 ) 主な活火山

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況 ( 2 月 7 日現在 )	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	雌阿寒岳	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	十勝岳	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	樽前山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	倶多楽	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	有珠山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
東北地方	恵山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	岩木山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	栗駒山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	吾妻山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	安達太良山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	磐梯山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	那須岳	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	草津白根山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	浅間山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	新潟焼山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	御嶽山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	白山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	富士山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	箱根山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	伊豆東部火山群	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	伊豆大島	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	三宅島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（火口周辺危険）
	八丈島	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（火口周辺危険）
福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域危険）	2007 年 12 月 1 日 噴火警報（周辺海域警戒）	
九州地方・南西諸島	九重山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	雲仙岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	霧島山（新燃岳）	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	桜島	火口周辺警報 （レベル 3、入山規制）	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2008 年 2 月 3 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 （レベル 2、火口周辺規制）	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	口永良部島	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2008 年 1 月 25 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 （レベル 2、火口周辺規制）	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）

注）噴火警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成 19 年 12 月 1 日の噴火警報及び噴火予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。

主な活火山とは関係機関も含めて連続観測を行っている火山をいう。

ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

## （ 2 ） その他の活火山

以下の活火山では平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌブリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ペルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方 及び伊豆・小笠原諸島	高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

## 世界の主な地震

2008 年 1 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

2008 年 1 月 1 日 00 時～ 1 月 31 日 24 時（日本時間）

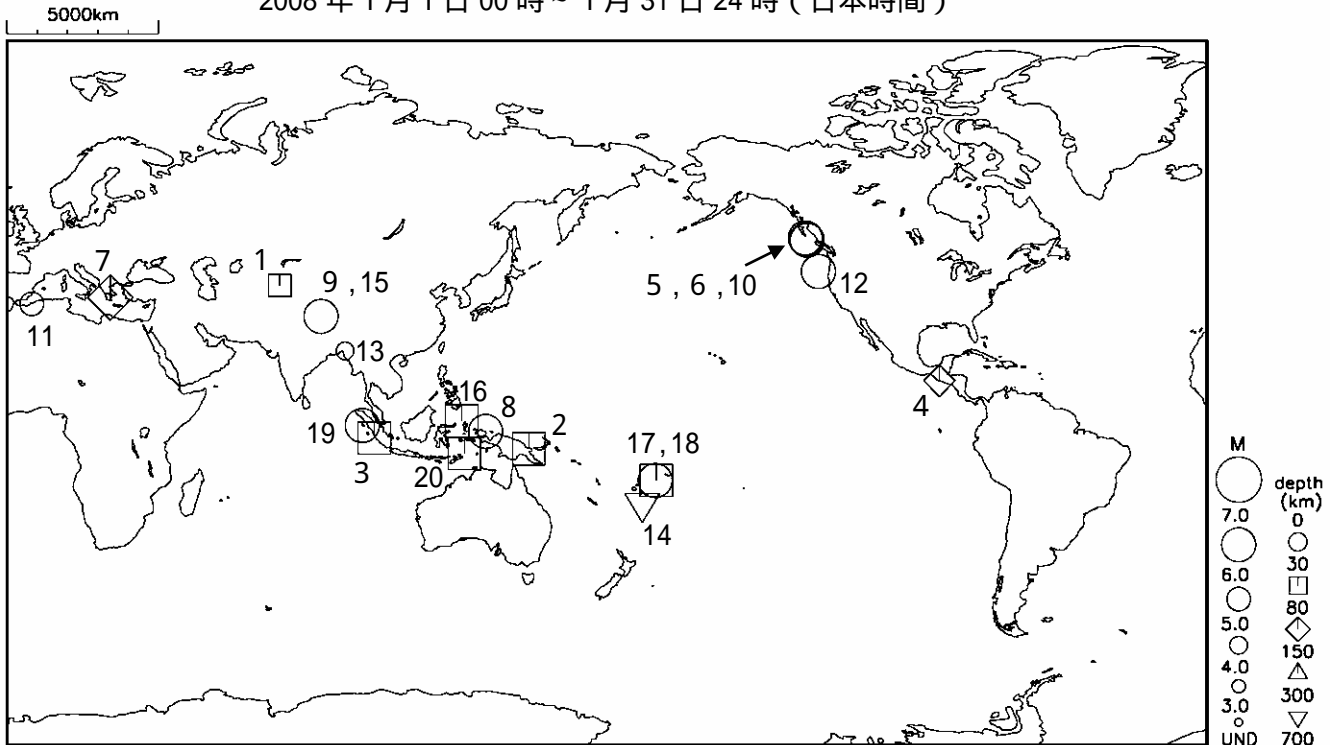


図 1 2008 年 1 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布  
 <震源要素は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による>

\* : 数字は、表 1 の番号に対応する。

\*\* : マグニチュードは mb（実体波マグニチュード）、Ms（表面波マグニチュード）、Mw（モーメントマグニチュード）のいずれか大きい値を用いて表示している。

表 1 2008 年 1 月に世界で発生したマグニチュード 6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	震源時 月 日 時 分	緯度	経度	深さ (km)	mb	Ms	Mw	震央地名	備考（被害状況など）
1	01月01日15時32分	N40° 19.9' E 72° 59.0'		41	5.8	5.4	5.6	キルギスタン	建物被害5,385棟以上
2	01月02日03時55分	S 5° 58.5' E146° 51.9'		79	6.0		6.3	バブアニューギニア、ニューギニア東部	
3	01月04日16時29分	S 2° 47.1' E101° 00.7'		35	5.9	5.9	6.0	インドネシア、スマトラ南部	
4	01月05日10時56分	N14° 11.4' W 91° 24.6'		109	5.4		5.6	グアテマラ	住家小被害数棟など
5	01月05日20時01分	N51° 15.4' W130° 46.0'		10	6.0	6.5	6.6	カナダ、クイーンシャーロット諸島	
6	01月05日20時44分	N51° 08.6' W130° 34.2'		10	6.1	6.7	6.4	カナダ、クイーンシャーロット諸島	
7	01月06日14時14分	N37° 14.8' E 22° 41.2'		83			6.2	ギリシア南部	住家被害
8	01月07日12時12分	S 0° 47.4' E134° 01.3'		12	6.0	5.6	5.9	インドネシア、イリアンジャヤ	負傷者 6 人、建物被害22棟以上
9	01月09日17時26分	N32° 18.8' E 85° 12.0'		10	6.3	6.4	6.4	チベット自治区（中国）	
10	01月09日23時40分	N51° 40.0' W131° 10.0'		10	5.5	5.9	6.0	カナダ、クイーンシャーロット諸島	
11	01月10日07時24分	N35° 36.6' W 0° 34.4'		10	4.6			アルジェリア北部	死者 1 人、建物被害数棟
12	01月10日10時37分	N43° 50.4' W127° 16.4'		10	5.6	5.9	6.3	米国、オレゴン州沖	
13	01月13日07時44分	N22° 45.7' E 92° 18.9'		27	4.9	4.0		インド-バングラデシュ国境	建物被害数棟
14	01月16日02時52分	S21° 54.3' W179° 31.4'		596	5.8		6.5	フィジー諸島	
15	01月16日20時54分	N32° 19.2' E 85° 09.6'		9	6.0	5.8	5.9	チベット自治区（中国）	
16	01月21日05時26分	N 2° 20.8' E126° 54.9'		42			6.1	モルッカ海北部	建物被害
17	01月22日16時55分	S15° 18.7' W175° 19.1'		35	5.5	6.0	6.0	トンガ諸島	
18	01月22日19時49分	S15° 21.3' W175° 39.3'		10	5.7	6.0	6.1	トンガ諸島	
19	01月23日02時14分	N 1° 00.6' E 97° 26.1'		20	5.9		6.2	インドネシア、スマトラ北部	死者 1 人、負傷者 5 人
20	01月30日16時32分	S 7° 19.5' E127° 45.1'		42			6.1	バンダ海	

・震源要素、被害状況等は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による（2008 年 2 月 5 日現在）。

・震源時は日本時間 [ 日本時間 = 協定世界時 + 9 時間 ] である。



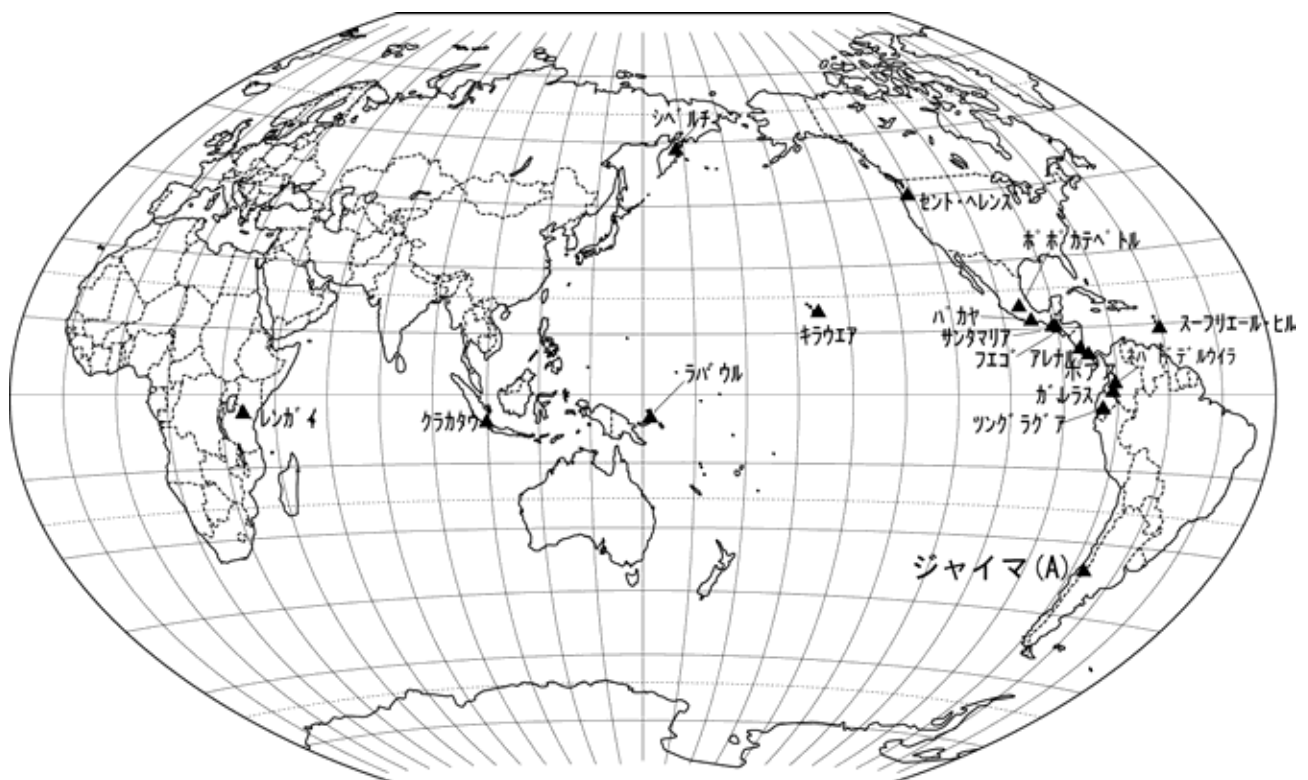
## 世界の主な火山活動

平成 20 年（2008 年）1 月に噴火したと報告された主な火山（日本を除く）は下図のとおりである。このうち、顕著な活動が見られた主な火山は以下のとおりである。

### ジャイマ（チリ）（図中A）

1 日に噴火した。噴煙高度は 12,500m に達し、溶岩が東山腹を流下した。この噴火により観光客ら約 150 人が避難した。その後も噴火は断続的に発生しており、火砕流も時々発生している。

（以上、米国スミソニアン自然史博物館の GVP（Global Volcanism Program）による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。）



## 付表 1 . 震度 1 以上を観測した地震の表

地震の震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は「地震・火山月報（カタログ編）」、震度データは「地震年報」を参照。震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（各年の地震・火山月報（防災編）12 月号の付録 1 参照）を記す。なお、\* のついている地点は、地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「F」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。

震度 3 以上を観測した地震については、震源要素を太字で表示する。

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
1	1 18 46	根室半島南東沖 北海道 1 根室市落石東 * =0.6	43° 20.4' N	146° 21.9' E	51km	M: 3.9
2	1 20 12	宮城県沖 岩手県 1 一関市千厩町 * =0.7 陸前高田市高田町 * =0.7 宮城県 1 気仙沼市唐桑町 * =0.9 南三陸町歌津 * =0.7 登米市中田町 =0.6 南三陸町志津川 =0.6 気仙沼市笹が陣 * =0.6	38° 48.8' N	141° 35.6' E	74km	M: 3.5
3	2 01 20	<b>十勝支庁南部</b> 北海道 3 浦河町潮見 =2.5 2 浦河町築地 * =2.4 幕別町忠類錦町 * =2.4 浦河町野深 =2.1 更別村更別 * =1.9 十勝大樹町東本通 * =1.9 十勝大樹町生花 * =1.9 浦幌町桜町 * =1.6 新ひだか町静内ときわ町 =1.6 様似町栄町 * =1.5 1 新ひだか町三石旭町 * =1.4 広尾町並木通 =1.4 えりも町えりも岬 * =1.3 えりも町目黒 * =1.3 釧路市音別町直別 * =1.3 中札内村東 2 条 * =1.2 新ひだか町静内御幸町 * =1.2 鹿追町東町 * =1.2 本別町向陽町 * =1.0 釧路市阿寒町中央 * =1.0 豊頃町茂岩本町 * =1.0 本別町北 2 丁目 =0.9 芽室町東 2 条 * =0.9 むかわ町穂別 * =0.9 帯広市東 6 条 * =0.8 千歳市支笏湖温泉 * =0.8 函館市新浜町 * =0.8 白糠町西 1 条 * =0.8 新得町 2 条 * =0.7 帯広市東 4 条 =0.7 平取町振内 * =0.7 音更町元町 * =0.7 釧路市音別町尺別 =0.7 十勝清水町南 4 条 =0.7 千歳市若草 * =0.7 函館市泊町 * =0.7 幕別町忠類明和 =0.6 別海町西春別 * =0.6 足寄町南 1 条 * =0.6 安平町追分柏が丘 * =0.6 日高支庁日高町門別 * =0.5 函館市川汲町 * =0.5 胆振伊達市大滝区本町 * =0.5 青森県 1 東通村小田野沢 * =0.7 東通村砂子又 * =0.7	42° 20.7' N	143° 04.0' E	51km	M: 4.2
4	2 15 24	福島県会津 福島県 2 檜枝岐村上河原 * =1.5	37° 03.2' N	139° 20.8' E	8km	M: 2.3
5	2 15 45	千葉県南部 千葉県 1 君津市久留里市場 * =0.5	35° 08.0' N	140° 12.6' E	15km	M: 2.6
6	4 04 29	岩手県沿岸北部 岩手県 1 岩手洋野町大野 * =1.2 遠野市松崎町 * =1.2 川井村川井 * =0.9 葛巻町葛巻元木 =0.8 普代村銅屋 * =0.8 遠野市宮守町 * =0.8 北上市二子町 * =0.7 川井村田代 * =0.7 花巻市大迫総合支所 * =0.7 盛岡市玉山区藪川 * =0.6 八幡平市田頭 * =0.6 田野畑村田野畑 =0.5 一関市室根町 * =0.5	39° 45.4' N	141° 51.2' E	58km	M: 3.6
7	4 18 36	千葉県北西部 茨城県 1 つくば市谷田部 * =0.8 取手市寺田 * =0.6 坂東市岩井 =0.6 筑西市門井 * =0.6 栃木県 1 茂木町小井戸 * =0.9 東京都 1 小平市小川町 * =1.2 東京江戸川区中央 =1.0 東京千代田区大手町 =0.9 東京渋谷区宇田川町 * =0.7 東京新宿区上落合 * =0.7 東京文京区本郷 * =0.6 東京杉並区桃井 * =0.6 東京足立区神明南 * =0.6 東京葛飾区金町 * =0.6 狛江市和泉本町 * =0.5 東京新宿区百人町 * =0.5 東京北区赤羽南 * =0.5 神奈川県 1 川崎川崎区宮前町 * =1.0 横浜神奈川区白幡上町 * =0.9 相模原市上溝 * =0.9 川崎幸区戸手本町 * =0.8 横浜青葉区市が尾町 * =0.8 川崎中原区小杉町 * =0.7 三浦市城山町 * =0.7 清川村煤ヶ谷 * =0.6 川崎宮前区宮前平 * =0.5 川崎川崎区中島 * =0.5 山梨県 1 富士河口湖町船津 =0.6	35° 38.6' N	140° 04.9' E	71km	M: 3.8
8	4 23 21	八丈島東方沖 東京都 1 八丈町三根 =0.5	33° 23.1' N	140° 54.2' E	89km	M: 3.6
9	5 04 34	内浦湾 北海道 1 函館市川汲町 * =0.9	41° 55.3' N	141° 01.1' E	9km	M: 2.4
10	5 14 31	島根県東部 島根県 1 雲南市掛合町掛合 * =0.9 邑南町下口羽 * =0.9 奥出雲町三成 * =0.8 飯南町頓原 * =0.5	35° 02.3' N	132° 46.2' E	10km	M: 2.9
11	6 06 28	京都府南部 京都府 2 亀岡市安町 =2.1 南丹市園部町小桜町 * =1.7 亀岡市余部町 * =1.5 1 京都右京区京北周山町 * =1.4 京都中京区西ノ京 =1.0 南丹市八木町八木 * =0.9 京都上京区数ノ内町 * =0.8 南丹市日吉町保野田 * =0.8 京都左京区花背大布施町 * =0.8 京丹波町蒲生 * =0.7 京都山科区安朱川向町 * =0.7 大阪府 2 能勢町今西 * =1.5 1 能勢町役場 * =1.4 島本町若山台 * =0.7	35° 01.6' N	135° 32.3' E	13km	M: 3.4

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
12	6 09 34	兵庫県 2 三田市下里 *≒1.5 1 篠山市北新町=0.7 篠山市宮田 *≒0.7 篠山市杉 *≒0.6 奈良県 1 奈良市針町 *≒0.5				
		山形県置賜地方 37°49.8' N 140°01.1' E 山形県 2 飯豊町中津川 *≒1.7 1 米沢市林泉寺 *≒1.4 米沢市駅前=0.8 福島県 1 喜多方市熱塩加納町 *≒0.7 会津若松市古川町 *≒0.6 西会津町野沢=0.5 新潟県 1 阿賀町鹿瀬中学校 *≒0.5			7km	M: 4.1
13	6 13 51	北海道東方沖 43°59.7' N 147°24.2' E 北海道 2 根室市落石東 *≒1.7 根室市瑤瑠瑠 *≒1.6 1 別海町本別海 *≒1.2 根室市牧の内 *≒1.2 根室市厚床 *≒1.1 根室市弥栄=1.0 別海町常盤=1.0 浜中町霧多布 *≒1.0 標津町北2条 *≒0.9			103km	M: 4.6
14	6 17 14	北海道東方沖 44°10.6' N 147°34.4' E 北海道 1 根室市落石東 *≒1.1			58km	M: 4.8
15	6 17 58	岩手県沿岸北部 39°45.5' N 141°50.1' E 岩手県 1 川井村川井 *≒0.5 遠野市松崎町 *≒0.5			58km	M: 3.1
16	7 13 48	周防灘 33°54.7' N 131°44.5' E 山口県 1 山口市秋穂東 *≒1.3 防府市西浦 *≒1.3 防府市寿=1.2 下松市大手町 *≒1.1 周南市岐山通り *≒0.8 山口市阿知須 *≒0.8 周南市桜馬場通り *≒0.6			12km	M: 3.5
17	7 22 49	岩手県沖 40°21.3' N 142°05.4' E 岩手県 1 岩手洋野町大野 *≒1.1 九戸村伊保内 *≒0.7			50km	M: 3.5
18	8 03 16	青森県東方沖 40°41.2' N 142°15.0' E 青森県 1 八戸市湊町=1.2 階上町道仏 *≒1.2 八戸市内丸 *≒0.9 岩手県 1 岩手洋野町大野 *≒1.0			46km	M: 3.6
19	8 20 09	長野県中部 36°26.4' N 137°57.9' E 長野県 2 大町市役所=2.2 長野池田町池田 *≒1.9 信州新町新町 *≒1.9 麻績村麻 *≒1.9 筑北村西条 *≒1.9 生坂村役場 *≒1.8 大町市大町図書館 *≒1.8 筑北村坂北 *≒1.7 千曲市杭瀬下 *≒1.5 1 小川村高府 *≒1.4 松本市会田 *≒1.1 佐久市下小田切=1.1 青木村田沢青木 *≒1.0 中条村中条 *≒0.9 安曇野市明科 *≒0.9 安曇野市穂高総合支所=0.8 千曲市上山田温泉 *≒0.8 上田市上武石 *≒0.6 小海町豊里 *≒0.5 松本市丸の内 *≒0.5 群馬県 1 六合村小雨 *≒0.7			12km	M: 3.5
20	9 04 19	茨城県北部 36°27.4' N 140°35.7' E 茨城県 2 常陸大宮市北町 *≒1.7 桜川市羽田 *≒1.7 桜川市岩瀬 *≒1.5 大子町池田 *≒1.5 常陸大宮市野口 *≒1.5 1 水戸市金町=1.4 日立市役所 *≒1.4 常陸太田市高柿町 *≒1.4 石岡市柿岡=1.4 笠間市石井 *≒1.3 城里町石塚 *≒1.3 土浦市下高津 *≒1.3 つくば市谷田部 *≒1.3 鉾田市当間 *≒1.3 城里町阿波山 *≒1.2 筑西市海老ヶ島 *≒1.2 筑西市門井 *≒1.2 ひたちなか市東石川 *≒1.2 常陸大宮市山方 *≒1.1 常陸大宮市上小瀬 *≒1.1 石岡市八郷 *≒1.1 取手市寺田 *≒1.1 那珂市瓜連 *≒1.1 坂東市馬立 *≒1.1 日立市十王町友部 *≒1.1 日立市助川小学校 *≒1.1 桜川市真壁 *≒1.1 小美玉市小川 *≒1.1 水戸市千波町 *≒1.0 土浦市大岩田=1.0 小美玉市堅倉 *≒0.9 水戸市内原町 *≒0.9 つくば市天王台 *≒0.9 かすみがうら市上土田 *≒0.8 水戸市中央 *≒0.8 笠間市下郷 *≒0.8 常陸大宮市中富町=0.7 八千代町菅谷 *≒0.7 ひたちなか市南神敷台 *≒0.7 坂東市役所 *≒0.7 小美玉市上玉里 *≒0.7 常陸太田市町屋町=0.6 坂東市山 *≒0.6 東海村東海 *≒0.6 笠間市中央 *≒0.5 稲敷市江戸崎甲 *≒0.5 下妻市本城町 *≒0.5 栃木県 2 茂木町小井戸 *≒1.6 市貝町市塙 *≒1.5 1 栃木二宮町石島 *≒1.1 益子町益子=1.1 真岡市田町 *≒1.0 茂木町茂木 *≒1.0 大田原市湯津上 *≒0.9 那須烏山市中央=0.8 栃木那珂川町馬頭 *≒0.7 真岡市荒町 *≒0.6 宇都宮市明保野町=0.6 宇都宮市中里町 *≒0.6 日光市鬼怒川温泉大原 *≒0.5 福島県 1 矢祭町東館館本 *≒1.3 玉川村小高 *≒1.2 棚倉町棚倉中居野=0.8 浅川町浅川 *≒0.8 白河市新白河 *≒0.6			55km	M: 3.8
21	9 06 24	茨城県沖 36°43.8' N 141°12.4' E 福島県 1 白河市新白河 *≒1.2 棚倉町棚倉中居野=1.0 田村市都路町 *≒0.9 浅川町浅川 *≒0.9 二本松市油井 *≒0.7 川内村下川内=0.5 天栄村下松本 *≒0.5 栃木県 1 茂木町小井戸 *≒1.1			46km	M: 3.9
22	9 20 04	茨城県沖 36°10.1' N 140°45.4' E 茨城県 1 水戸市金町=1.2 ひたちなか市南神敷台 *≒1.1 鉾田市当間 *≒1.1			43km	M: 3.3
23	10 05 46	宮城県沖 38°28.8' N 142°08.8' E 岩手県 1 北上市二子町 *≒0.9 大船渡市大船渡町=0.8 一関市千厩町 *≒0.8 陸前高田市高田町 *≒0.8 宮城県 1 南三陸町歌津 *≒1.0 気仙沼市唐桑町 *≒0.7 石巻市桃生町 *≒0.7 気仙沼市笹が陣 *≒0.6 栗原市築館 *≒0.5			39km	M: 4.1

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
24	10 20 32	茨城県南部 茨城県 栃木県	36° 04.2' N	139° 54.8' E	46km	M: 3.1 小美玉市上玉里*=0.8 坂東市馬立*=0.8 つくば市谷田部*=0.7 小美玉市小川*=0.7 土浦市下高津*=0.6 石岡市柿岡=0.6 稲敷市江戸崎甲*=0.6 坂東市役所*=0.5 栃木市旭町=0.5
25	11 04 52	新潟県上中越沖 新潟県	37° 33.7' N	138° 38.5' E	14km	M: 2.3 出雲崎町米田=0.5
26	11 08 00	岩手県沖 岩手県 青森県 宮城県 秋田県	39° 20.4' N	142° 04.0' E	47km	M: 4.7 釜石市中妻町*=3.3 北上市二子町*=3.1 大槌町新町*=3.0 釜石市只越町=3.0 山田町大沢*=2.9 陸前高田市高田町*=2.8 大船渡市大船渡町=2.7 山田町八幡町=2.5 2 遠野市松崎町*=2.3 宮古市田老*=2.2 川井村川井*=2.2 盛岡市玉山区藪川*=2.2 盛岡市玉山区洪民*=2.2 宮古市鎌ヶ崎=2.2 奥州市胆沢区*=2.2 遠野市宮守町*=2.1 一関市千蔵町*=2.1 盛岡市山王町=2.1 奥州市衣川区*=2.1 住田町世田米*=2.1 岩手洋野町大野*=2.0 平泉町平泉*=2.0 藤沢町藤沢*=2.0 花巻市東和町*=2.0 宮古市五月町*=1.9 一関市舞川=1.9 八幡平市田頭*=1.9 大船渡市猪川町=1.9 大船渡市盛町*=1.9 滝沢村鶴飼*=1.8 矢巾町南矢幅*=1.8 花巻市大迫町=1.8 宮古市茂市*=1.7 葛巻町葛巻元木=1.7 奥州市江刺区*=1.7 奥州市前沢区*=1.7 八幡平市野駄*=1.7 北上市柳原町=1.7 金ヶ崎町西根*=1.7 一関市花泉町*=1.6 普代村銅屋*=1.6 川井村田代*=1.5 一戸町高善寺*=1.5 野田村野田*=1.5 二戸市福岡=1.5 花巻市石鳥谷町*=1.5 花巻市材木町*=1.5 二戸市浄法寺町*=1.5 岩手町五日市*=1.5 1 盛岡市馬場町*=1.4 紫波町日詰*=1.4 奥州市水沢区佐倉河*=1.4 八幡平市大更=1.3 花巻市大迫総合支所*=1.3 一関市大東町=1.3 奥州市水沢区大鐘町=1.3 宮古市長沢=1.3 葛巻町消防分署*=1.3 二戸市石切所*=1.2 軽米町軽米*=1.2 一関市川崎町*=1.2 岩泉町岩泉*=1.1 八幡平市吹田*=1.1 一関市山目*=1.1 西和賀町沢内川舟*=1.0 葛巻町役場*=1.0 久慈市川崎町=0.9 田野畑村田野畑=0.9 一関市東山町*=0.9 田野畑村役場*=0.9 西和賀町川尻*=0.8 岩手洋野町種市=0.8 西和賀町沢内太田*=0.7 久慈市長内町*=0.7 雫石町干刈田=0.6 青森県 2 階上町道仏*=1.6 八戸市内丸*=1.5 青森南部町平*=1.5 八戸市湊町=1.5 1 八戸市南郷区*=1.4 青森南部町苦米地*=1.3 おいらせ町中下田*=1.3 五戸町古館=1.3 東通村小田野沢*=1.2 八戸市島守=1.0 東北町上北南*=0.9 七戸町森ノ上*=0.9 田子町田子*=0.9 六戸町犬落瀬*=0.7 おいらせ町上明堂*=0.7 東通村砂子又*=0.6 野辺地町野辺地*=0.6 三沢市桜町*=0.6 青森南部町沖田面*=0.5 五戸町倉石中市*=0.5 七戸町七戸*=0.5 宮城県 2 栗原市金成*=2.2 気仙沼市赤岩=2.1 気仙沼市唐桑町*=2.1 気仙沼市笹が陣*=1.9 南三陸町歌津*=1.9 石巻市桃生町*=1.9 涌谷町新町=1.8 栗原市志波姫*=1.8 栗原市栗駒=1.7 栗原市若柳*=1.7 栗原市一迫*=1.7 登米市迫町*=1.5 南三陸町志津川=1.5 1 登米市中田町=1.4 登米市米山町*=1.4 登米市南方町*=1.4 栗原市築館*=1.3 栗原市瀬峰*=1.3 宮城美里町木間塚*=1.3 大崎市田尻*=1.3 石巻市門脇*=1.3 登米市豊里町*=1.2 登米市東和町*=1.1 色麻町四竈*=1.1 登米市登米町*=1.1 栗原市高清水*=1.1 大崎市古川三日町=1.1 大崎市古川北町*=1.1 大崎市鹿島台*=1.1 栗原市鶯沢*=1.1 石巻市前谷地*=1.1 栗原市花山*=1.0 大崎市松山*=1.0 宮城加美町中新田*=0.9 石巻市泉町=0.9 塩竈市旭町*=0.9 東松島市矢本*=0.9 宮城美里町北浦*=0.9 石巻市相野谷*=0.8 本吉町津谷*=0.8 岩沼市桜*=0.8 大衡村大衡*=0.8 石巻市北上町*=0.8 宮城加美町小野田*=0.6 名取市増田*=0.6 角田市角田*=0.6 東松島市小野*=0.6 大河原町新南*=0.5 利府町利府*=0.5 秋田県 1 大仙市高梨*=1.1 大仙市刈和野*=1.0 秋田市河辺和田*=0.7 横手市大雄*=0.7 秋田美郷町六郷東根=0.7 大仙市北長野*=0.7 大仙市協和境野田*=0.7 仙北市角館町小勝田*=0.5
27	11 15 47	日向灘 熊本県 宮崎県 鹿児島県	31° 40.7' N	131° 56.0' E	48km	M: 4.0 人吉市城本町=0.6 1 日南市油津=1.4 椎葉村下福良*=1.2 南郷町南町*=1.1 宮崎市田野町体育館*=0.9 椎葉村総合運動公園*=0.9 西都市上の宮*=0.9 国富町本庄*=0.9 宮崎市霧島=0.9 高鍋町上江*=0.8 高千穂町三田井=0.8 日南市吾田東*=0.7 鹿児島県 1 大崎町仮宿*=1.0 鹿児島市喜入町*=0.8 錦江町田代支所*=0.7
28	11 18 58	能登半島沖 石川県	37° 08.1' N	136° 34.2' E	9km	M: 2.5 志賀町香能*=0.7
29	12 12 36	根室半島南東沖 北海道	43° 06.9' N	146° 09.9' E	42km	M: 4.7 2 根室市落石東*=2.3 根室市培瑠瑠*=1.9 1 根室市牧の内*=1.3 根室市厚床*=1.2 別海町西春別*=1.1 別海町常盤=1.0 標津町北2条*=1.0 別海町本別海*=0.9 中標津町養老牛=0.8 釧路市幸町=0.8 根室市豊里=0.8 羅臼町岬町*=0.8 標茶町塘路*=0.8 浜中町霧多布*=0.7 厚岸町尾幌=0.7 根室市弥栄=0.7 白糠町西1条*=0.6 厚岸町真栄町*=0.5
30	13 01 18	長崎県南西部 長崎県	32° 41.5' N	129° 54.6' E	13km	M: 2.0 長崎市元町*=1.0
31	13 02 10	熊本県天草・芦北地方 熊本県 鹿児島県	32° 15.6' N	130° 31.1' E	8km	M: 3.3 2 球磨村渡*=1.7 芦北町芦北=1.7 1 人吉市城本町=1.2 八代市坂本町*=1.1 水俣市陣内*=1.0 水俣市牧ノ内*=0.9 津奈木町小津奈木*=0.8 人吉市蟹作町*=0.5 鹿児島県 1 鹿児島出水市緑町*=0.6 大口市山野=0.5

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
32	13 02 11	<b>渡島支庁北部</b> 北海道 4 長万部町平里 * = 4.0 2 八雲町熊石雲石町 * = 2.1 黒松内町黒松内 * = 2.1 今金町今金 * = 2.0 せたな町北檜山区徳島 * = 1.6 1 八雲町住初町 * = 1.3 渡島森町上台町 * = 1.1 真狩村真狩 * = 1.0 島牧村江ノ島 = 1.0 せたな町瀬棚区本町 * = 0.9 函館市泊町 * = 0.8 せたな町瀬棚区北島歌 * = 0.8 岩内町清住 = 0.8 渡島森町御幸町 = 0.7 八雲町上の湯 = 0.7 寿都町新栄 = 0.7 二セコ町中央通 * = 0.7 奥尻町青苗 * = 0.7 豊浦町大岸 * = 0.7 七飯町本町 * = 0.6 喜茂別町喜茂別 * = 0.6 胆振伊達市大滝区本町 * = 0.6 寿都町渡島 * = 0.6 洞爺湖町洞爺町 * = 0.6 函館市川汲町 * = 0.5	42° 26.1' N	140° 15.4' E	11km	M: 4.1
33	13 11 04	<b>和歌山県北部</b> 和歌山県 1 日高川町土生 * = 0.6 由良町里 * = 0.5	33° 54.1' N	135° 12.3' E	8km	M: 2.7
34	14 01 09	<b>和歌山県北部</b> 和歌山県 1 海南市日方 * = 0.6	34° 08.7' N	135° 14.1' E	5km	M: 1.9
35	14 06 07	<b>宮城県沖</b> 宮城県 2 気仙沼市笹か陣 * = 2.1 南三陸町歌津 * = 2.0 1 気仙沼市唐桑町 * = 1.3 南三陸町志津川 = 1.2 登米市東和町 * = 1.0 気仙沼市赤岩 = 1.0 大崎市田尻 * = 1.0 石巻市桃生町 * = 1.0 石巻市北上町 * = 0.8 栗原市栗駒 = 0.7 登米市中田町 = 0.7 石巻市泉町 = 0.6 石巻市門脇 * = 0.6 栗原市金成 * = 0.6 栗原市瀬峰 * = 0.5 登米市豊里町 * = 0.5 栗原市高清水 * = 0.5 <b>岩手県</b> 1 一関市千厩町 * = 1.2 藤沢町藤沢 * = 1.1 陸前高田市高田町 * = 0.9 一関市舞川 = 0.7 大船渡市大船渡町 = 0.7 北上市二子町 * = 0.6 大船渡市猪川町 = 0.5	38° 53.4' N	142° 06.6' E	45km	M: 3.7
36	14 12 41	<b>豊後水道</b> 愛媛県 大分県 1 愛南町船越 * = 0.5 1 佐伯市中村南 = 0.8	33° 06.0' N	132° 12.7' E	44km	M: 2.9
37	14 13 21	<b>宮崎県南部山沿い</b> 宮崎県 2 小林市真方 = 1.7 1 小林市役所 * = 0.9 高原町西麓 * = 0.8 野尻町東麓 * = 0.7 都城市高城町穂満坊 * = 0.6	31° 54.7' N	131° 02.9' E	10km	M: 2.8
38	15 02 21	<b>浦河沖</b> 北海道 1 浦河町潮見 = 0.6 新ひだか町三石旭町 * = 0.5 新ひだか町静内山手町 = 0.5 浦河町野深 = 0.5	42° 09.3' N	142° 46.4' E	48km	M: 3.8
39	15 14 09	<b>能登半島沖</b> 石川県 1 輪島市門前町走出 = 1.1 輪島市鳳至町 = 0.6	37° 15.3' N	136° 41.8' E	6km	M: 3.2
40	15 23 55	<b>長野県南部</b> 岐阜県 1 高山市高根町 * = 0.8	35° 56.8' N	137° 31.5' E	8km	M: 2.2
41	16 02 55	<b>茨城県沖</b> 福島県 2 平田村永田 * = 1.5 1 白河市新白河 * = 1.4 川俣町五百田 * = 1.4 檜葉町北田 * = 1.4 浪江町幾世橋 = 1.4 葛尾村落合閣下 * = 1.4 大熊町下野上 * = 1.3 双葉町新山 * = 1.3 棚倉町棚倉中居野 = 1.3 白河市表郷 * = 1.3 南相馬市小高区 * = 1.3 福島市五老内町 * = 1.2 郡山市開成 * = 1.2 本宮市糠沢 * = 1.2 相馬市中村 * = 1.2 福島広野町下北迫大谷地原 * = 1.2 大熊町野上 * = 1.1 玉川村小高 * = 1.1 南相馬市鹿島区 * = 1.1 田村市都路町 * = 1.1 郡山市湖南町 * = 1.0 石川町下泉 * = 1.0 富岡町本岡 * = 1.0 須賀川市岩瀬支所 * = 1.0 田村市滝根町 * = 1.0 二本松市針道 * = 1.0 いわき市小名浜 = 1.0 天栄村下松本 * = 1.0 田村市船引町 = 0.9 白河市郭内 = 0.9 福島市松木町 = 0.9 福島市桜木町 * = 0.9 須賀川市八幡山 * = 0.8 鏡石町不時沼 * = 0.8 郡山市朝日 = 0.8 本宮市本宮 * = 0.8 西郷村熊倉 * = 0.8 葛尾村落合落合 * = 0.8 飯館村伊丹沢 * = 0.8 二本松市郭内 * = 0.8 いわき市平四ツ波 * = 0.8 会津若松市古川町 * = 0.8 いわき市錦町 * = 0.8 二本松市油井 * = 0.8 白河市東 * = 0.8 福島広野町下北迫苗代替 * = 0.8 浅川町浅川 * = 0.8 古殿町松川 * = 0.8 川内村上川内小山平 * = 0.8 田村市大越町 * = 0.7 泉崎村泉崎 * = 0.7 二本松市金色 * = 0.7 南相馬市原町区三島町 = 0.6 南相馬市原町区高見町 * = 0.6 田村市常葉町 * = 0.6 矢祭町東館本 * = 0.6 いわき市三和町 = 0.6 大玉村曲藤 = 0.5 大玉村玉井 * = 0.5 小野町小野新町 * = 0.5 川内村下川内 = 0.5 <b>茨城県</b> 2 鉾田市汲上 * = 2.3 鉾田市当間 * = 1.9 茨城鹿嶋市鉢形 = 1.7 日立市助川小学校 * = 1.7 水戸市金町 = 1.5 茨城鹿嶋市宮中 * = 1.5 ひたちなか市南神敷台 * = 1.5 常陸大宮市野口 * = 1.5 1 水戸市中央 * = 1.4 高萩市安良川 * = 1.4 水戸市千波町 * = 1.3 日立市役所 * = 1.3 茨城町小堤 * = 1.3 小美玉市上玉里 * = 1.3 土浦市下高津 * = 1.2 潮来市辻 * = 1.2 神栖市溝口 * = 1.2 水戸市内原町 * = 1.2 常陸太田市高柿町 * = 1.2 笠間市中央 * = 1.2 日立市十王町友部 * = 1.1 常陸太田市金井町 * = 1.1 取手市寺田 * = 1.1 つくば市谷田部 * = 1.1 坂東市山 * = 1.1 行方市麻生 * = 1.1 鉾田市鉾田 = 1.1 高萩市本町 * = 1.1 笠間市石井 * = 1.1 笠間市下郷 * = 1.1 ひたちなか市東石川 * = 1.1 大子町池田 * = 1.1 那珂市福田 * = 1.1 かすみがうら市上土田 * = 1.0 東海村東海 * = 1.0 行方市山田 * = 1.0 鉾田市造谷 * = 1.0 常陸大宮市北町 * = 1.0 常陸大宮市山方 * = 1.0 常陸大宮市上小瀬 * = 1.0 城里町石塚 * = 1.0 小美玉市小川 * = 1.0 小美玉市堅倉 * = 1.0 土浦市大岩田 = 1.0 桜川市真壁 * = 0.9 土浦市藤沢 * = 0.9 石岡市柿岡 = 0.9 石岡市八郷 * = 0.9 つくば市天王台 * = 0.9 つくば市小笠 * = 0.9 那珂市瓜連 * = 0.9 常陸太田市町屋町 = 0.9 稲敷市江戸崎甲 * = 0.9 筑西市舟生 = 0.9 城里町阿波山 * = 0.9 桜川市羽田 * = 0.8 北茨城市磯原町 * = 0.8 美浦村受領 * = 0.8 阿見町中央 * = 0.8 筑西市門井 * = 0.8 下妻市本城町 * = 0.7 桜川市岩瀬 * = 0.7 <b>栃木県</b> 2 茂木町小井戸 * = 1.8 1 栃木二宮町石島 * = 1.4 益子町益子 = 1.4 市貝町市塙 * = 1.2 宇都宮市中里町 * = 1.1 大田原市湯津上 * = 1.0 那須町寺子 * = 1.0 小山市神鳥谷 * = 0.9 真岡市田町 * = 0.9 那須烏山市中央 = 0.8	36° 25.4' N	141° 10.8' E	47km	M: 4.7

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		宮城県 1 栃木那珂川町馬頭*0.7 宇都宮市明保野町=0.7 茂木町茂木*0.7 日光市鬼怒川温泉大原*0.5 岩沼市桜*1.0 大河原町新南*0.9 丸森町鳥屋*0.9 角田市角田*0.9 蔵王町円田*0.7 石巻市桃生町*0.7 宮城川崎町前川*0.7 村田町村田*0.5 登米市迫町*0.5 名取市増田*0.5 山元町浅生原*0.5 栗原市金成*0.5				
		埼玉県 1 久喜市下早見=0.6				
		千葉県 1 香取市佐原下川岸=1.4 旭市南堀之内*1.3 香取市役所*1.3 成田市花崎町=1.3 香取市仁良*1.2 旭市萩園*1.0 多古町多古=0.9 香取市佐原諏訪台*0.9 銚子市川口町=0.7 旭市二*0.7 成田市中台*0.7 芝山町小池*0.6 東金市日吉台*0.6 成田市松子*0.6 銚子市若宮町*0.5 東金市東新宿=0.5				
42	16 09 07	種子島近海 鹿兒島県 1 屋久島町宮之浦*0.7	30°33.2' N	130°28.3' E	71km	M: 3.3
43	16 14 51	奈良県 奈良県 2 五條市大塔町簾*1.5 十津川村平谷*1.5 1 御杖村菅野*1.4 天川村沢谷*1.4 十津川村小原*1.4 下北山村寺垣内*1.3 普爾村今井*1.2 黒滝村寺戸*1.0 奈良市針町*0.8 宇陀市菟田野区松井*0.7 宇陀市榛原区下井足*0.6 吉野町上市*0.5 五條市二見*0.5	34°09.5' N	135°57.6' E	55km	M: 3.7
		三重県 1 多気町相可*1.4 津市安濃町東観音寺*1.2 熊野市紀和町板屋*1.1 尾鷲市南浦*1.1 亀山市西丸町*0.9 松阪市魚町*0.9 名張市鴻之台*0.9 熊野市有馬町*0.8 松阪市殿町*0.8 津市美杉町八知*0.8 津市芸濃町棕本*0.7 松阪市高町=0.7 伊賀市島ヶ原*0.7 尾鷲市中央町*0.5 紀宝町鷲殿*0.5				
		京都府 和歌山県 1 南山城北大河原*0.8 井手町井手*0.7 城陽市寺田*0.5 1 田辺市本宮町本宮*1.4 新宮市新宮=1.3 新宮市熊野川町日足*1.0 高野町高野山中学校=0.9 北山村大沼*0.9 湯浅町湯浅*0.7				
44	16 23 02	新潟県中越地方 新潟県 1 十日町市松之山*1.2 十日町市上山*0.6 十日町市松代*0.5	37°03.5' N	138°41.4' E	10km	M: 2.0
45	17 19 36	静岡県西部	34°54.1' N	137°58.1' E	17km	M: 3.0
(注)	17 19 36	静岡県西部 静岡県 1 掛川市長谷*0.9 静岡菊川市堀之内*0.8 浜松天竜区春野町*0.6	34°53.9' N	137°58.6' E	17km	M: 2.9
46	17 19 53	浦河沖 北海道 青森県 1 函館市泊町*0.6 1 東通村砂子又*1.0 東通村小田野沢*0.8	41°38.1' N	142°20.9' E	66km	M: 3.6
47	18 17 18	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 高山市高根町*0.8 高山市久々野町*0.7	36°00.3' N	137°17.8' E	11km	M: 2.2
48	18 18 17	青森県東方沖 青森県 1 東通村小田野沢*0.8	40°52.7' N	143°11.3' E	22km	M: 4.3
49	18 20 34	硫黄島近海 東京都 1 小笠原村父島三日月山=1.2 小笠原村父島西町=1.1 小笠原村母島=1.1	25°19.0' N	140°35.8' E	109km	M: 5.7
50	19 18 53	福島県沖 福島県 3 田村市都路町*2.7 福島広野町下北迫大谷地原*2.7 川内村下川内=2.7 葛尾村落合閣下*2.7 檜葉町北田*2.6 2 浅川町浅川*2.4 葛尾村落合落合*2.4 石川町下泉*2.3 田村市滝根町*2.2 南相馬市小高区*2.2 白河市新白河*2.1 田村市常葉町*2.1 いわき市平四ツ波*2.1 小野町小野新町*2.1 田村市船引町=2.1 平田村永田*2.0 浪江町幾世橋=2.0 川内村上川内小山平*1.9 小野町中通*1.9 白河市表郷*1.9 いわき市三和町=1.9 古殿町松川*1.9 福島広野町下北迫苗代替*1.8 二本松市針道*1.8 玉川村小高*1.8 いわき市平梅本*1.7 大熊町下野上*1.7 飯館村伊丹沢*1.6 川俣町五百田*1.6 富岡町本岡*1.6 大熊町野上*1.5 棚倉町棚倉中居野=1.5 いわき市錦町*1.5 田村市大越町*1.5 1 白河市東*1.4 相馬市中村*1.4 南相馬市原町区高見町*1.4 本宮市糠沢*1.3 いわき市小名浜=1.3 須賀川市八幡町*1.2 天栄村下松本*1.2 鮫川村赤坂中野*1.2 三春町大町*1.1 須賀川市岩瀬支所*1.1 郡山市開成*1.1 西郷村熊倉*1.1 白河市郭内=1.1 須賀川市八幡山*1.0 二本松市郭内*1.0 矢祭町東館本*1.0 飯野町飯野*1.0 鏡石町不時沼*1.0 南相馬市原町区三島町=0.9 郡山市朝日=0.9 南相馬市鹿島区*0.9 二本松市金色*0.9 本宮市本宮*0.8 福島伊達市月館町*0.8 双葉町新山*0.8 新地町谷地小屋*0.8 矢祭町東館下上野内*0.7 白河市大信*0.7 二本松市油井*0.7 郡山市湖南町*0.6 福島伊達市梁川町*0.6 大玉村玉井*0.6	37°06.6' N	141°06.1' E	53km	M: 4.0
		茨城県 2 北茨城市磯原町*2.0 高萩市安良川*1.6 1 日立市助川小学校*1.4 日立市役所*1.2 日立市十王町友部*1.2 高萩市本町*1.2 常陸太田市町屋町=1.1 大子町池田*1.0 常陸大宮市山方*1.0 鉾田市当間*1.0 常陸大宮市北町*0.8 常陸大宮市野口*0.8 常陸大宮市上小瀬*0.8 常陸太田市高柿町*0.7 ひたちなか市南神敷台*0.7 水戸市千波町*0.6 土浦市下高津*0.5 ひたちなか市東石川*0.5 水戸市金町=0.5 城里町阿波山*0.5				
		宮城県 栃木県 1 岩沼市桜*0.8 丸森町上滝=0.8 山元町浅生原*0.6 名取市増田*0.6 角田市角田*0.6 1 茂木町小井戸*1.4 宇都宮市明保野町=0.6				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
51	20 03 52	根室半島南東沖 北海道 2 根室市落石東*≒1.9 1 根室市瑤瑤瑠*≒1.1 根室市牧の内*≒0.9 根室市豊里=0.6	43°10.1' N	145°56.1' E	45km	M: 3.9
52	20 11 19	静岡県西部 静岡県 2 掛川市長谷*≒1.8 浜松天竜区春野町*≒1.7 川根町家山=1.5 1 静岡森町森*≒1.2 静岡駿河区曲金=1.2 静岡菊川市堀之内*≒1.1 静岡葵区駒形通*≒1.1 牧之原市鬼女新田=1.0 牧之原市相良*≒1.0 静岡葵区追手町市役所*≒0.9 川根本町上長尾*≒0.9 掛川市西大淵*≒0.9 静岡駿河区有明町*≒0.8 磐田市下野部*≒0.7 焼津市東小川*≒0.7 掛川市三保*≒0.7 藤枝市岡出山*≒0.7 静岡菊川市赤土*≒0.7 岡部町岡部*≒0.6 牧之原市静波*≒0.6 浜松北区三ヶ日町=0.6 静岡葵区峰山=0.6 浜松浜北区西美園*≒0.5 川根本町東藤川*≒0.5 新居町浜名*≒0.5 大井川町宗高*≒0.5 島田市金谷河原*≒0.5 島田市中央町=0.5 浜松北区引佐町*≒0.5 岐阜県 1 恵那市上矢作町*≒0.7 愛知県 1 新城市東入船*≒1.3 新城市作手高里*≒1.1 豊田市小原町*≒1.1 新城市乗本=1.0 豊田市長興寺*≒0.8 田原市赤羽根町*≒0.6 新城市長篠*≒0.5 御津町西方*≒0.5 豊田市大沼町*≒0.5	34°54.2' N	137°54.2' E	29km	M: 4.0
53	20 13 36	山口県西部 山口県 1 宇部市船木*≒0.9 宇部市東須恵*≒0.8 山陽小野田市日の出*≒0.8 山陽小野田市鴨庄*≒0.8	33°59.5' N	131°10.8' E	9km	M: 2.8
54	20 16 26	和歌山県北部 和歌山県 2 かつらぎ町丁ノ町*≒1.8 紀の川市桃山町元*≒1.8 紀の川市那賀支所*≒1.7 紀の川市粉河=1.6 1 紀の川市那賀総合センター*≒1.3 紀の川市西大井*≒1.1 橋本市東家*≒1.0 紀の川市貴志川町神戸*≒0.9 高野町高野山中学校=0.8 岩出市西野*≒0.8 橋本市高野口町名倉*≒0.7 紀美野町下佐々*≒0.5 奈良県 1 五條市大塔町簾*≒0.8 五條市二見*≒0.5	34°11.6' N	135°25.4' E	6km	M: 3.2
55	21 07 52	和歌山県北部 和歌山県 1 紀の川市桃山町元*≒0.6 紀の川市貴志川町神戸*≒0.5	34°09.8' N	135°28.3' E	7km	M: 2.5
56	21 12 12	青森県東方沖 青森県 2 八戸市湊町=2.4 階上町道仏*≒1.8 八戸市内丸*≒1.7 東通村小田野沢*≒1.5 東北町上北南*≒1.5 1 野辺地町田狭沢*≒1.3 六ヶ所村尾駈=1.3 青森南部町平*≒1.3 八戸市南郷区*≒1.2 東通村砂子又*≒1.2 三沢市桜町*≒1.1 青森南部町苔米地*≒1.0 野辺地町野辺地*≒1.0 おいらせ町中下田*≒0.9 むつ市金曲=0.9 五戸町古館=0.9 東北町塔ノ沢山*≒0.9 七戸町森ノ上*≒0.9 おいらせ町上明堂*≒0.8 横浜町林ノ脇*≒0.8 八戸市島守=0.8 むつ市金谷*≒0.7 東通村尻屋*≒0.6 七戸町七戸*≒0.5 五戸町倉中市*≒0.5 岩手県 2 岩手洋野町大野*≒1.9 1 岩手洋野町種市=1.0 軽米町軽米*≒1.0 盛岡市玉山区薮川*≒0.7 二戸市石切所*≒0.6 二戸市浄法寺町*≒0.6 二戸市福岡=0.5 北海道 1 函館市泊町*≒1.1	41°11.3' N	142°03.4' E	58km	M: 4.3
57	22 03 37	能登半島沖 石川県 1 輪島市門前町走出=0.6	37°17.6' N	136°44.1' E	9km	M: 2.4
58	22 16 20	石川県能登地方 石川県 3 輪島市門前町走出=2.6 2 輪島市鳳至町=2.3 穴水町大町*≒2.3 1 輪島市河井町*≒1.2 七尾市能登島向田町*≒1.1 七尾市中島町中島*≒1.1 志賀町富来領家町=0.9 七尾市本府中町=0.7 七尾市田鶴浜町=0.7 七尾市袖ヶ江町*≒0.5 能登町宇出津=0.5 富山県 1 富山市新桜町*≒0.5	37°19.2' N	136°46.1' E	12km	M: 4.0
59	22 16 22	石川県能登地方 石川県 2 輪島市門前町走出=1.9 1 輪島市鳳至町=1.3 志賀町富来領家町=0.7	37°19.0' N	136°46.7' E	11km	M: 3.6
60	23 02 17	千葉県東方沖 千葉県 1 銚子市川口町=0.8 銚子市若宮町*≒0.6	35°42.6' N	141°06.9' E	32km	M: 3.6
61	23 04 34	日高支庁東部 北海道 2 新冠町北星町*≒2.3 幕別町忠類錦町*≒2.3 浦河町潮見=2.2 広尾町西4条*≒2.2 安平町追分柏が丘*≒2.1 浦河町野深=2.0 新ひだか町静内山手町=2.0 更別村更別*≒2.0 十勝大樹町東本通*≒2.0 千歳市支笏湖温泉*≒2.0 浦河町築地*≒1.9 芽室町東2条*≒1.9 函館市新浜町*≒1.9 安平町早来北進*≒1.9 千歳市若草*≒1.9 むかわ町穂別*≒1.9 新ひだか町静内御幸町*≒1.8 平取町振内*≒1.8 むかわ町松風*≒1.8 長沼町中央*≒1.8 十勝大樹町生花*≒1.8 鹿追町東町*≒1.8 千歳市北栄=1.7 浦幌町桜町*≒1.7 厚真町京町*≒1.7 岩見沢市栗沢町東本町*≒1.7 日高支庁日高町門別*≒1.7 新ひだか町三石旭町*≒1.7 札幌北区太平*≒1.6 胆振伊達市大滝区本町*≒1.6 室蘭市寿町*≒1.6 登別市桜木町*≒1.6 新得町2条*≒1.6 帯広市東6条*≒1.6 釧路市音別町直別*≒1.6 千歳市新千歳空港=1.6 中札内村東2条*≒1.5 南幌町栄町*≒1.5 江別市緑町*≒1.5 十勝清水町南4条=1.5 広尾町並木通=1.5 小樽市勝納町=1.5 様似町栄町*≒1.5 本別町北2丁目=1.5 函館市泊町*≒1.5 1 恵庭市京町*≒1.4 函館市川汲町*≒1.4 苫小牧市旭町*≒1.4 帯広市東4条=1.4 十勝池田町西1条*≒1.4 本別町向陽町*≒1.4 栗山町松風*≒1.3 苫小牧市末広町=1.3	42°19.3' N	143°03.6' E	50km	M: 4.9

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		北広島市共栄 * =1.3 白老町大町=1.3 江別市高砂町=1.3 美唄市西 5 条=1.3 三笠市幸町 * =1.3 余市町浜中町 * =1.2 音更町元町 * =1.2 えりも町えりも岬 * =1.2 足寄町南 1 条 * =1.2 釧路市阿寒町中央 * =1.2 白糠町西 1 条 * =1.2 えりも町目黒 * =1.1 平取町本町 * =1.1 豊頃町茂岩本町 * =1.1 渡島森町砂原 * =1.0 小樽市花園町 * =1.0 月形町円山公園 * =1.0 釧路市音別町尺別=1.0 日高支庁日高町日高 * =1.0 中富良野町市街地 * =1.0 別海町西春別 * =1.0 石狩市花畔 * =0.9 岩見沢市 5 条=0.9 南富良野町役場 * =0.9 占冠村中央 * =0.9 幕別町忠類明和=0.9 胆振伊達市梅本=0.9 岩見沢市鳩が丘 * =0.9 当別町白樺 * =0.9 美唄市西 3 条 * =0.9 白老町緑丘 * =0.9 札幌中央区北 2 条=0.9 由仁町新光 * =0.9 余市町朝日町=0.9 幕別町本町 * =0.8 新心だか町静内農屋 * =0.8 奈井江町奈井江 * =0.8 浦臼町ウラスナイ * =0.8 上士幌町上士幌 * =0.8 函館市尾札部町=0.8 恵庭市漁平=0.8 平取町仁世宇=0.8 士幌町士幌 * =0.8 滝川市新町 * =0.8 渡島森町御幸町=0.7 弟子屈町弟子屈 * =0.7 赤井川村赤井川 * =0.7 滝川市大町=0.7 標茶町塘路 * =0.7 渡島森町上台町 * =0.7 石狩市花川=0.7 根室市落石東 * =0.7 札幌白石区本郷通 * =0.7 登別市鉱山=0.7 七飯町本町 * =0.7 上士幌町清水谷 * =0.6 洞爺湖町洞爺町 * =0.6 砂川市西 6 条 * =0.6 喜茂別町喜茂別 * =0.5 根室市厚床 * =0.5 石狩市厚田 * =0.5 函館市日ノ浜町 * =0.5 釧路市幸町=0.5 別海町常盤=0.5				
		青森県 2 東通村砂子又 * =1.7 東通村小田野沢 * =1.6 1 大間町大間 * =1.0 むつ市大畑町中島 * =0.9 むつ市金曲=0.8 野辺地町野辺地 * =0.5 七戸町森ノ上 * =0.5 むつ市金谷 * =0.5				
62	23 05 54	奄美大島北西沖 鹿児島県 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.5	29° 30.6' N	128° 49.4' E	23km	M: 4.4
63	23 16 21	福井県嶺北 福井県 1 越前市粟田部 * =0.7	35° 56.4' N	136° 21.4' E	7km	M: 3.0
64	24 00 07	京都府南部 京都府 1 京都山科区安朱川向町 * =1.4	34° 59.5' N	135° 51.4' E	10km	M: 2.5
65	24 07 07	福岡県筑後地方 福岡県 1 みやま市高田町 * =1.3 柳川市三橋町 * =1.2 みやま市瀬高町 * =1.0 みやま市山川町 * =1.0 柳川市大和町 * =1.0 大牟田市昭和町 * =0.9 柳川市本町 * =0.8 立花町原島 * =0.6 筑後市山ノ井 * =0.5 大木町八町牟田 * =0.5 大牟田市笹林=0.5 八女市吉田 * =0.5 八女市本町 * =0.5 長崎県 1 雲仙市国見町=0.8 熊本県 1 玉名市築地=0.9 玉名市岱明町 * =0.6 南関町関町 * =0.6	33° 01.3' N	130° 25.6' E	16km	M: 3.2
66	24 08 25	三重県北部 三重県 1 鈴鹿市西条=1.4 四日市市楠町北五味塚 * =1.0 鈴鹿市神戸 * =0.9 亀山市西丸町 * =0.8 亀山市本丸町 * =0.6	34° 52.9' N	136° 32.7' E	13km	M: 2.4
67	24 13 57	北海道東方沖 北海道 1 根室市落石東 * =1.0 根室市瑠瑠瑠 * =0.6 根室市牧の内 * =0.5	43° 53.5' N	147° 25.0' E	73km	M: 4.7
68	24 21 11	沖縄本島近海 沖縄県 1 粟国村浜=1.1 久米島町謝名堂=0.9 久米島町比嘉 * =0.6	26° 34.8' N	127° 06.6' E	12km	M: 3.9
69	25 00 02	能登半島沖 石川県 2 輪島市門前町走出=2.2 輪島市鳳至町=1.7	37° 17.5' N	136° 44.0' E	9km	M: 3.3
70	25 00 49	栃木県南部 栃木県 2 日光市足尾町松原 * =1.9 日光市中鉢石町 * =1.7 日光市中宮祠=1.7 1 宇都宮市中里町 * =1.4 日光市足尾町中才 * =1.1 日光市瀬川=1.0 日光市湯元 * =1.0 鹿沼市今宮町 * =0.7 日光市今市本町 * =0.6 日光市鬼怒川温泉大原 * =0.6 群馬県 1 片品村東小川=0.9 沼田市利根町 * =0.6 片品村鎌田 * =0.5 桐生市黒保根町 * =0.5	36° 39.3' N	139° 30.0' E	10km	M: 3.2
71	25 03 40	静岡県西部 静岡県 1 浜松天竜区春野町 * =1.2	34° 53.6' N	137° 58.9' E	16km	M: 2.7
72	25 07 37	福岡県北西沖 福岡県 2 福岡西区玄界島=1.6 1 志摩町初=1.0 佐賀県 1 唐津市西城内=0.5	33° 46.0' N	130° 09.9' E	11km	M: 3.4
73	25 10 04	根室半島南東沖 北海道 2 根室市落石東 * =1.7	43° 09.4' N	145° 46.3' E	49km	M: 3.5
74	25 11 14	宮崎県北部山沿い 宮崎県 1 延岡市北川町川内名白石 * =0.9 宮崎都農町役場 * =0.5	32° 30.3' N	131° 04.4' E	141km	M: 4.0
75	25 23 44	和歌山県北部 和歌山県 2 紀美野町下佐々 * =1.6 1 海南市日方 * =0.7 紀の川市貴志川町神戸 * =0.7 紀美野町神野市場 * =0.7	34° 07.5' N	135° 18.1' E	6km	M: 2.6



地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
76	26 00 56	宮城県沖 岩手県 1 大槌町新町 *=0.7	38° 44.3' N	142° 19.2' E	38km	M: 3.8
77	26 04 33	石川県能登地方 石川県 5弱 輪島市門前町走出=4.5 4 穴水町大町 *=4.2 輪島市鳳至町=3.9 3 七尾市能登島向田町 *=3.4 志賀町富来領家町=3.4 七尾市中島町中島 *=3.3 七尾市田鶴浜町=3.2 志賀町香能 *=3.2 七尾市本府中町=3.0 七尾市袖ヶ江町 *=2.8 中能登町末坂 *=2.8 輪島市河井町 *=2.6 中能登町能登部下 *=2.6 2 羽咋市柳田町=2.3 羽咋市旭町 *=2.3 志賀町末吉千古 *=2.3 能登町宇出津=2.1 小松市小馬出町=2.1 宝達志水町子浦 *=2.0 能美市来丸町 *=2.0 金沢市西念=1.8 珠洲市正院町 *=1.8 小松市向本折町 *=1.8 津幡町加賀爪=1.8 かほく市浜北 *=1.7 加賀市大聖寺南町 *=1.7 内灘町鶴ヶ丘 *=1.6 かほく市宇野気 *=1.6 白山市別宮町 *=1.5 白山市河内町口直海 *=1.5 1 川北町呑ッ屋 *=1.4 加賀市直下町=1.3 白山市倉光 *=1.3 白山市女原 *=1.3 能登町柳田 *=1.3 金沢市弥生 *=1.2 加賀市山中温泉湯の出町 *=1.2 白山市美川浜町 *=1.1 白山市鶴来本町 *=1.1 珠洲市大谷町 *=1.1 野々市町三納 *=1.1 輪島市舳倉島=1.0 白山市白峰 *=0.9 珠洲市三崎町=0.7 3 富山市新桜町 *=2.8 射水市戸破 *=2.7 射水市加茂中部 *=2.7 射水市本町 *=2.6 氷見市加納 *=2.6 2 富山市婦中町笹倉 *=2.4 高岡市伏木=2.3 舟橋村仏生寺 *=2.2 立山町吉峰=2.2 射水市二口 *=2.1 南砺市下梨 *=2.0 南砺市井波 *=2.0 高岡市広小路 *=2.0 小矢部市水牧 *=2.0 富山市石坂=1.9 富山市山田湯 *=1.9 南砺市利賀村利賀 *=1.9 富山市八尾町福島=1.9 砺波市庄川町 *=1.9 小矢部市泉町=1.9 南砺市上平細島 *=1.8 立山町芦峯寺 *=1.8 富山市榆原 *=1.7 射水市小島 *=1.7 南砺市荒木 *=1.7 南砺市天神=1.6 富山朝日町道下=1.6 滑川市寺家町 *=1.6 富山市今泉 *=1.6 南砺市蛇喰 *=1.5 砺波市栄町 *=1.5 高岡市福岡町 *=1.5 1 黒部市宇奈月町内山 *=1.4 上市町稗田 *=1.4 立山町米沢 *=1.4 南砺市城端 *=1.4 魚津市釈迦堂=1.3 魚津市本江 *=1.2 富山市花崎 *=1.2 富山市上二杉 *=1.1 南砺市苗島 *=1.1 入善町入膳 *=1.0 富山朝日町境 *=1.0 黒部市新天 *=1.0 黒部市宇奈月町浦山 *=0.7 福井県 2 福井坂井市三国町中央=1.8 1 福井坂井市三国町錦 *=1.4 あわら市国影 *=1.2 福井市大手 *=1.1 永平寺町栗住波 *=1.1 福井坂井市丸岡町西里丸岡 *=1.1 あわら市市姫 *=1.0 福井市豊島=0.9 越前町江波 *=0.9 福井坂井市春江町随心寺 *=0.8 勝山市旭町=0.6 福井市板垣 *=0.6 岐阜県 2 白川村鳩谷 *=1.9 飛騨市河合町元田 *=1.8 高山市上宝町本郷 *=1.7 飛騨市宮川町 *=1.7 高山市奥飛騨温泉郷栃尾 *=1.5 飛騨市古川町 *=1.5 1 高山市丹生川町坊方 *=1.4 高山市国府町 *=1.3 飛騨市神岡町殿=1.2 高山市消防署 *=1.1 高山市一之宮町 *=1.0 郡上市高鷲町 *=1.0 飛騨市河合町角川 *=0.9 高山市桐生町=0.9 飛騨市神岡町東町 *=0.8 高山市高根町 *=0.7 高山市久々野町 *=0.6 高山市朝日町 *=0.6 下呂市下呂小学校 *=0.6 高山市丹生川町森部=0.5 新潟県 1 上越市五智 *=1.3 糸魚川市能生 *=1.2 糸魚川市一の宮=1.1 糸魚川市大野 *=1.1 上越市安塚区安塚 *=1.0 糸魚川市青海 *=0.9 妙高市田町 *=0.9 上越市中ノ俣=0.8 上越市大手町=0.7 上越市頸城区百間町 *=0.6 長野県 1 飯綱町芋川 *=1.0 王滝村役場 *=0.8 木曾町日義 *=0.8 王滝村鈴ヶ沢 *=0.7 長野市戸隠 *=0.5 愛知県 1 新城市作手高里 *=0.5	37° 19.1' N	136° 46.4' E	11km	M: 4.8
78	26 06 05	石川県能登地方 石川県 2 輪島市鳳至町=1.7 1 輪島市門前町走出=1.3 輪島市河井町 *=0.8	37° 18.8' N	136° 46.8' E	10km	M: 3.5
79	26 07 37	石川県能登地方 石川県 1 輪島市門前町走出=1.0 輪島市鳳至町=0.7	37° 18.4' N	136° 46.5' E	11km	M: 3.0
80	26 19 33	茨城県北部 茨城県 1 日立市役所 *=1.2 常陸太田市町屋町=1.2 日立市助川小学校 *=1.1 日立市十王町友部 *=1.0 常陸大宮市上小瀬 *=1.0 常陸大宮市北町 *=0.9 常陸大宮市野口 *=0.9 常陸太田市高柿町 *=0.9 北茨城市磯原町 *=0.7 高萩市安良川 *=0.6 大子町池田 *=0.6 水戸市金町=0.5 栃木県 1 茂木町小井戸 *=0.8	36° 27.0' N	140° 35.8' E	55km	M: 3.3
81	26 22 31	宮城県中部 宮城県 3 東松島市小野 *=2.5 1 東松島市矢本 *=0.6	38° 22.7' N	141° 10.1' E	11km	M: 2.9
82	27 03 13	新潟県中越地方 新潟県 1 魚沼市今泉 *=1.2	37° 16.7' N	138° 57.5' E	10km	M: 2.2
83	27 10 33	静岡県西部 静岡県 3 掛川市長谷 *=2.8 2 浜松天竜区春野町 *=2.2 袋井市浅名 *=2.0 川根町家山=1.9 静岡菊川市堀之内 *=1.9 袋井市新屋=1.9 掛川市三保 *=1.7 掛川市西大淵 *=1.6 静岡森町森 *=1.6 島田市中央町=1.6 磐田市下野部 *=1.6 牧之原市鬼女新田=1.5 磐田市福田 *=1.5 1 島田市金谷河原 *=1.4 磐田市森岡 *=1.3 静岡菊川市赤土 *=1.3 浜松中区三細町=1.3 浜松天竜区佐久間町 *=1.3 牧之原市相良 *=1.2 牧之原市静波 *=1.2 御前崎市池新田 *=1.1 焼津市東小川 *=1.0 静岡葵区峰山=1.0 浜松北区西美園 *=0.9 静岡葵区梅ヶ島 *=0.8 磐田市国府台 *=0.8 浜松北区三ヶ日町=0.8 浜松北区引佐町 *=0.8 浜松北区細江町 *=0.7 焼津市本町 *=0.7 藤枝市岡出山 *=0.7 湖西市吉美 *=0.7 川根本町東藤川 *=0.7 岡部町岡部 *=0.7 吉田町住吉 *=0.7 磐田市見付 *=0.7 浜松天竜区龍山町 *=0.6 新居町浜名 *=0.6	34° 53.8' N	137° 58.6' E	17km	M: 4.1

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		長野県 岐阜県 愛知県 1 平谷村役場 * =1.1 天龍村天龍小学校 * =0.9 下條村睦沢 * =0.6 1 恵那市上矢作町 * =1.0 1 豊根村下黒川 * =0.9 豊田市小渡町 * =0.9 新城市乗本 =0.8 豊根村富山 * =0.8 豊田市小原町 * =0.5 新城市東入船 * =0.5				
84	27 10 36	静岡県西部 静岡県 1 浜松天竜区春野町 * =0.6	34° 53.0' N	137° 59.1' E	16km	M: 2.4
85	27 10 40	静岡県西部 静岡県 1 浜松天竜区春野町 * =0.6	34° 53.7' N	137° 58.5' E	17km	M: 2.6
86	27 10 43	静岡県西部 静岡県 2 掛川市長谷 * =1.8 1 静岡菊川市堀之内 * =0.9 浜松天竜区春野町 * =0.9 川根町家山 =0.6	34° 53.1' N	137° 59.0' E	16km	M: 3.1
87	27 10 46	静岡県西部 静岡県 2 浜松天竜区春野町 * =1.7	34° 53.4' N	137° 58.9' E	17km	M: 3.1
88	27 10 53	静岡県西部 静岡県 2 浜松天竜区春野町 * =2.0 掛川市長谷 * =1.5 1 静岡菊川市堀之内 * =1.4 川根町家山 =1.2 袋井市新屋 =1.0 静岡森町森 * =0.9 浜松天竜区佐久間町 * =0.9 牧之原市相良 * =0.9 牧之原市鬼女新田 =0.8 磐田市下野部 * =0.8 袋井市浅名 * =0.7 島田市金谷河原 * =0.6 静岡菊川市赤土 * =0.6 浜松中区三組町 =0.6 浜松浜北区西美園 * =0.6 静岡葵区峰山 =0.6 掛川市西大淵 * =0.6 掛川市三俣 * =0.5 島田市中央町 =0.5 磐田市森岡 * =0.5 長野県 1 平谷村役場 * =1.3 南木曾町役場 * =0.9 飯田市上郷黒田 * =0.9 飯田市高羽町 =0.9 天龍村天龍小学校 * =0.9 泰阜村役場 * =0.8 南木曾町読書小学校 * =0.8 下條村睦沢 * =0.8 阿南町東条 * =0.7 根羽村役場 * =0.6 木曾町三岳 * =0.6 王滝村役場 * =0.5 泰阜村梨久保 =0.5 岐阜県 1 恵那市上矢作町 * =1.1 中津川市福岡 * =1.1 恵那市明智町 * =0.7 恵那市山岡町 * =0.6 中津川市坂下 * =0.6 中津川市川上 * =0.6 中津川市本町 * =0.6 土岐市泉町 * =0.5 愛知県 1 豊根村富山 * =1.2 豊田市小原町 * =1.0 豊田市小渡町 * =1.0 新城市東入船 * =0.8 豊根村下黒川 * =0.8 新城市乗本 =0.6 新城市作手高里 * =0.6 豊田市稲武町 * =0.5	34° 53.5' N	137° 58.7' E	16km	M: 4.2
89	27 13 38	広島県南西部 広島県 1 東広島市福童町 * =1.1 広島安佐南区緑井 * =0.8 坂町役場 * =0.8 呉市下蒲刈町 * =0.6 広島安芸区中野 * =0.6 熊野町役場 * =0.6 広島佐伯区湯来町運動広場 * =0.6 呉市広 * =0.5 呉市中央 * =0.5 広島西区己斐 * =0.5	34° 22.8' N	132° 29.1' E	20km	M: 3.0
90	27 15 34	静岡県西部 静岡県 1 浜松天竜区春野町 * =1.0 掛川市長谷 * =0.6	34° 53.4' N	137° 59.0' E	17km	M: 2.8
91	27 15 51	静岡県西部 静岡県 1 掛川市長谷 * =0.7	34° 54.1' N	137° 58.4' E	17km	M: 2.7
92	27 20 22	静岡県西部 静岡県 2 浜松天竜区春野町 * =1.5 1 掛川市長谷 * =1.2	34° 53.2' N	137° 59.0' E	16km	M: 3.0
93	27 20 37	静岡県西部 静岡県 2 浜松天竜区春野町 * =1.8 掛川市長谷 * =1.5 1 静岡菊川市堀之内 * =1.1 袋井市新屋 =1.0 牧之原市相良 * =0.9 島田市中央町 =0.9 袋井市浅名 * =0.9 川根町家山 =0.9 掛川市三俣 * =0.8 静岡菊川市赤土 * =0.8 牧之原市鬼女新田 =0.8 磐田市下野部 * =0.7 静岡森町森 * =0.7 島田市金谷河原 * =0.6 掛川市西大淵 * =0.6 牧之原市静波 * =0.5	34° 53.2' N	137° 59.0' E	17km	M: 3.4
94	27 22 28	静岡県西部 静岡県 1 浜松天竜区春野町 * =0.5	34° 53.1' N	137° 59.0' E	16km	M: 2.5
95	30 22 06	石川県能登地方 石川県 2 輪島市門前町走出 =1.7 1 輪島市鳳至町 =1.2 穴水町大町 * =1.2	37° 18.2' N	136° 46.4' E	11km	M: 3.3
96	31 16 42	日向灘 大分県 宮崎県 1 佐伯市蒲江 =0.9 佐伯市中村南 =0.8 佐伯市春日町 * =0.5 1 延岡市北川町川内名白石 * =0.6 高千穂町三田井 =0.5	32° 34.5' N	132° 04.0' E	33km	M: 3.5
97	31 23 47	沖縄本島近海 沖縄県 1 渡嘉敷村渡嘉敷 * =0.5	26° 06.8' N	127° 30.0' E	19km	M: 3.0

付表 2 . 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数  
 <平成 19 年（2007 年）1 月～平成 20 年（2008 年）1 月>

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
2008年 1月	59	30	6	1	1					97	26日 石川県能登地方（震度 5 弱） 静岡県西部（震度 3：1 回、震度 2：5 回、 震度 1：7 回）
2007年12月	66	33	9	2						110	静岡県西部（震度 2：4 回、震度 1：7 回）
2007年11月	63	22	5	2						92	
2007年10月	89	41	9	4		1				144	1日 神奈川県西部（震度 5 強） 新島・神津島近海（震度 4：1 回、 震度 2：1 回、震度 1：9 回） 大分県中部（震度 3：3 回、震度 2：3 回、 震度 1：6 回）
2007年 9月	99	21	6							126	
2007年 8月	107	35	23	4	1					170	平成19年(2007年)新潟県中越沖地震の余震 (震度 3：1 回、震度 2：5 回、震度 1：13回) 九十九里浜付近の地震活動 (震度 5 弱：1 回、震度 4：3 回、 震度 3：7 回、震度 2：7 回、震度 1：10回)
2007年 7月	169	83	24	7			1	1		285	平成19年(2007年)新潟県中越沖地震とその余震 (震度 6 強：1 回、震度 6 弱：1 回、 震度 4：5 回、震度 3：11回、 震度 2：49回、震度 1：71回) 伊豆大島近海（震度 3：5 回、 震度 2：6 回、震度 1：25回）
2007年 6月	126	47	13	9						195	大分県中部（震度 4：3 回、震度 3：6 回、 震度 2：16回、震度 1：39回） 平成19年(2007年)能登半島地震の余震 (震度 4：1 回、震度 3：1 回、 震度 2：3 回、震度 1：6 回)
2007年 5月	92	37	10	3						142	平成19年(2007年)能登半島地震の余震 (震度 4：1 回、震度 2：9 回、 震度 1：20回)
2007年 4月	135	47	23	7		1				213	15日 三重県中部（震度 5 強） 平成19年(2007年)能登半島地震の余震 (震度 4：1 回、震度 3：7 回、 震度 2：20回、震度 1：66回)
2007年 3月	280	105	35	8	3			1		432	平成19年(2007年)能登半島地震とその余震 (震度 6 強：1 回、震度 5 弱：3 回、 震度 4：6 回、震度 3：25回、 震度 2：74回、震度 1：213回)
2007年 2月	62	21	3	1						87	
2007年 1月	63	28	10	1						102	新島・神津島近海 (震度 2：3 回、震度 1：11回)
2007年計	1351	520	170	48	4	2	1	2		2098	(平成19年 1月～平成19年12月)
過去 1 年計	1347	522	166	48	5	2	1	2		2093	(平成19年 2月～平成20年 1月)

注) 「記事」欄の「\*」は関連の地震で震度 1 以上を観測した地震の回数。「記事」欄には主に震度 5 弱以上を観測した地震、または震度 1 以上を 10 回以上観測した地震活動について記載した。

地方公共団体等の震度計による震度の発表開始年月日。

平成 9 (1997) 年 11 月 10 日 秋田県、埼玉県、横浜市（神奈川県）、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、山口県

平成 10 (1998) 年 6 月 15 日 群馬県、福井県、静岡県、三重県、島根県、愛媛県

10 月 15 日 青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、宮崎県、鹿児島県

平成 11 (1999) 年 7 月 21 日 東京都、長野県

平成 12 (2000) 年 1 月 12 日 栃木県、千葉県、岐阜県、名古屋市（愛知県）

3 月 28 日 滋賀県

7 月 18 日 富山県、香川県、大分県

平成 13 (2001) 年 3 月 22 日 佐賀県 5 月 10 日 山梨県、川崎市（神奈川県）

7 月 19 日 高知県 12 月 12 日 福島県

平成 14 (2002) 年 3 月 20 日 岩手県、宮城県、神奈川県、福岡県、仙台市（宮城県）

7 月 29 日 北海道、長崎県

平成 15 (2003) 年 3 月 10 日 沖縄県

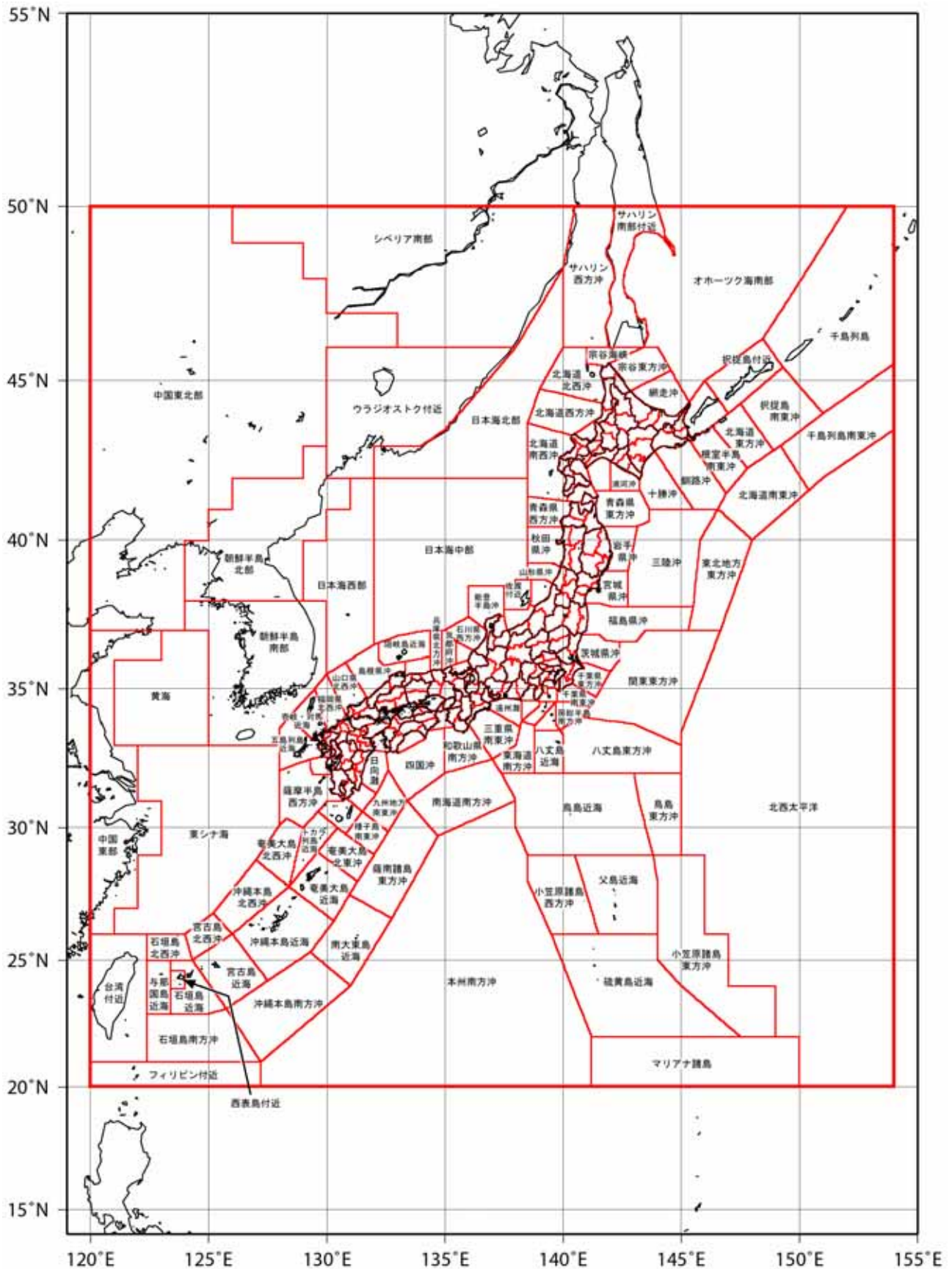
平成 16 (2004) 年 5 月 26 日 独立行政法人防災科学技術研究所

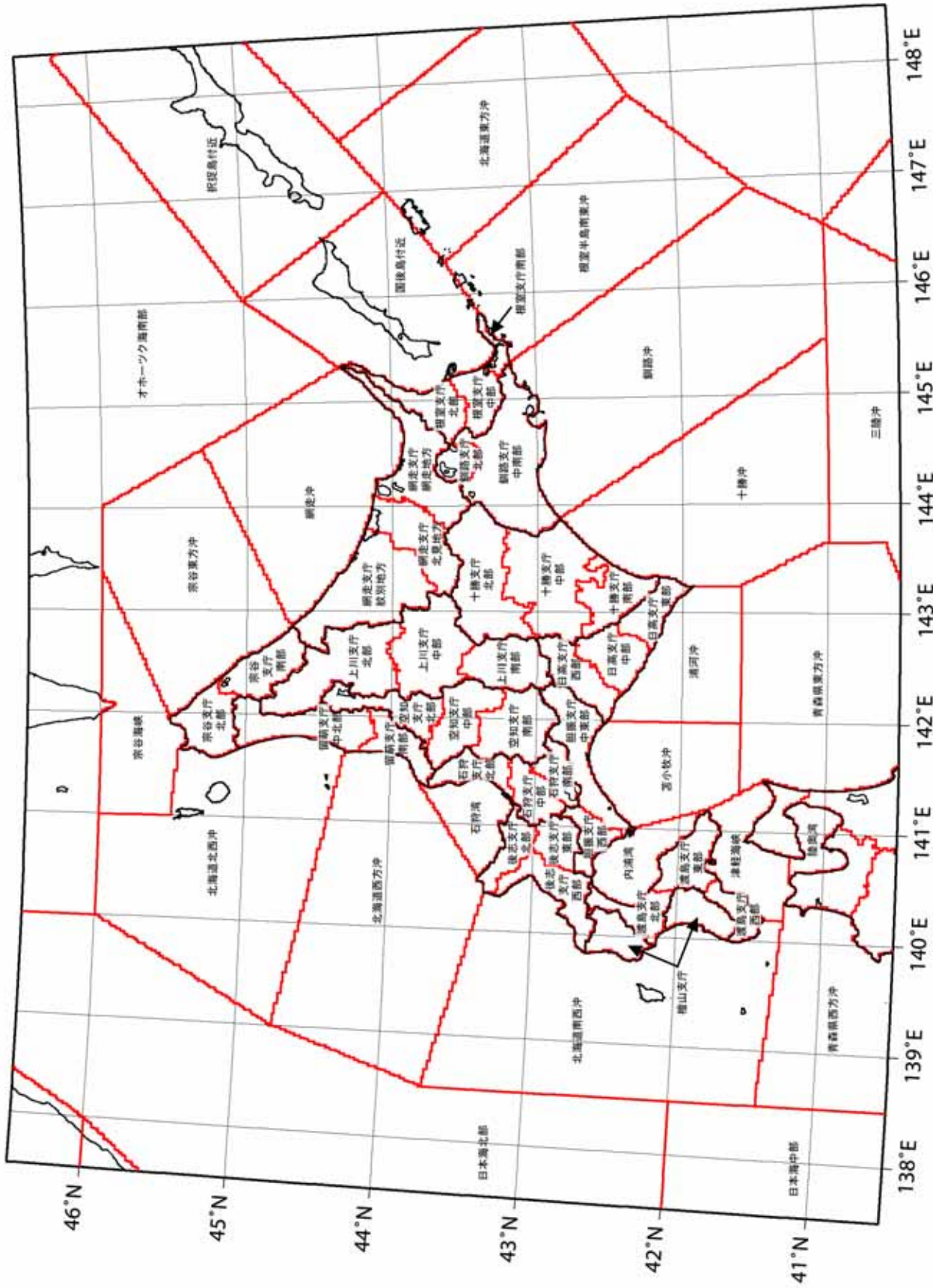
付表3．日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数  
 <平成19年（2007年）1月～平成20年（2008年）1月>

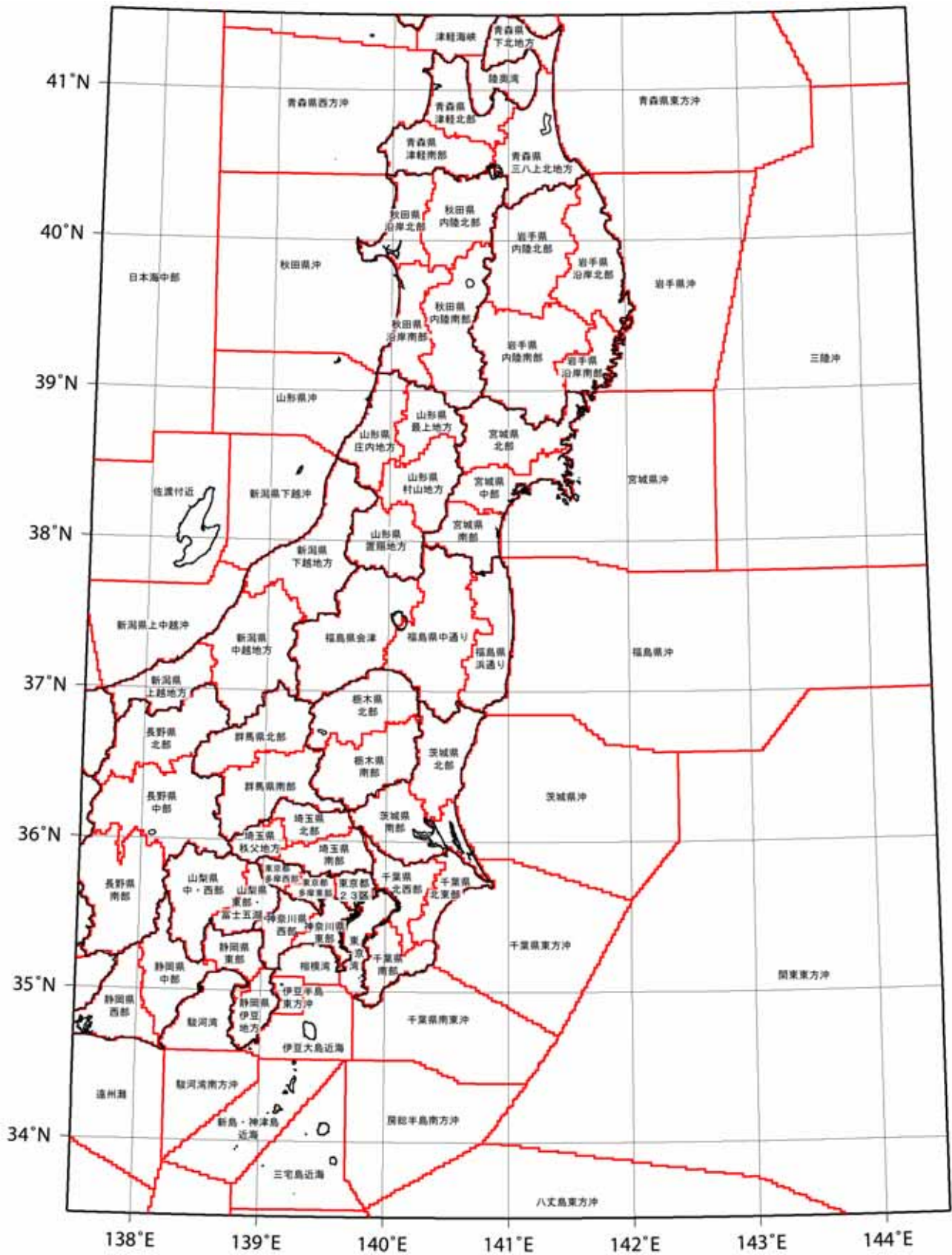
	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0以上	計 M4.0以上	記事
2008年1月	249	65	2			316	67	
2007年12月	247	58	13	1		319	72	7日：鳥島近海(M6.0)
2007年11月	254	62	6	1		323	69	26日：福島県沖(M6.0)
2007年10月	281	79	8	1	1	370	89	25日：千島列島東方(M6.2) 31日：マリアナ諸島(M7.1)
2007年9月	224	52	4	2	1	283	59	4日：千島列島(M6.3) 7日：台湾付近(M6.6) 28日：マリアナ諸島(M7.6)
2007年8月	404	104	18	3		529	125	1日：沖縄本島北西沖(M6.1) 2日：サハリン西方沖(M6.4) 7日：沖縄本島北西沖(M6.3)
2007年7月	348	76	14	3		441	93	9日：千島列島東方(M6.2) 16日：平成19年（2007年）新潟県中越沖地震(M6.8) 16日：京都府沖(M6.7) 平成19年（2007年）新潟県中越沖地震の余震活動 (M3.0～3.9：88回、M4.0～4.9：12回、 M5.0～5.9：1回)
2007年6月	269	70	12			351	82	
2007年5月	263	70	11			344	81	平成19年（2007年）能登半島地震の余震活動 (M3.0～3.9：20回、M4.0～4.9：3回)
2007年4月	373	110	33	3		519	146	20日：宮古島北西沖(M6.3, M6.7, M6.1) 平成19年（2007年）能登半島地震の余震活動 (M3.0～3.9：55回、M4.0～4.9：8回)
2007年3月	474	106	13	3		596	122	8日：鳥島近海(M6.0) 9日：日本海北部(M6.2) 25日：平成19年（2007年）能登半島地震(M6.9) 平成19年（2007年）能登半島地震の余震活動 (M3.0～3.9：231回、M4.0～4.9：29回、 M5.0～5.9：3回)
2007年2月	232	57	9	1		299	67	17日：十勝沖(M6.2)
2007年1月	244	113	24	2	2	385	141	13日：千島列島東方(M8.2) 14日：千島列島東方(M6.5) 25日：台湾付近(M6.1) 31日：マリアナ諸島(M7.1)
2007年計	3613	957	165	20	4	4759	1146	(平成19年1月～平成19年12月)
過去1年計	3618	909	143	18	2	4690	1072	(平成19年2月～平成20年1月)

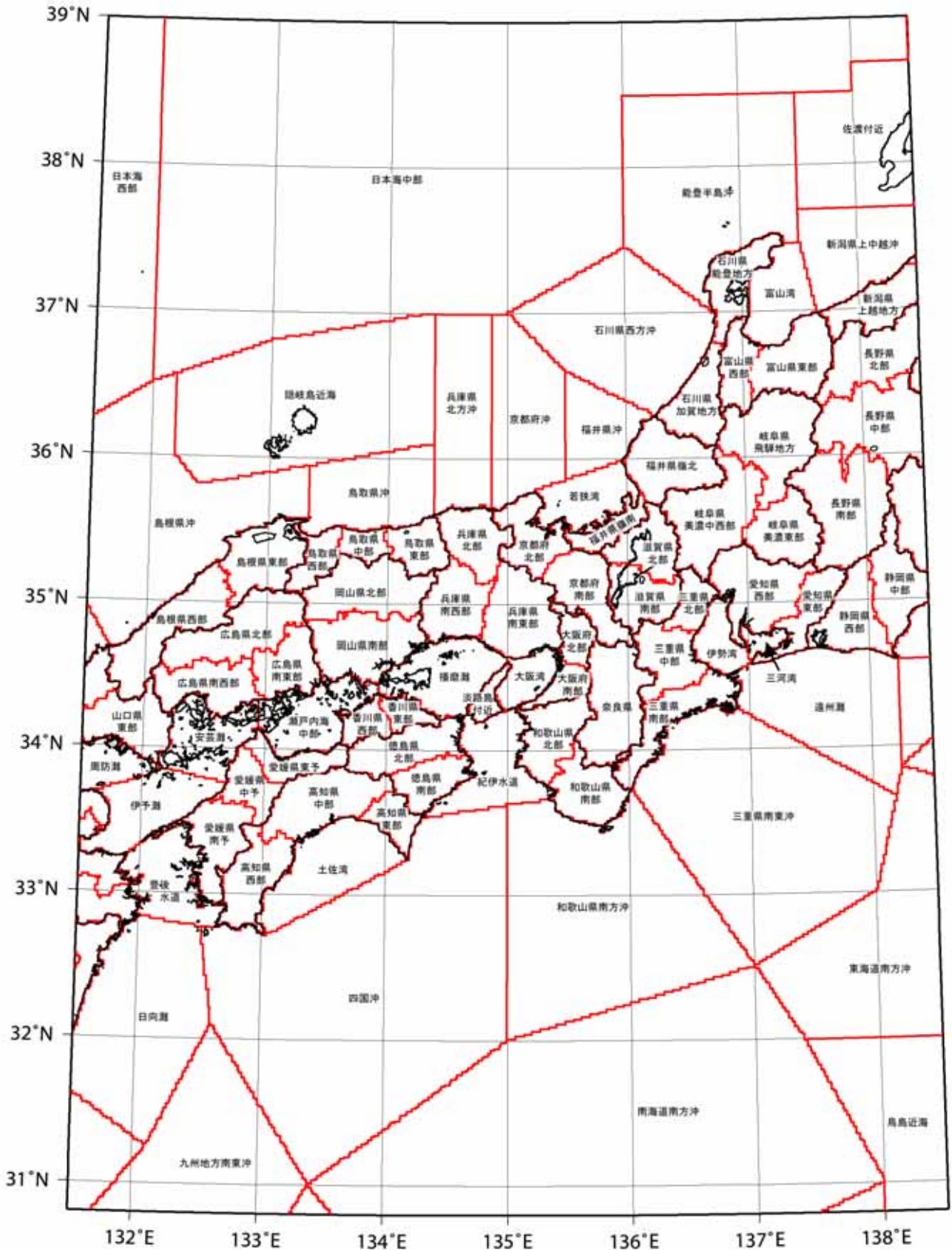
注)日本及びその周辺：原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」欄には主にM6.0以上の地震について記載した。

## 付録 地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名













## 正誤表

平成 19 年 12 月 地震・火山月報（防災編）に誤りがありましたので、正誤表を掲載します。  
訂正した箇所を下線で示します。

平成 19 年 12 月 地震・火山月報（防災編） p105 6 行目

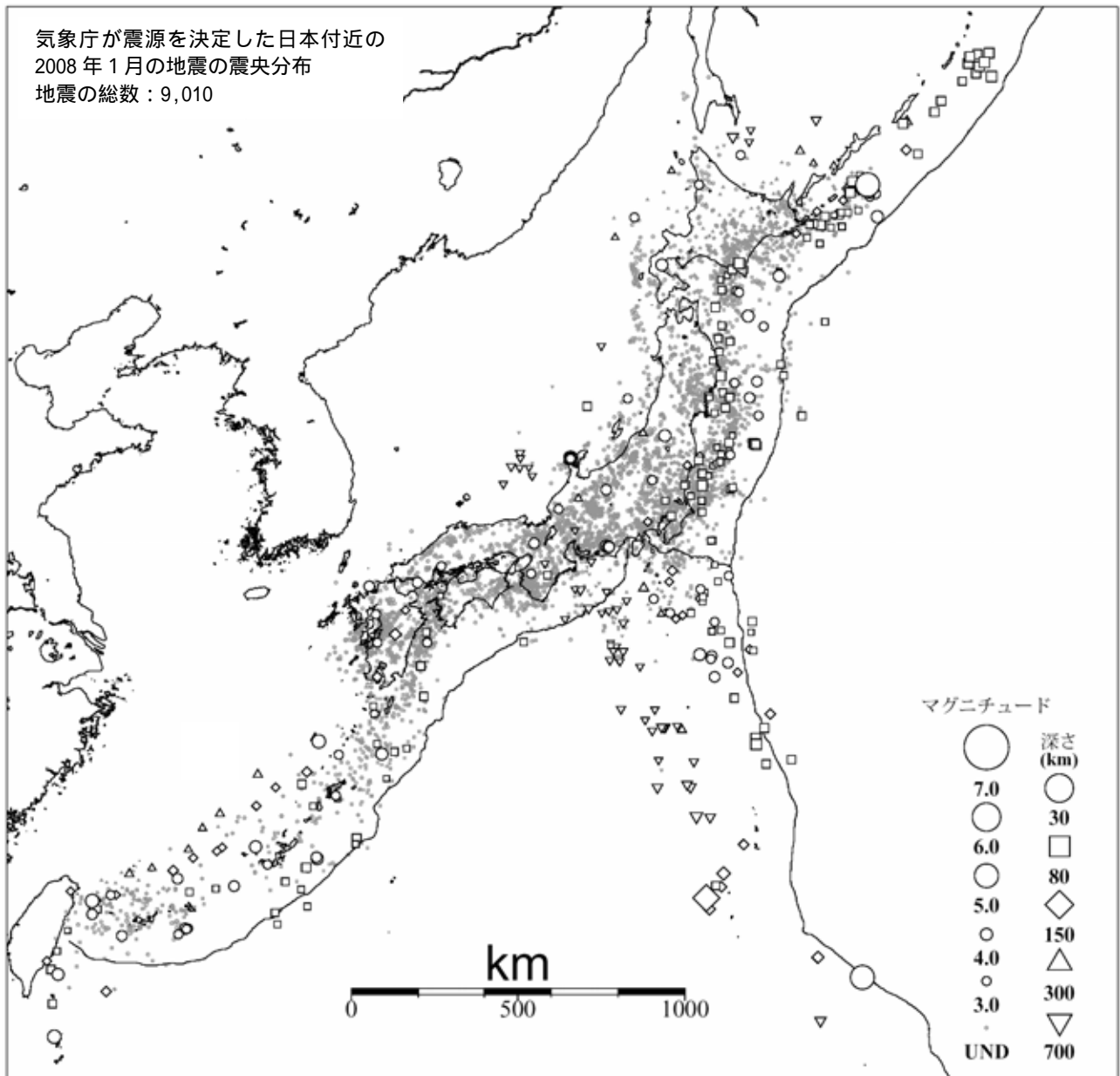
誤)

観測点名称は 2006 年 1 月現在、情報発表に用いているものである。

正)

観測点名称は 2008 年 1 月現在、情報発表に用いているものである。

気象庁が震源を決定した日本付近の  
2008年1月の地震の震央分布  
地震の総数：9,010



M3.0以上の地震の震央を白抜きで示す。